

令和4年度第2回つくば市公共交通活性化協議会 次第

日 時：令和4年(2022年)11月17日(木) 13時30分～

場 所：つくば市役所 本庁舎6階 第1委員会室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

(1) 審議案件

案件1 つくバス停留所の見直し基準の設定について

案件2 つくタク運行事業者の区域割当て変更について

案件3 つくタク共通ポイント(出産支援運賃割引証所持者限定)の追加について

案件4 令和4年度公共交通政策点検・評価業務について(中間報告)

案件5 つくタクの予約キャンセルへの対応について

(2) 報告案件

案件1 令和4年度上半期つくバス、つくタク及び実証実験の利用実績について

案件2 つくばね号、路線バス運行実証実験事業(松代南循環)の利用実績について(10月実績速報)

案件3 令和3年度広域連携バス利用実績について

案件4 新高校生(令和4年度入学生)へのバスお試し乗車券配布結果について

案件5 つくば市公共交通マップについて

4 その他

5 閉 会

■配布資料一覧

令和4年度つくば市公共交通活性化協議会 委員名簿

令和4年度第2回つくば市公共交通活性化協議会 席次表

資料1 つくバス停留所の見直し基準の設定について

資料2 つくタク運行事業者の区域割当て変更について

資料3 つくタク共通ポイント（出産支援運賃割引証所持者限定）の追加について

資料4 令和4年度公共交通政策点検・評価業務について（中間報告）

資料5 つくタクの予約キャンセルへの対応について

資料6 令和4年度上半期つくバス、つくタク及び実証実験の利用実績について

資料7 つくばね号、路線バス運行実証実験事業（松代南循環）の利用実績について
（10月実績速報）

資料8 令和3年度広域連携バス利用実績について

資料9 新高校生（令和4年度入学生）へのバスお試し乗車券配布結果について

資料10 つくば市公共交通マップについて

--参考資料--

参 考 つくば市公共交通活性化協議会規約

令和4年度つくば市公共交通活性化協議会 委員名簿

令和4年11月17日時点

No	所 属	職 名	氏 名	区 分	備 考
1	筑波大学	システム情報系 社会工学専攻 教授	岡本 直久	継続	会長
2	茨城県政策企画部交通政策課	課長	寺田 明弘	継続	副会長
3	関東運輸局 茨城運輸支局	首席運輸企画専門官(企画調整)	國下 裕司	継続	
4	関東運輸局 茨城運輸支局	首席運輸企画専門官(輸送担当)	仲野 俊二	継続	
5	茨城県つくば警察署	交通課長	平根 英一	継続	
6	茨城県土木部土浦土木事務所	道路管理課長	東ヶ崎 祐二	継続	
7	国土技術政策総合研究所	道路交通研究部道路防災研究官 (併)道路交通研究部道路研究室長	松本 幸司	新任	
8	国土技術政策総合研究所	都市研究部都市施設研究室長	新階 寛恭	継続	副会長
9	国立研究開発法人国立環境研究所 社会システム領域	地域計画研究室長	松橋 啓介	継続	
10	一般財団法人つくば都市交通センター	理事	大原 治	継続	監事
11	一般社団法人茨城県バス協会	専務理事	澤畠 政志	継続	
12	一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	服部 透	継続	
13	首都圏新都市鉄道株式会社	経営企画部推進役兼沿線事業課課長	海老澤 貴史	継続	
14	関東鉄道株式会社	常務取締役	武藤 成一	継続	
15	ジェイアールバス関東株式会社 土浦支店	支店長	色川 広司	新任	
16	株式会社 セキショウキャリアプラス	代表取締役社長	今里 公治	継続	
17	新栄タクシー有限公司	代表取締役	北島 雅仁	新任	
18	つくば市商工会	事務局長	柳田 貢	新任	
19	社会福祉法人つくば市社会福祉協議会	副会長兼常務理事	長 卓良	継続	監事
20	つくば市工業団地企業連絡協議会	副会長	渡邊 篤志	継続	
21	一般社団法人つくば観光コンベンション協会	事務局長	星野 弘	継続	
22	つくば市PTA連絡協議会	副会長	稲澤 保行	継続	
23	筑波学園タクシー協同組合	事務局長	鈴木 誠	継続	
24	関東鉄道労働組合	執行委員	谷田部 正利	継続	
25	つくば市都市計画審議会	委員	大澤 貴子	継続	
26	つくば市区会連合会筑波地区	代表区長	鈴木 裕一	継続	
27	つくば市区会連合会大穂地区	代表区長	野澤 洋夫	継続	
28	つくば市区会連合会豊里地区	代表区長	坂本 義治	継続	
29	つくば市区会連合会桜地区	代表区長	一色 喜美子	継続	
30	つくば市区会連合会谷田部地区	代表区長	飯田 哲雄	継続	
31	つくば市区会連合会荃崎地区	代表区長	小原 正彦	継続	
32	つくば市	福祉部長	安曾 貞夫	継続	
33	つくば市	建設部長	富田 剛	継続	
34	つくば市	都市計画部長	大里 和也	継続	

<オブザーバー>

No	所 属	職 名	氏 名
1	牛久市	経営企画部政策企画課公共交通対策室長	山根 学

令和4年度第2回つくば市公共交通活性化協議会 席次表

日時： 令和4年(2022年)11月17日（木曜日）13:30～

場所： つくば市役所 本庁舎6階 第1委員会室

The diagram illustrates the layout of the Transportation Policy Committee meeting room in the East Wing of the National Diet Building. The room is a large hall with a stage at the front. The stage is divided into three sections: a front section for the committee members, a middle section for the speaker, and a back section for the audience. The side stage is used for the opening and closing ceremonies. The plan also shows the location of the committee members' desks, the speaker's podium, and the audience seating area.

茨城県政策企画部交通政策課 寺田 委員（代理 富山様）		筑波大学 岡本 委員	
茨城運輸支局 仲野 委員 （代理 赤木様）		つくば市 大里 委員	
茨城県 つくば警察署 平根 委員		つくば市 安曾 委員	
国土技術政策 総合研究所 松本 委員		つくば市区会連合会 桜地区 一色 委員	
国土技術政策 総合研究所 新階 委員		つくば市区会連合会 豊里地区 坂本 委員	
つくば都市交通 センター 大原 委員		つくば市区会連合会 筑波地区 鈴木 委員	
一般社団法人 茨城県バス協会 澤畠 委員		つくば市都市 計画審議会 大澤 委員	
首都圏新都市 鉄道(株) 海老澤 委員		関東鉄道 労働組合 谷田部 委員	
関東鉄道(株) 武藤 委員		筑波学園タクシー 協同組合 鈴木 委員	
ジェイアールバス 関東(株)土浦支店 色川 委員		つくば市PTA 連絡協議会 稲澤 委員	
(株)セキショウ キャリアプラス 今里 委員		つくば市 社会福祉協議会 長 委員	
新栄タクシー (有) 北島 委員			

随行者席

傍聴席

事務局

オブザーバー席
（牛久市）

受付

スクリーン

出入口

つくバス停留所の見直し基準の設定について

令和4年(2022年)11月17日(木)

総合交通政策課

バス停留所の見直し基準の設定(新設)

つくば市地域公共交通計画に定めた「施策04 柔軟な運行形態の見直しに向けた定量的な判断基準の設定」の実施に向けて、つくバス停留所の見直し基準(新設及び廃止)について、次のとおり整理したい。

■新設基準・・・公共交通改編以降の新設基準の明示

▼バス停留所の新設検討タイミング

- ・まとまった利用者需要が見込める団体など(区会等)から、バス停留所の新設要望があった場合
- ・公共施設や大型商業施設、病院施設など、市の施策で新設の必要性を認めた場合

▼設置判断基準

- ・概ね300m圏域内に別のバス停留所が存在しないこと(存在する場合は既存停留所の移設も検討)。
- ・既存のバス停留所を通過すること。
- ・既存のつくバス路線の運行便数が減少しないこと(所要時間への影響確認)。
- ・運行事業者の了解が得られること(民業圧迫への影響確認)。
- ・警察や運行事業者と協議の上、バス停留所設置予定箇所や運行経路に対する安全性が確認されていること。

※運行便数の減少や、既存のバス停留所を通過しなくなるような、経路変更を伴うバス停留所の新設の場合には、既存利用者への影響が大きいため、地元住民や既存利用者との意見交換を踏まえた上で、バス停留所の新設を慎重に検討する。

バス停圏域について

- ・つくば市地域公共交通計画における指標の1つ「居住・都市機能誘導区域内のバス停カバー圏域人口」算出については、500m圏域のカバー人口で評価しているが、免許返納者を含む高齢者にも利用しやすい公共交通を目指すために、**現実的な徒歩圏である300m圏域を基準**にバス停留所の廃止・新設を検討する。

バス停留所の見直し基準の設定(廃止)

■廃止基準

▼廃止検討となるバス停留所

- ・1日当たり平均利用者数が0.5人に満たないバス停留所(複数路線の結節点の場合には合計利用者数)
→当該バス停留所で1日に1人の利用者が乗車又は降車すると0.5人とカウント(往復乗車で1.0人)

▼廃止までの流れ

1. つくば市公共交通活性化協議会に、1日当たり平均利用者数が基準に満たないバス停留所(**廃止対象として検討中のバス停留所**含む)の一覧を報告。
2. 基準に満たないバス停留所近隣の区会や、対象となるつくバス路線の車内に、当該バス停留所が基準を満たしておらず、今後廃止対象になるおそれがある旨を周知し、利用を促す。
3. 同協議会に、基準に満たないバス停留所(**廃止対象として検討中のバス停留所**含む)の利用実績について中間報告。
4. **廃止対象として検討中のバス停留所**近隣の区会に、廃止を検討中である旨を報告し、意見を聴取する。
5. 同協議会に、基準に満たないバス停留所(**廃止対象として検討中のバス停留所**含む)の利用実績について最終報告し、**廃止対象として検討中のバス停留所**の利用実績が改善しない(基準に満たない)場合、廃止について審議。

※バス停留所管理の効率化のために、基準に満たないバス停留所は原則として廃止対象とするが、市の施策により必要性を認めた場合には例外として考慮することがある。

- ・下りの終点バス停留所(バス転回のため)
- ・公共施設、学校施設など、交通アクセス確保が必要と判断したバス停留所
- ・バス停圏域カバー率や高齢化率の観点から必要と判断したバス停留所

バス停留所の見直し基準の設定(廃止)

■廃止フロー(イメージ)

工 程		N年度										N + 1 年度							備 考
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
①	第1回協議会	▼ 基準に満たないバス停留所の一覧報告																	
②	利用促進周知	▼ 基準に満たないバス停留所の近隣区会やバス車内における利用促進の周知																	
③	利用実績モニタリング		利用実績モニタリング期間																
④	第2回協議会	▼ 利用実績モニタリング結果について中間報告																	
⑤	区会廃止調整								廃止対象として検討中のバス停留所の近隣区会に対する説明と意見聴取										
⑥	第3回協議会	▼ 利用実績が改善しない停留所について廃止審議																	
⑦	バス停留所廃止周知								バス停留所廃止周知期間										
⑧	第1回協議会											▼ 廃止した停留所を除いた運行ダイヤについて審議							
⑨	つくバスダイヤ改正											▼							10/1ダイヤ改正

※上記は最短の場合のイメージ(個別の事案に応じモニタリング期間等を調整することはある)

つくたく運行事業者の区域割当て変更について

令和4年(2022年)11月17日(木)

総合交通政策課

つくタク運行事業者の区域割当て変更について

新栄タクシー(有)と(株)フジ急について、新たに谷田部地区における区域運行の認可を取得し、両事業者の運行区域の割当てを変更するもの。

▼区域割当て変更の理由

谷田部地区は、配車の都合で予約をお断りすることが多くなっており、車両が不足している状況が見受けられる。配車可能な事業者を増やすことで、予約お断りの削減を図る。

運行区域(認可取得区域) 新旧対照表	新(R5.1～)	旧
新栄タクシー(有)	筑波、大穂・豊里、桜、 谷田部 、 茎崎	筑波、大穂・豊里、桜、茎崎
(株)フジ急	筑波、大穂・豊里、桜、 谷田部 、 茎崎	筑波、大穂・豊里、桜、茎崎

▼今後のスケジュール

- | | |
|----------------|--------------------|
| 令和4年(2022年)11月 | つくば市公共交通活性化協議会にて審議 |
| 令和4年(2022年)12月 | 関東運輸局認可申請【営業区域の追加】 |
| 令和5年(2023年) 1月 | 運用開始 |



つくたく運行事業者の区域割当て変更について

つくたく運行担当区域(案)

事業者	筑波	大穂・豊里	桜	谷田部	茎崎
(有)旭タクシー		○	応	応	
(有)天川タクシー				○	
植松タクシー(有)	○				
大曽根タクシー(株)	○	○	応		
(株)上郷タクシー		旧		○	
関鉄タクシー(株)			○	○	
(有)佐藤タクシー				○	○
新栄タクシー(有)	○	○	応	応(追加)	○
新興タクシー(有)			○		
土浦タクシー(株)			○		
登坂タクシー(有)	○				
(株)フジ急	応	○	応	応(追加)	○

※ 敬称略、五十音順
 ※ ○印:主たる運行区域 応:応援運行区域 旧:過去に担当していた区域で認可有
 ※赤字:令和5年1月から変更となる箇所



出産支援運賃割引証所持者の 共通ポイントの追加について

令和4年(2022年)11月17日(木)
総合交通政策課

つくバス・つくタク・つくばね号の出産支援運賃割引証について

出産支援運賃割引証の経緯と現状

- ・2021.4に妊産婦の支援施策として出産支援運賃割引証を導入
- ・産科医療機関のつくタク共通ポイント化(出産支援限定)を実施
- ・2022.10末現在 839名登録

▼対象者

- ・市に住民登録がある、妊婦又は3歳未満の子どもがいる母親

▼共通ポイント(妊産婦限定)

- ・筑波大学附属病院(既に共通ポイント)
- ・筑波学園病院
- ・なないろレディースクリニック

▼運賃設定

- ・割引率50%とする。

つくたくの出産支援運賃割引証所持者の共通ポイント追加について

▼運用開始予定日

- ・令和5年(2023年)4月3日(月)から

▼共通ポイントの追加箇所

- ・つくば市子育て総合支援センター(桜地区)

▼共通ポイントの追加の理由

- ・つくば市子育て総合支援センターは、つくば市在住の乳幼児と保護者の方が利用でき、子育てに関する講座や相談・情報提供・一時預かり・子育て支援者の育成などを実施しており、利用者から共通ポイント化が求められているため。

▼今後のスケジュール

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ・令和4年(2022年)11月17日 | 審議 |
| ・令和5年(2023年)1月 | 運輸支局へ届出 |
| ・令和5年(2023年)2月～3月 | パンフレット作製 広報誌掲載手続き |
| ・令和5年(2023年)4月3日 | 運用開始 |

つくば市子育て総合支援センター位置図



〒305-0018 茨城県つくば市流星台61番地
つくば市子育て総合支援センター



つくタク乗降場所 共通ポイント「子育て総合支援センター」新設について

つくタク乗降場所「子育て総合支援センター」共通ポイント設定について

(出産支援運賃割引証所持者限定)

- つくタクの共通ポイントは、生活圏の移動保障の観点から、全地区の乗降場所から相互に利用できる特別な乗降場所として設定している。
- つくタクの運行に支障が出ない中心地区において、以下の目的で共通ポイントを設定している。

- ・「つくば市役所」：行政サービスの享受
- ・「筑波大学病院」、「筑波メディカルセンター」：高度医療サービスの享受
- ・「イーアスつくば」「クレオ前」：日用品以外の買物サービスの享受
- ・「つくばセンター（つくば駅）」「研究学園駅」：交通不便地域から鉄道駅利用時の利便性確保

○子育て総合支援センターはつくば市在住の乳幼児と保護者の方が利用でき、子育てに関する講座や相談・情報提供・一時預かり・子育て支援者の育成などを実施している施設である。出産・子育てをしやすい環境や制度を整えるため、共通ポイントとする。

- 共通ポイント設定は、令和5年4月3日からとする。
- 運賃設定は、他の共通ポイントと同じ取り扱いとする。

	子育て総合支援センター (共通ポイント) 運賃案
筑波地区	1,300 円
大穂・豊里地区	1,300 円
桜地区	300 円
谷田部地区	300 円
荃崎地区	1,300 円

※出産支援運賃割引証等の各種割引は適用

- 共通ポイント設定に伴うつくタク運行時間については、運行時間への影響はない。

令和4年度公共交通政策点検・評価業務について (中間報告)

令和4年(2022年)11月17日(木)

総合交通政策課

目次

1. 現時点の検討内容の報告

(1)今年度の業務フローと主な検討内容

(2)市民及び公共交通利用者の移動行動並びに移動に関する意向調査

①市民アンケート

②施設利用者アンケート

(3)交通施策の実現に向けた検討

①つくたく関連データからみる現状分析

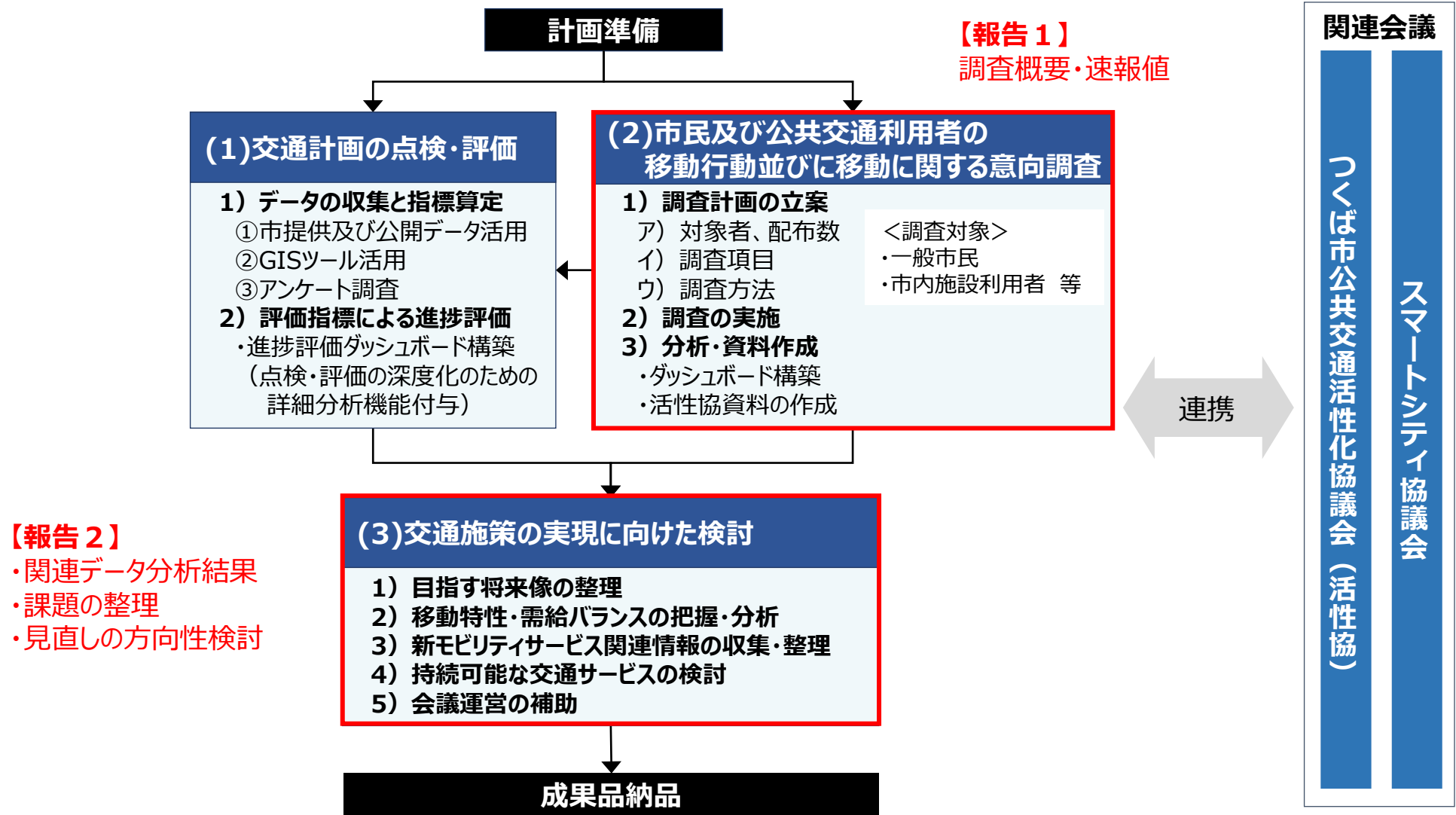
②つくたくの抜本的な見直しに向けた位置付けの再確認と課題整理

③見直しの方向性検討

2. 本業務の検討方針等に関する審議

今年度の業務フローと主な検討内容

・今年度は、つくば市地域公共交通計画(R3.3策定)で定めた「計画目標指標の達成状況評価」と、「デマンド交通(つくタク)の効率性や利便性向上に向けた抜本的な見直し」に向け、データ分析等を踏まえ改善の方向性を示すことを主な目的としている。



市民アンケートの調査概要

市民の移動行動及び「つくば市地域公共交通計画」における評価指標の達成状況評価及び交通施策に対する意向を把握することを目的として、住民基本台帳から3,000人を無作為に抽出してアンケート調査を実施し、1,112件(37.1%)回収した。

■調査概要

▼実施時期

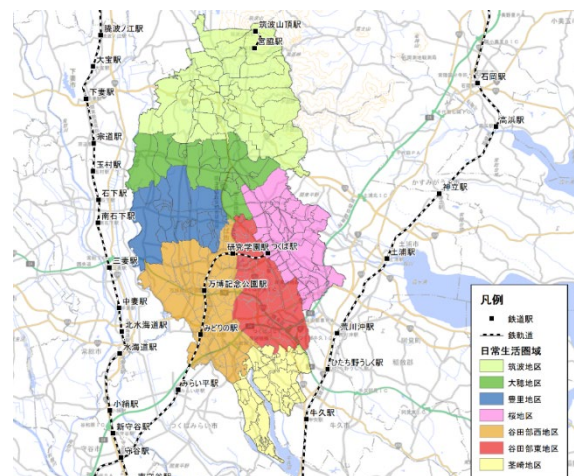
・2022年10月12日(水)発送

▼実施状況

・1,112件回収(回収率37.1%、うちWEB20.9%・郵送16.1%)

▼地区別回収結果

地区	配布数	回収数	回収率		
				WEB	郵送
■ 筑波	203	60	29.6%	9.9%	19.7%
■ 大穂	237	71	30.0%	16.0%	13.9%
■ 豊里	195	63	32.3%	14.4%	17.9%
■ 桜	700	253	36.1%	22.3%	13.9%
■ 谷田部西	721	278	38.6%	24.7%	13.9%
■ 谷田部東	667	267	40.0%	25.2%	14.8%
■ 荃崎	277	112	40.4%	14.1%	26.4%
不明	-	8	-	-	-
合計	3,000	1,112	37.1%	20.9%	16.1%



▲地区区分

▼主な調査項目

- ① 個人属性について
- ② 日常的な移動について(目的地、目的、時間帯、移動手段等)
- ③ 新型コロナウイルスによる移動への影響
- ④ つくば市での公共交通の利用状況について
- ⑤ つくば市の公共交通に対する満足度や交通政策に対する意向について

つくば市における公共交通の利用に関する調査ご協力をお願い

つくば市内に在住の皆様へ

つくば市内の公共交通には、つくばエクスプレスや民間路線バス、タクシーのほか、市のコミュニティバス「つくバス」やデマンド型交通「つくタク」、3年間の実証実験の結果を受け、2022年10月1日から本格運行の、筑波地区支線型バス「つくばねろ」がございます。

また、市では、本年も民間路線バスを活用した実証実験事業を実施するなど、「誰もが使いやすいインフラ」の実現に取り組んでいます。

2021年3月に、市民の皆様にとってよりよい公共交通を実現するために、「つくば市地域公共交通計画」を策定しました。この計画では、既存の交通サービスを充実させ、地域の特性に応じた多様な交通サービスを組み合わせることで、より利便性の高い持続可能な公共交通網の構築を目指しています。

なお、「つくば市地域公共交通計画」で策定した施策は、評価指標を設定し、着実に実行していくために、定期的に達成状況を評価することとしています。

本調査は、評価指標を評価するために必要なアンケートであり、今後のよりよい公共交通網を実現していくために、皆様の通勤・通学や暮らす生活における移動手段などについて伺いたいものです。

お忙しいところ恐縮ですが、調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

つくば市長 五十嵐 亮吉

【ご回答にあたってのお願い】

- つくば市の住民基本台帳から3,000人を無作為に抽出し、調査票を送付しております。調査票は、ご本人様がお受けください。
- 10月24日(月)までにご回答いただきますよう、お願いします。
- インターネットから回答いただけます。右のQRコードまたはURLからアクセスしていただき、下記のアンケートIDを入力して、すべての質問にご回答ください。

アンケートID: 999999

<https://forms.gle/Zwwohe9YVqWfryL1f6>

※上記のIDは、回答の重複を管理するためのものであり、回答者個人の特定には使用いたしません。

※上記の方法でインターネットから回答できない場合は、3ページ目以降に回答をご記入いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、期日までにご投函いただきますようお願いいたします。

※ご回答いただいた内容について、個人を特定するような情報は一切公開されません。

【お問合せなど】

〒305-0855 つくば市市庁舎第2階 電話: 029-883-1111 (代)

業務委託先: 株式会社 福山コンサルタント 電話: 03-5296-9404

※本調査は、つくば市が、(株)福山コンサルタントに委託して実施しております。

▲調査票(依頼文)

つくば市における公共交通の利用に関する調査 調査票

アカウントを切り替える (共有なし)

*必須

問1「あなた自身のこと」について伺います。

問1-1 あなたの年齢をお答えください。 *

☐ 1. 20歳未満

☐ 2. 20~29歳

☐ 3. 30~39歳

☐ 4. 40~49歳

☐ 5. 50~59歳

☐ 6. 60~64歳

☐ 7. 65~69歳

☐ 8. 70~74歳

☐ 9. 75~79歳

☐ 10. 80歳以上

▲WEB回答フォーム

回収は
郵送とWEB
を併用

施設利用者アンケートの調査概要

公共交通の潜在的なニーズを明らかにすることを目的として、公共交通の利用ポテンシャルが高い施設の利用者に対して当該施設に来訪する際の移動行動に関するアンケート調査を実施した。WEBアンケート調査により600人のモニターから1,120件の回答を得た。

■調査概要

▼実施時期

・2022年10月27日(木)

▼実施状況

・1,120件回収(WEB調査600人回答) ※楽天インサイト活用

▼対象施設

・つくタク、タクシー、つくバスの利用実績をもとに施設を抽出

<病院>

筑波大学病院
筑波メディカルセンター
筑波記念病院
筑波総合クリニック
筑波学園病院

<商業施設>

イースつくば(研究学園駅)
イオンモールつくば
松代ショッピングセンター
トナリエつくば(つくば駅・つくばセンター)

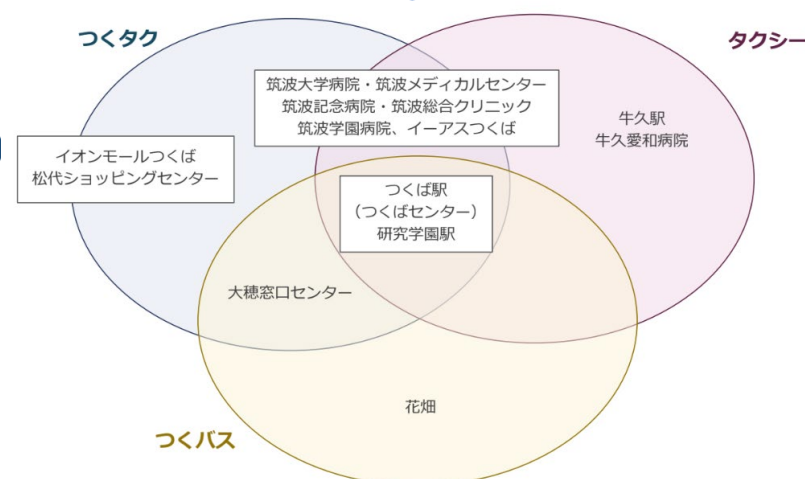
▼主な調査項目

- ① 対象者の個人属性について
- ② 当該施設への移動について(時間帯、移動手段等)
- ③ 当該施設に公共交通
- ④ つくば市の今後の交通政策に対する意向について



※画像はつくタクの集計例

手段別に乗降実績を集計

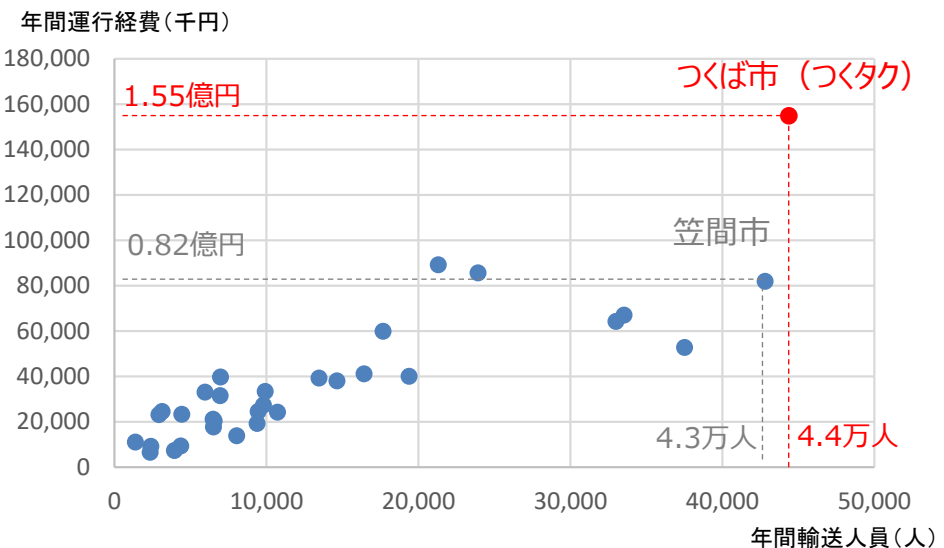


▲対象施設の抽出イメージ

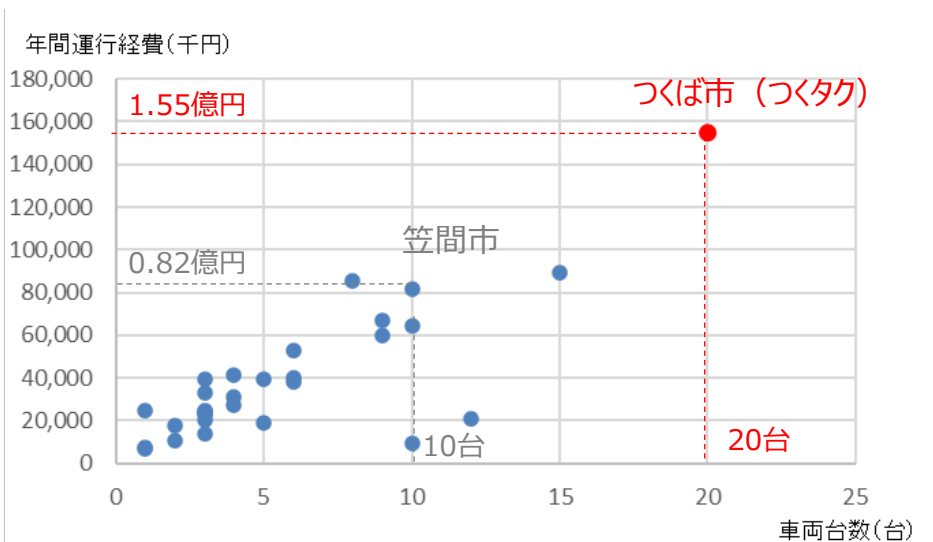
茨城県内における乗合タクシーの運行状況

- ・県内で乗合タクシーを運行する32自治体のうち、つくば市が年間運行経費及び輸送人員ともに第1位
- ・しかし1乗車あたりのコストが約3,500円と比較的高く、輸送人員がほぼ同じ笠間市と比べると約1.8倍

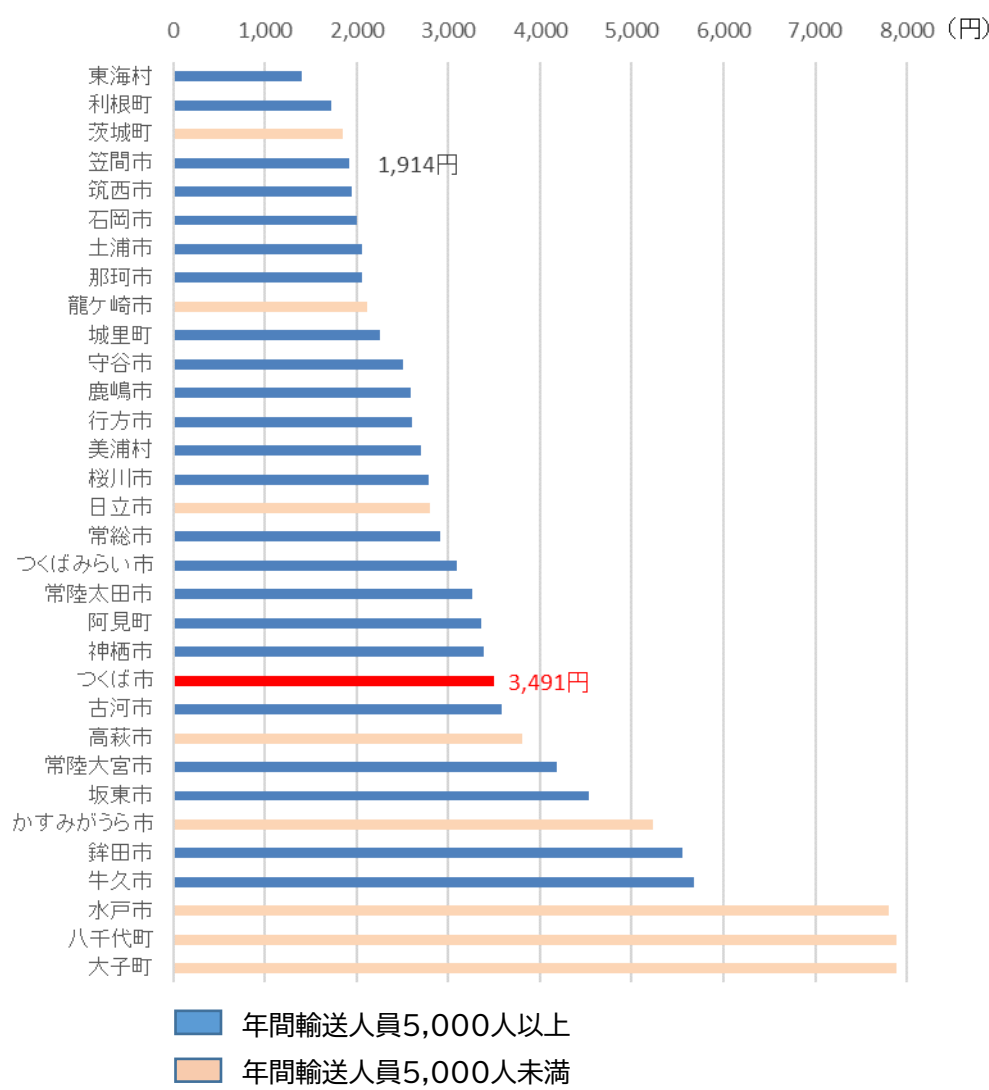
▼県内乗合タクシーの経費と輸送人員(R3年度)



▼県内乗合タクシーの車両台数と輸送人員(R3年度)



▼県内乗合タクシーの1乗車当たりコスト(R3年度)



茨城県内における乗合タクシーの運行状況

- ・一定の人口規模・人口密度を有する自治体のうち、つくば市は市域が広く、人口密度は低い
- ・笠間市は人口規模はつくば市と比べ大きく下回るが、面積は同規模で年間輸送人員は概ね同程度

▼県内乗合タクシーの概要(R3年度)

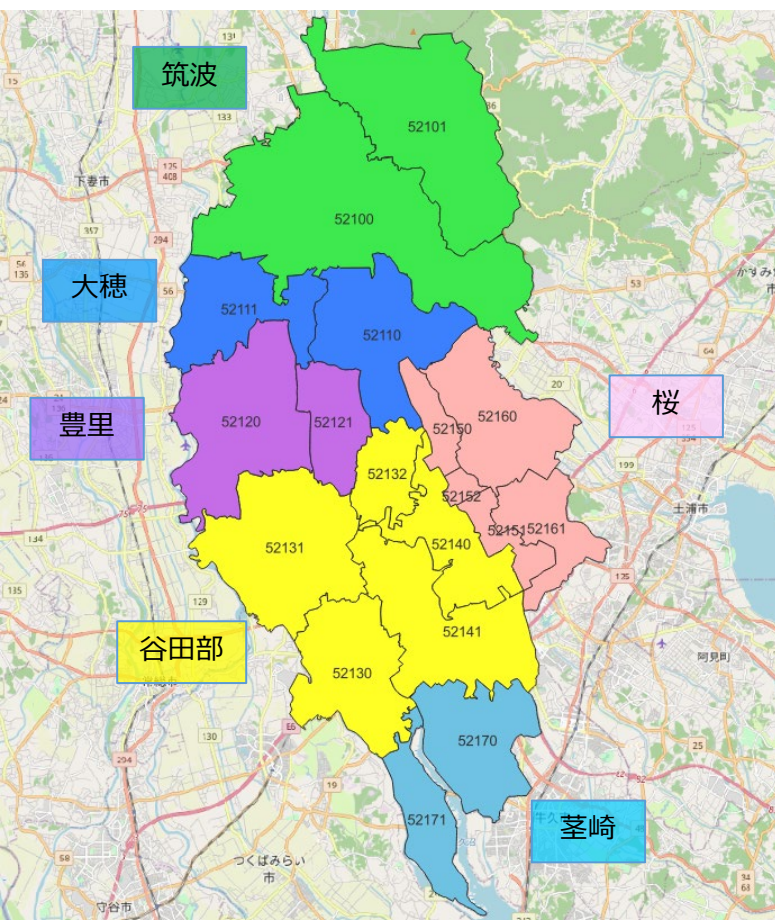
市町村名	人口 (人)	面積 (km2)	人口密度 (人/km2)	乗合タクシーサービス名	車両 台数	使用車両の内訳	運賃形態	基本運賃	【A】 年間輸送 人員 (人)	年間運行 日数 (日)	【B】 運行経費 (千円)	【C】 うち 運賃収入 (千円)	【B/A】 利用者 あたり 年間コスト (円/人)	【C/B】 経常 収支率
つくば市	251,281	284	886	つくば市デマンド型 乗り合いタクシー「つくタク」	20	ワゴン型10人6台 セダン型5人14台	その他	地区内移動: 300円 特例ポイントへの移動: 300円 共通ポイントへの移動: 300円(谷 田部地区、桜地区)、1,300円(筑 波地区、大穂豊里地区、茎崎地 区)	44,380	242	154,919	8,663	3,491	5.6%
水戸市	269,680	217	1,241	1,000円タクシー	6	セダン5人6台	定額 (一乗車につき)	1,000円または500円	3,137	1,337	24,469	2,317	7,800	9.5%
土浦市	141,720	123	1,153	のりあいタクシー土浦	5	ワゴン7人4台 セダン5人1台	定額 (一乗車につき)	600円	9,392	244	19,289	5,636	2,054	29.2%
古河市	138,225	124	1,119	デマンド交通「愛・あい号」	8	ジャンボ9人1台 ワゴン7人5台 セダン5人2台	定額 (一乗車につき)	300円	23,935	290	85,626	7,972	3,577	9.3%
日立市	169,660	226	752	日立市地域公共交通坂下地区 乗合タクシー「みなみ号」	1	ワゴン10人1台	定額 (一乗車につき)	200円	2,349	245	6,590	470	2,805	7.1%
笠間市	72,201	240	300	デマンドタクシーかさま	10	ワゴン10人10台	定額 (一乗車につき)	400円	42,806	290	81,940	16,405	1,914	20.0%

※人口10万人以上、人口密度700人/km²以上 の都市を類似条件の都市として抽出
 ※笠間市については、年間輸送人員が同様のためピックアップ

つくタク利用者の概要(地区別)

- ・年間延べ4.4万人が利用(ユニーク数は2,293人)しており、キャンセルや予約断り・キャンセル待ち(未乗車)を合わせると延べ5.4万人のつくタク利用需要が存在
- ・現在1時間につき1送迎(乗合あり)で運行しているため、車両時間当たり輸送量は0.9~1.4人と少ない

▼つくば市の地区・ゾーン区分



▼つくタク利用概況(R3年度・地区別)

地区 (延べ人数)						
	A:筑波地区	B:大穂・C:豊里地区	D:桜地区	E:谷田部地区	F:茎崎地区	総数
乗車	6,664	7,924	7,614	15,837	6,341	44,380
キャンセル	762	766	1,241	2,680	735	6,184
予約断り・キャンセル待ち (未乗車)	245	281	1,262	1,822	270	3,880
総数	7,671	8,971	10,117	20,339	7,346	54,444

地区 (割合)						
	A:筑波地区	B:大穂・C:豊里地区	D:桜地区	E:谷田部地区	F:茎崎地区	総数
乗車	87%	88%	75%	78%	86%	82%
キャンセル	10%	9%	12%	13%	10%	11%
予約断り・キャンセル待ち (未乗車)	3%	3%	12%	9%	4%	7%
総数	100%	100%	100%	100%	100%	100%

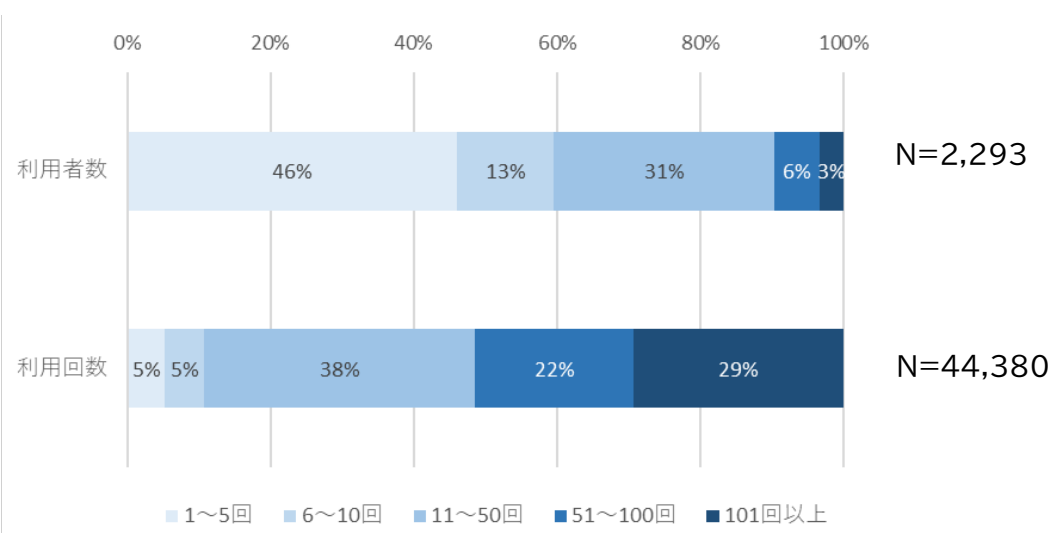
	A:筑波地区	B:大穂・C:豊里地区	D:桜地区	E:谷田部地区	F:茎崎地区	総数
車両台数	4	4	3	6	3	20
車両日当たり輸送量 (人/日・台)	6.9	8.2	10.5	10.9	8.7	9.2
車両時間当たり輸送量 (人/時・台)	0.98	1.17	1.50	1.56	1.25	1.31

※1車両実働7時間/日

つくタクの利用頻度

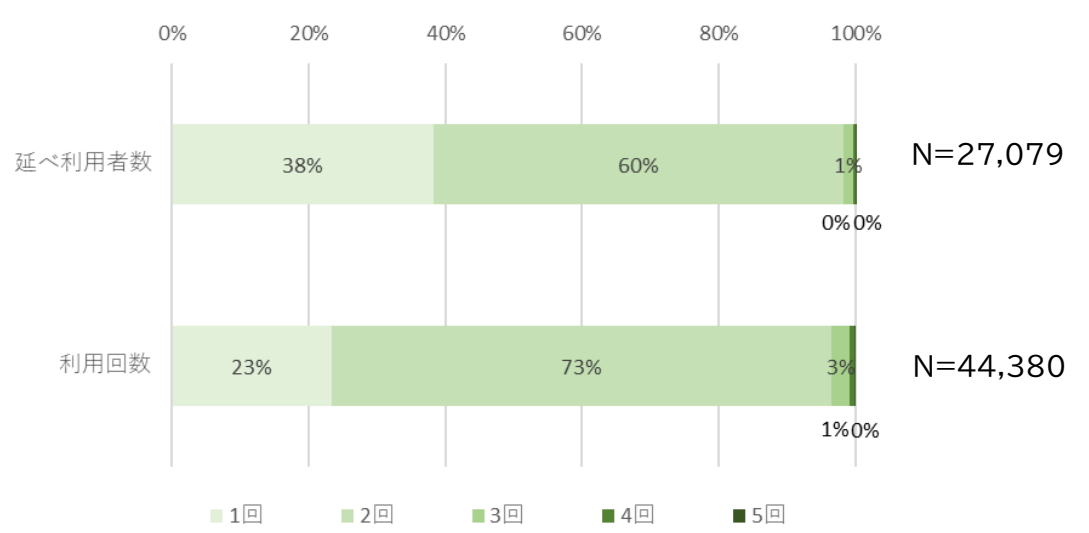
- ・全体のユーザー数のうち、年間利用10回以下が約6割、年間利用50回以下まで広げると約9割を占める
- ・ただし、年間利用51回以上のユーザーが利用した回数は全体の半分以上を占めている
- ・乗車日の利用回数は2回(往復利用想定)が約6割と多いが、1回(片道利用)も約4割みられる

▼つくタク年間利用回数内訳(R3年度)



※利用者数は登録されたユニークユーザー数

▼つくタク日利用回数内訳(R3年度)



※延べ利用者数は日別にユニークユーザー数をカウントした合計値

【参考】 R3年度の運行日数242日であり、週1回1往復(2回)利用であれば、年間約100回

つくタクの運賃属性

- ・半額での利用が9割以上を占めており、属性を見ても高齢者が8割、障害者が1割で一般の方の利用は少ない
- ・共通ポイント料金での利用は全体の約4%で、全体の傾向同様、ほとんどが半額利用
- ・全体の乗合率は約5割で、地区内移動と共通ポイント利用の乗合率を比較すると、共通ポイント利用の方が乗合率が低い

▼つくタク利用運賃内訳(R3年度)

運賃(円)	概要	利用人数	構成比	乗合率
0	未就学児2人まで無料	881	2.0%	99%
150	高齢者・障害者・小人・出産支援半額	39,659	89.4%	49%
200	乗継割引	13	0.0%	75%
300	地区内	1,993	4.5%	70%
450	基本料金＋半額	1	0.0%	100%
650	共通ポイント半額	1,693	3.8%	42%
1,300	共通ポイント	140	0.3%	44%
合計		44,380	100%	52%

※乗合率には、未就学児とその保護者などの乗合も含む

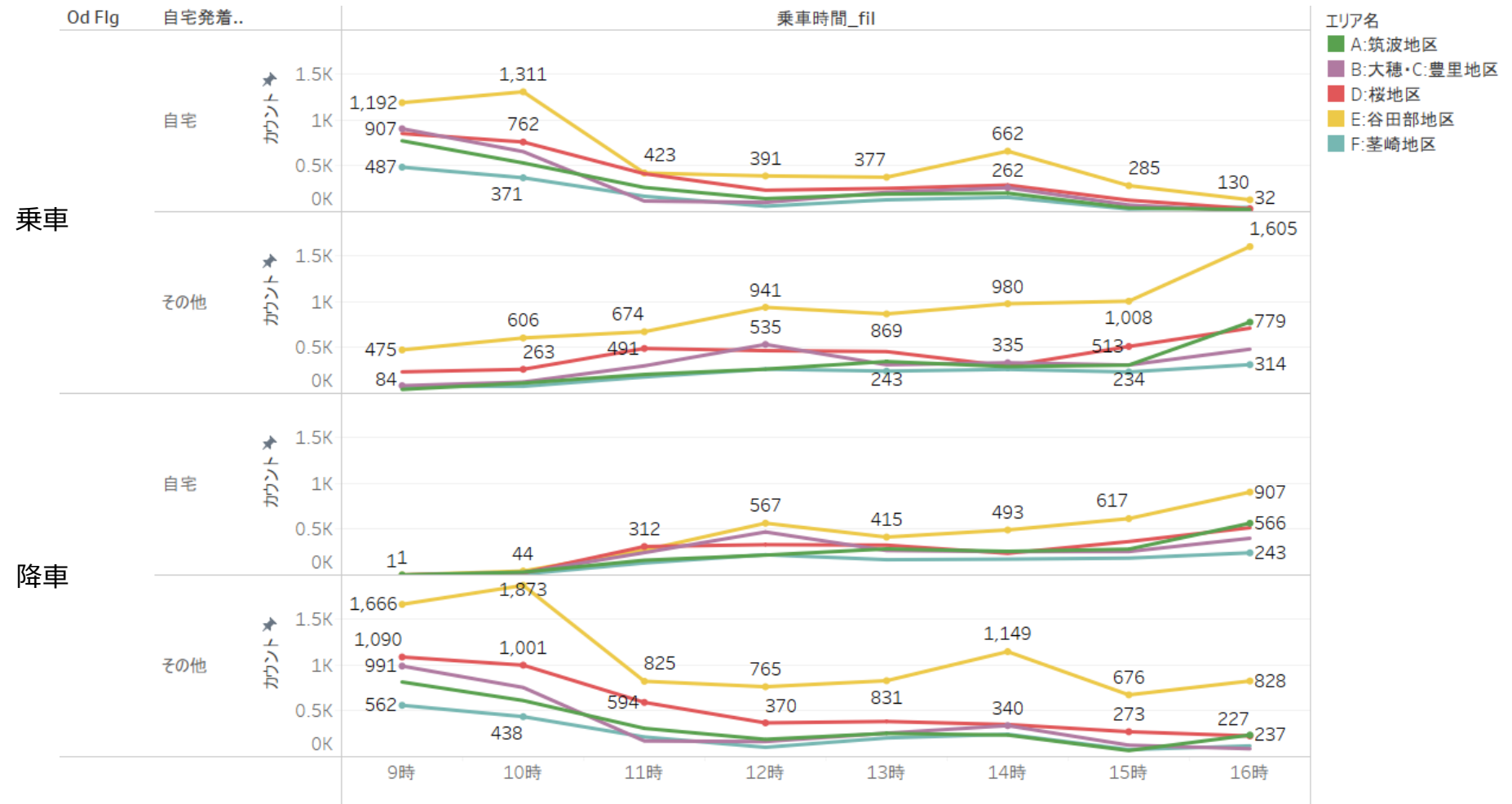
▼つくタク利用者属性内訳(R3年度)

属性	利用人数	構成比
高齢者	35,255	79.4%
障害者	4,513	10.2%
出産支援	1,297	2.9%
小学生	688	1.6%
未就学児	269	0.6%
介護人	210	0.5%
一般	2,148	4.8%
合計	44,380	100%

つくたく利用の時間帯特性

- ・9～10時台はどの地区においても自宅から乗車する方が多い
- ・16時台は谷田部地区のその他(自宅以外)から乗車する方が多い

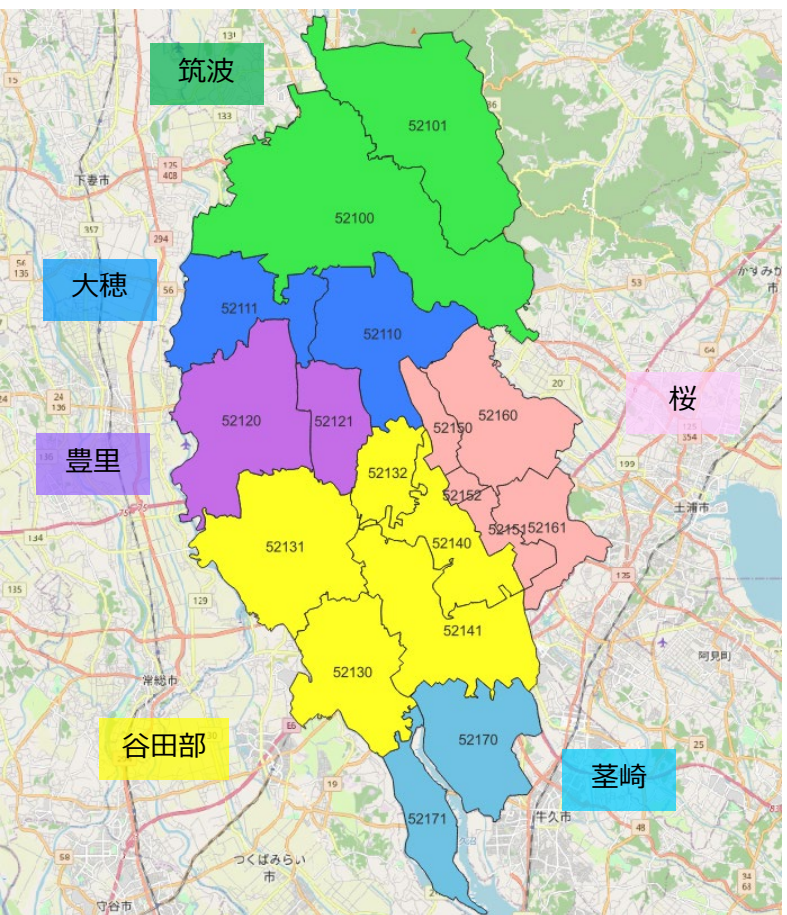
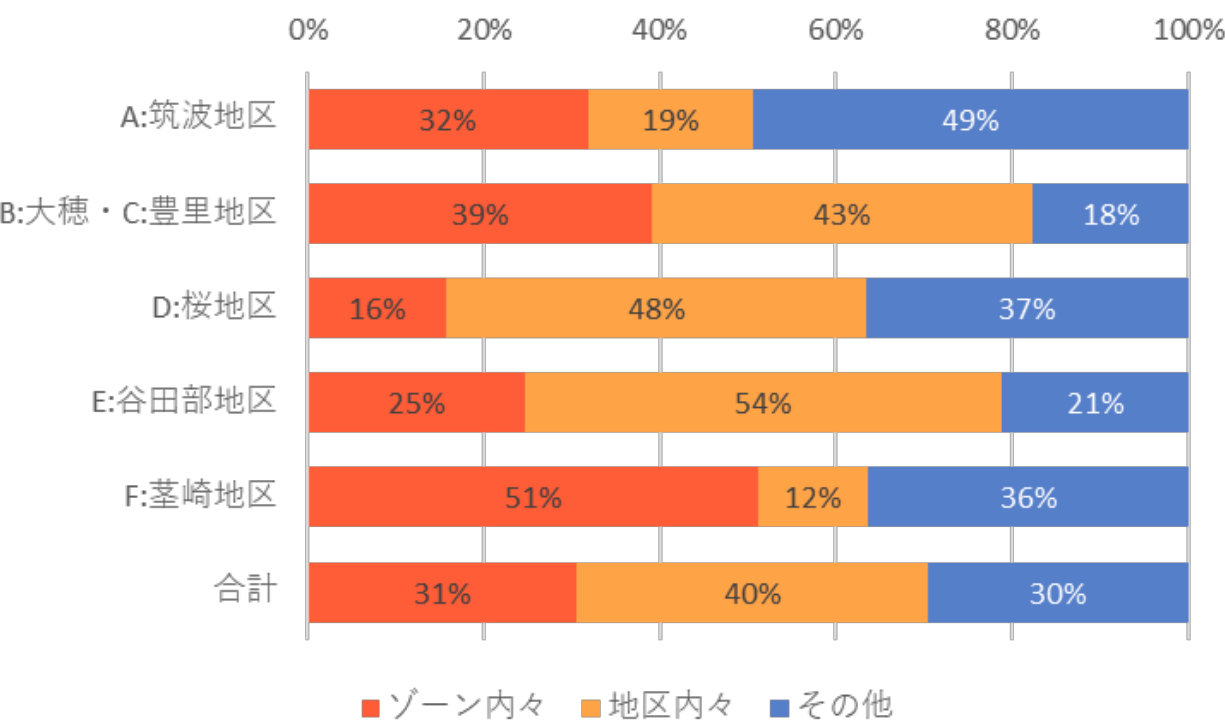
▼時間帯別発生集中量(地区別・R3年度)



地区別の起終点特性(全体概要)

- ・筑波地区は、地区外への移動が約5割と多い
- ・荳崎地区は、ゾーン内々の移動が約5割と多い

▼つくタク起終点内訳(R3年度)



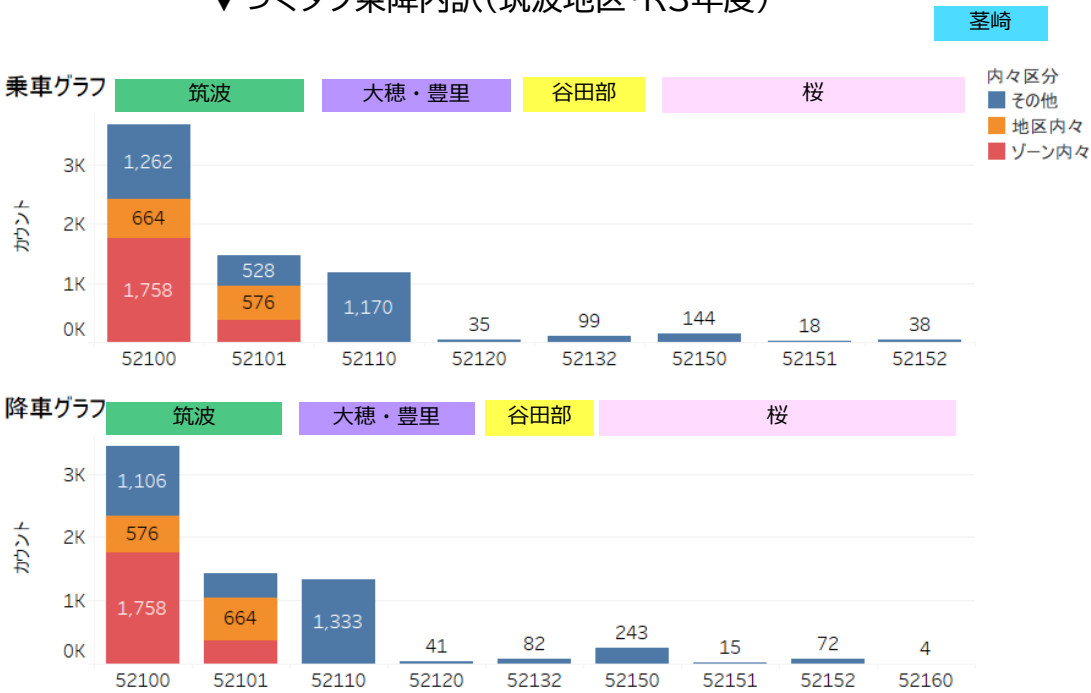
ゾーン: H30東京都市圏パーソントリップ調査小ゾーン
 地区: つくタクの運行地区区分である5地区(筑波地区、大穂・豊里地区、桜地区、谷田部地区、荳崎地区)

ゾーン内々交通: あるゾーンの中で乗車して、同じゾーンで降車する移動
 地区内々交通: ある地区の中で乗車して、同じ地区で降車する移動(ゾーン内々交通除く)

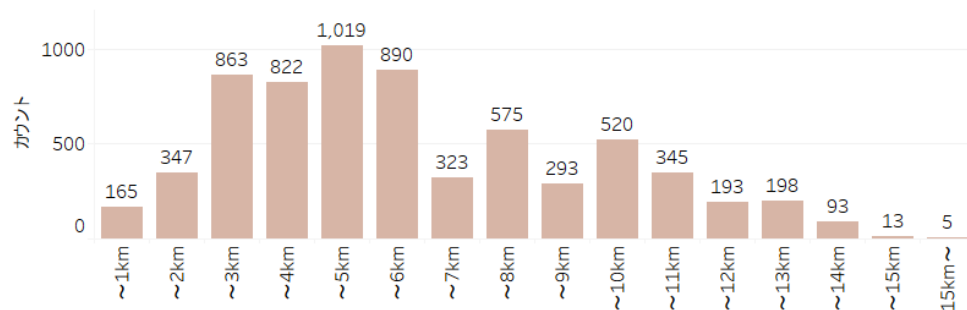
地区別の起終点特性(A.筑波地区)

- ・乗降は52100ゾーン(作谷・北条など)が多い
- ・地区外では特例ポイントがある52110ゾーン(大穂窓口センターなど)が多い
- ・ゾーン間の移動量は、52100(作谷・北条など)⇔ 52110(大穂窓口センターなど)が多い

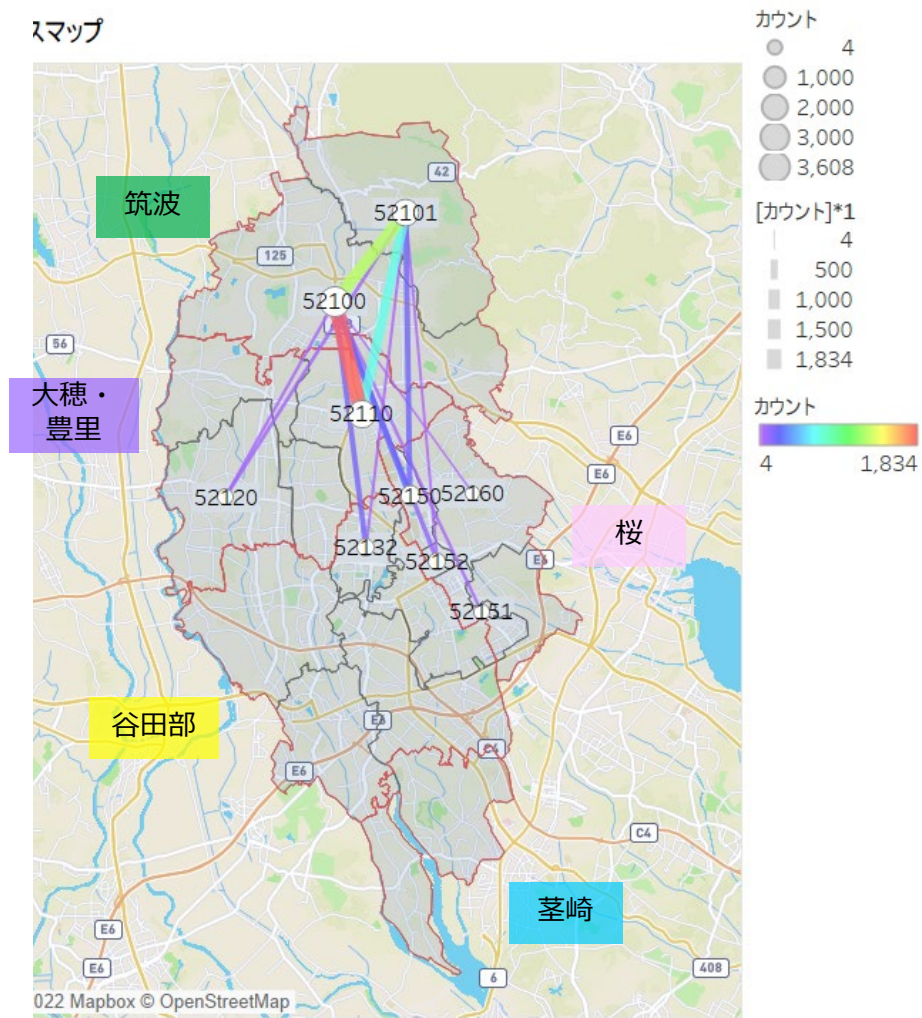
▼つくタク乗降内訳(筑波地区・R3年度)



トリップ距離



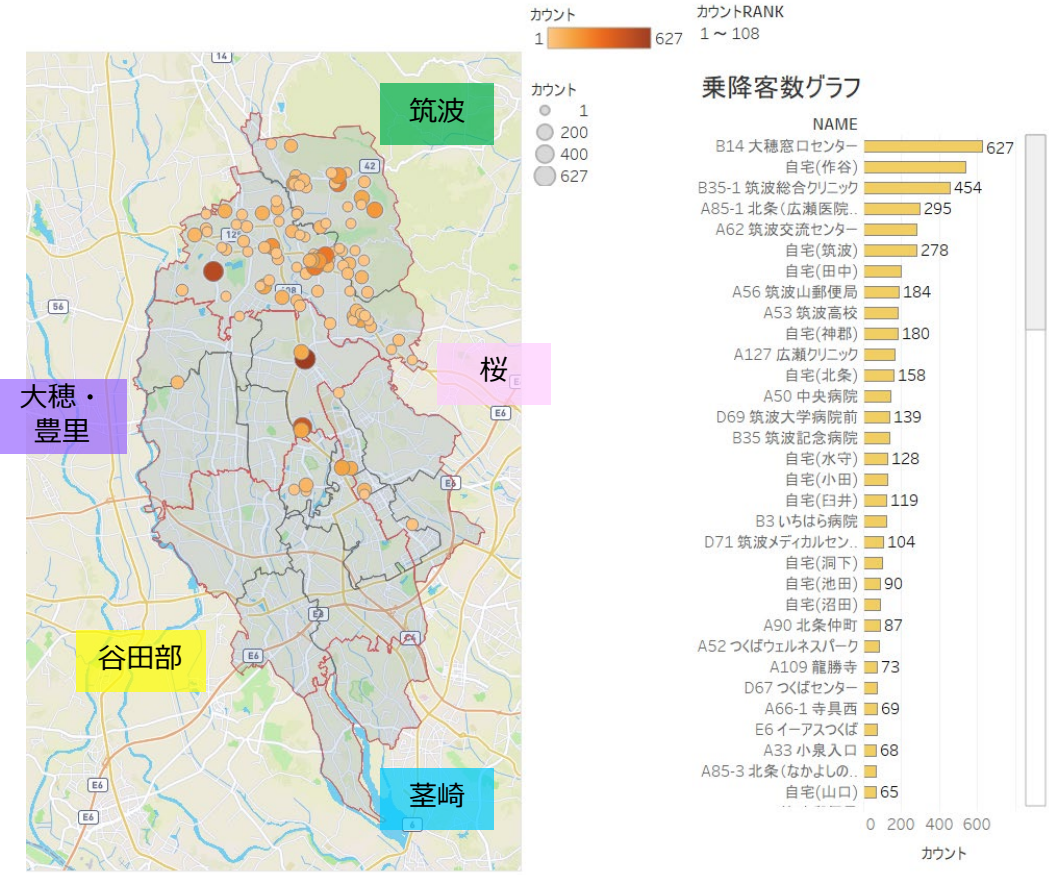
▼ゾーン間移動量(筑波地区・R3年度)



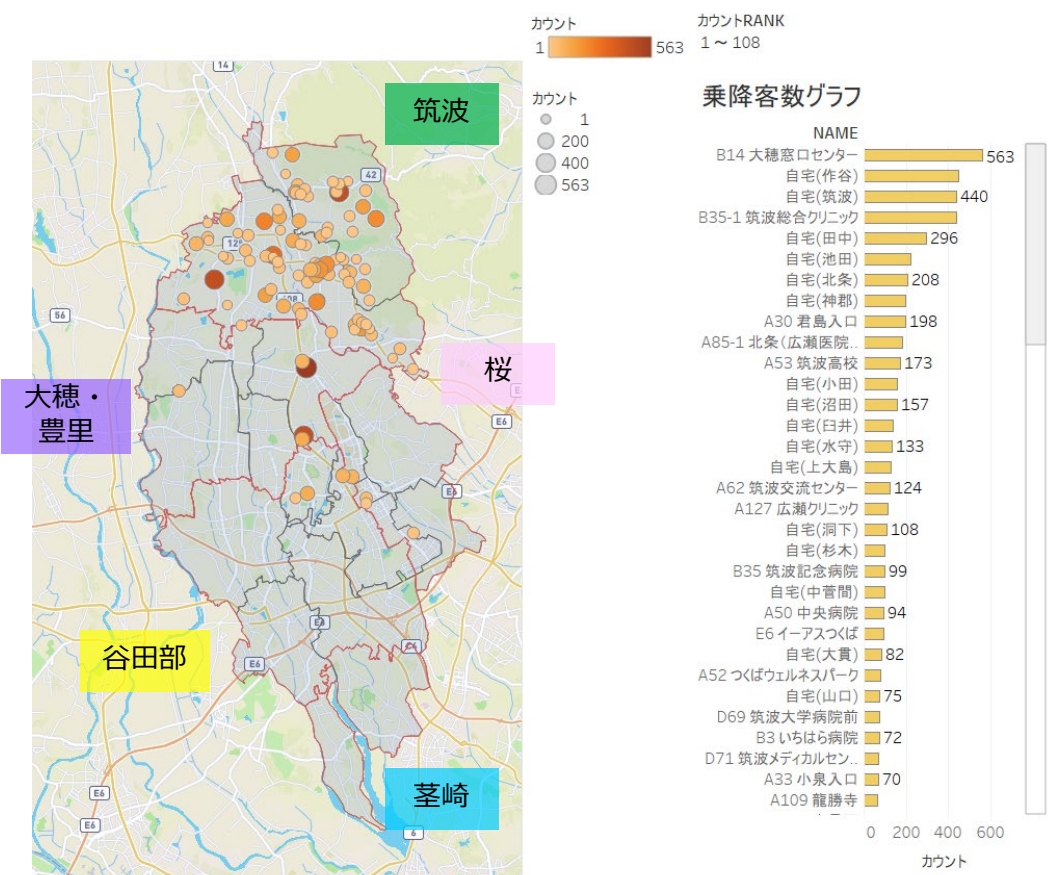
地区別の起終点特性(A.筑波地区)

- ・自宅以外の目的地は特例ポイントとなっている地区外の大穂窓口センターや筑波総合クリニックが多い
- ・地区内の移動+特例ポイントへの移動につくタクが利用されている

▼つくタク出発地分布(筑波地区・R3年度)



▼つくタク到着地分布(筑波地区・R3年度)



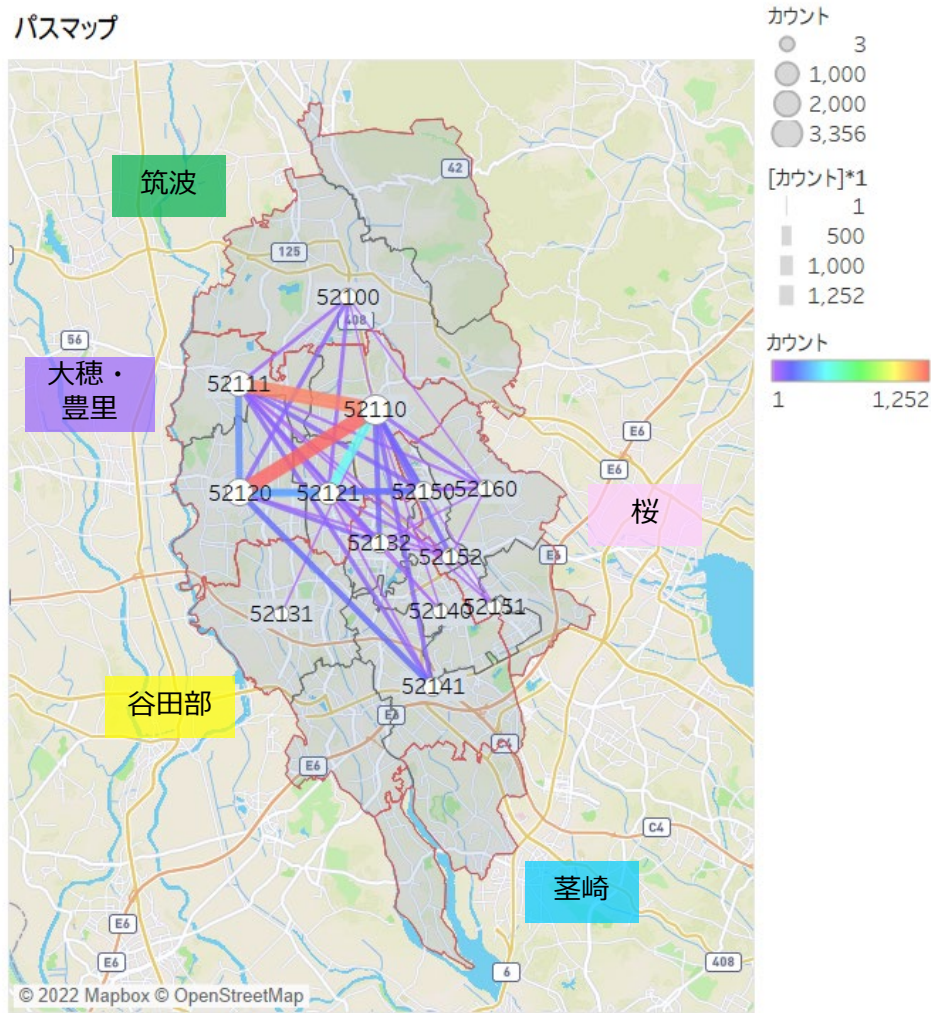
地区別の起終点特性(B.大穂・C.豊里地区)

- 乗降は52110ゾーン(筑波総合クリニック・大穂窓口センターなど)が多く、地区内の乗降がほとんど
- ゾーン間の移動量は、52111(吉沼など)・52120(上郷など)⇄ 52110(筑波総合クリニックなど)が多い

▼つくたく乗降内訳(大穂・豊里地区・R3年度)



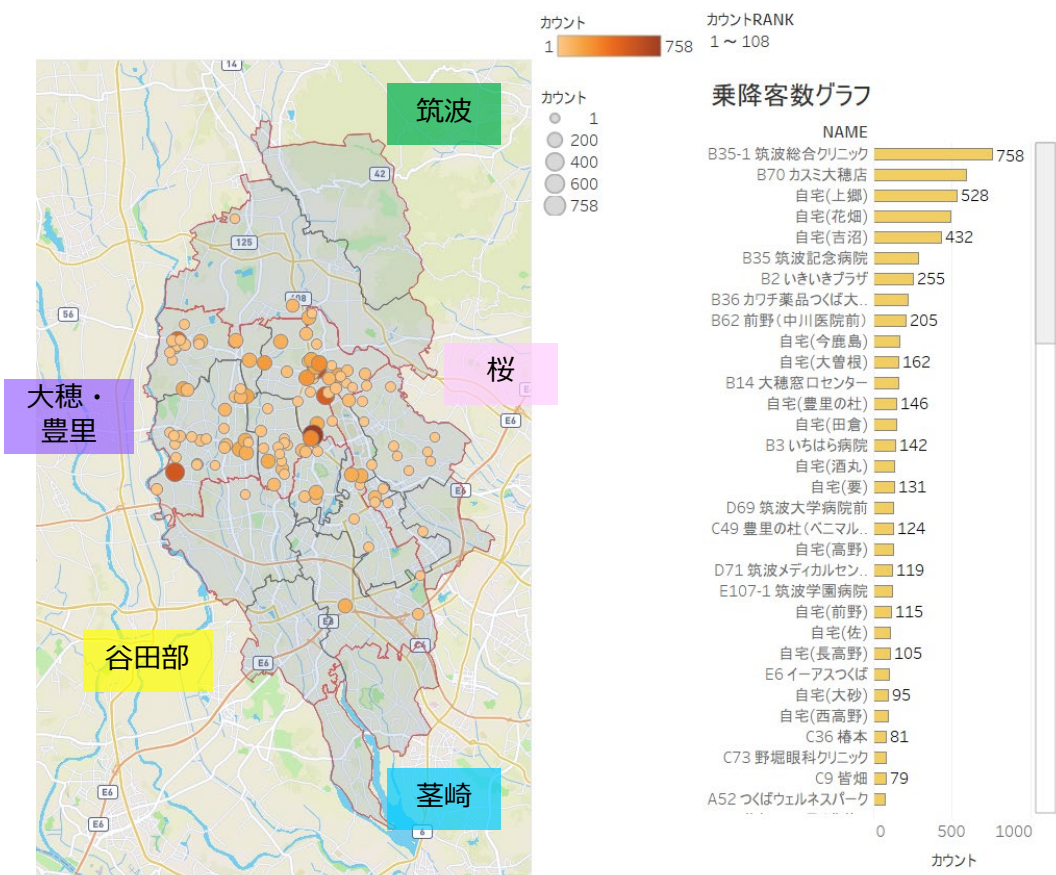
▼ゾーン間移動量(大穂・豊里地区・R3年度)



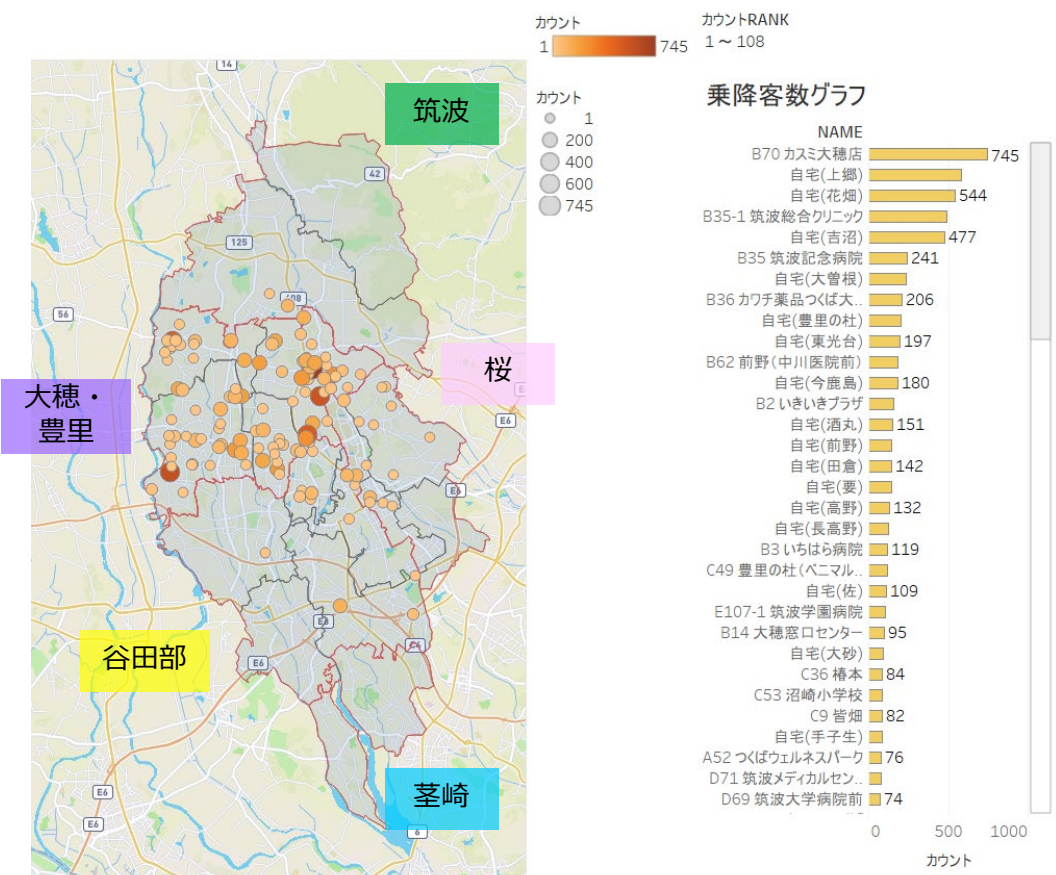
地区別の起終点特性(B.大穂・C.豊里地区)

- ・自宅以外の目的地は地区内の筑波総合クリニックや筑波記念病院、カスミ大穂店が多い
- ・地区内の移動が中心で、特例ポイントや共通ポイント(地区外)への移動は他地区と比べて少ない

▼つくたく出発地分布(大穂・豊里地区・R3年度)



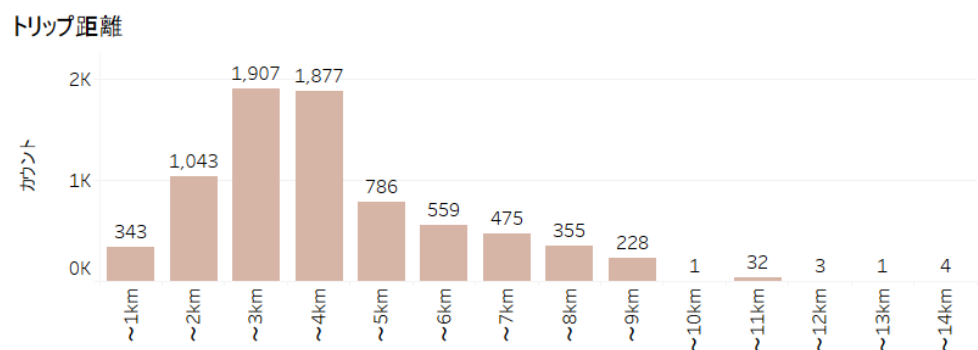
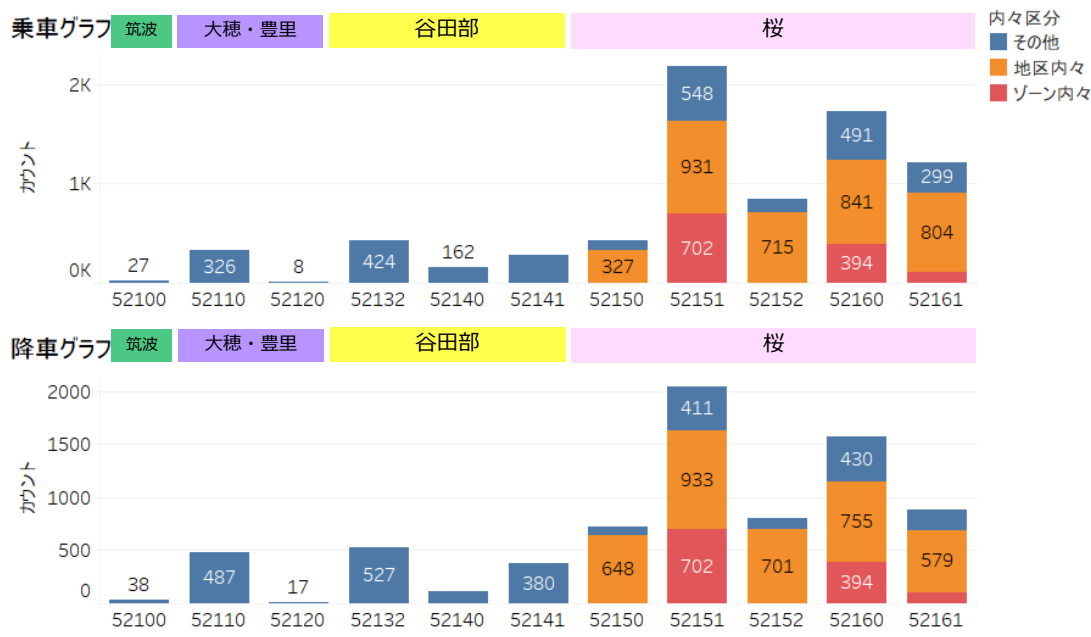
▼つくたく到着地分布(大穂・豊里地区・R3年度)



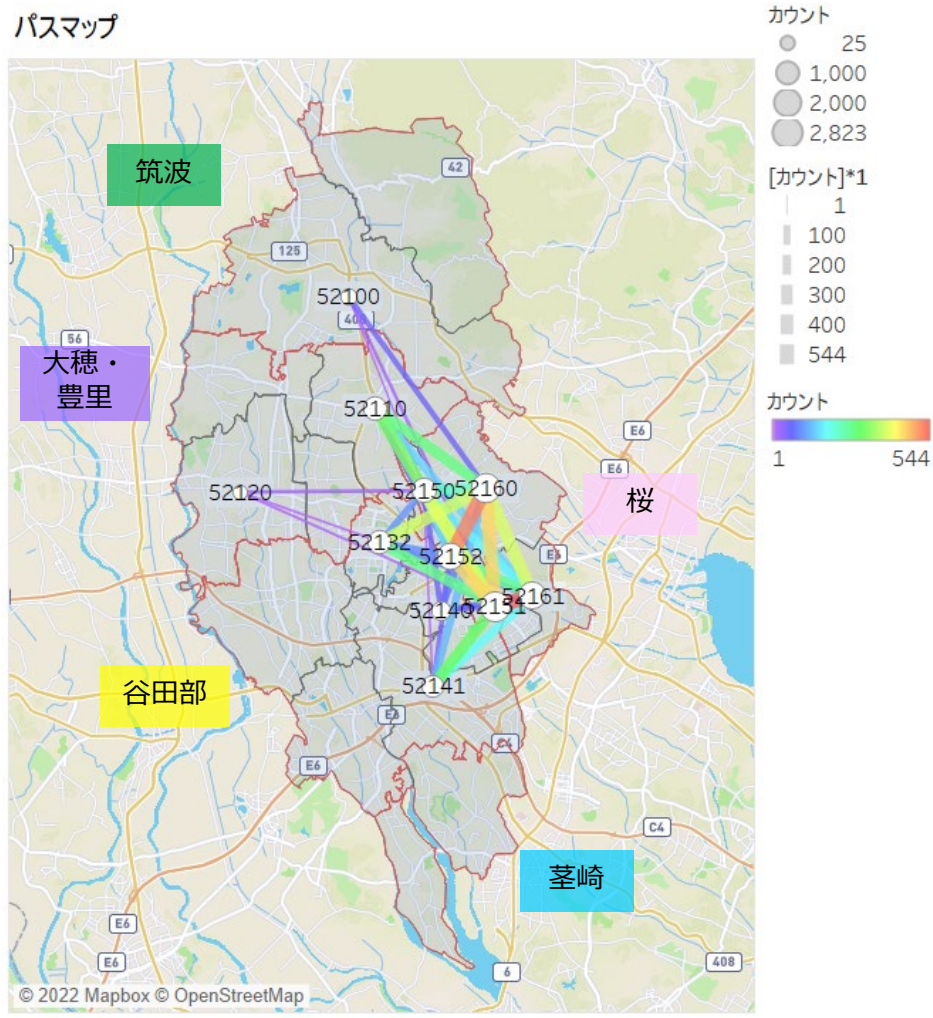
地区別の起終点特性(D.桜地区)

- ・乗降は52151ゾーン(千現など)が多い
- ・地区外では特例ポイントがある52132ゾーン(イ-アつくばなど)が多い
- ・ゾーン間の移動量は、52151(千現など)⇔ 52161(吉瀬など)、52152(つくばセンターなど)⇔ 52160(柴崎など)が多い

▼つくタク乗降内訳(桜地区・R3年度)



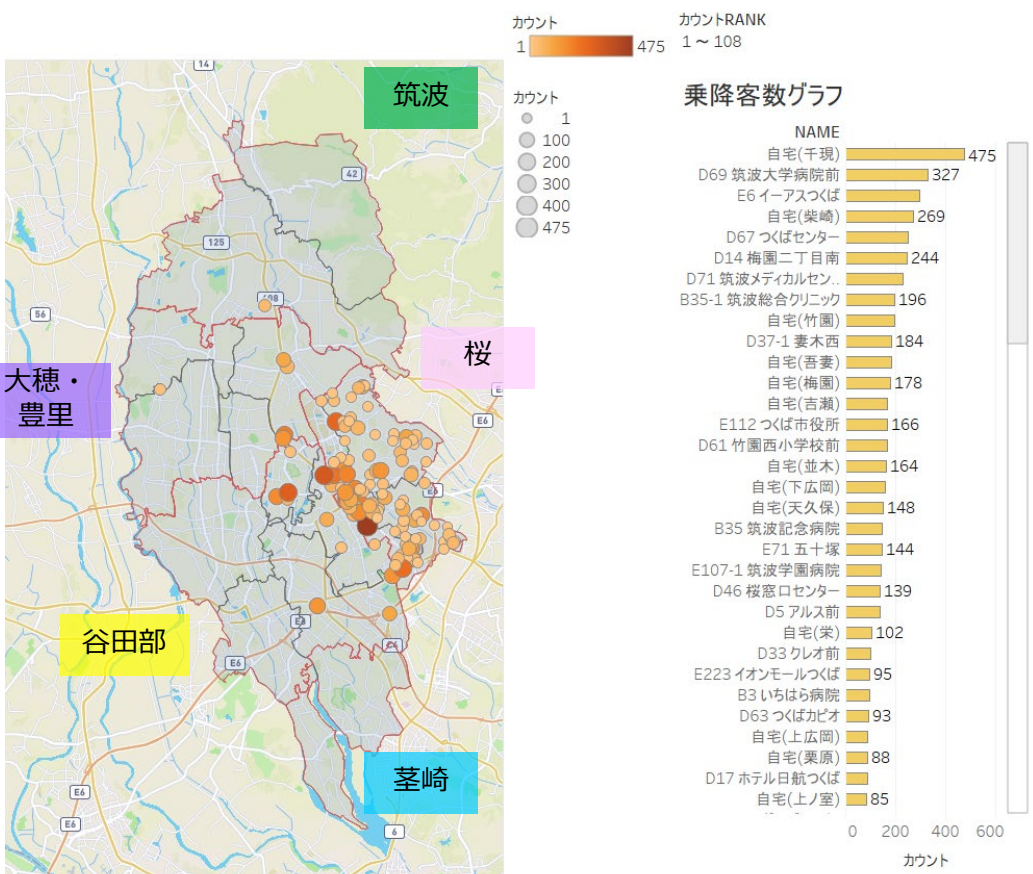
▼ゾーン間移動量(桜地区・R3年度)



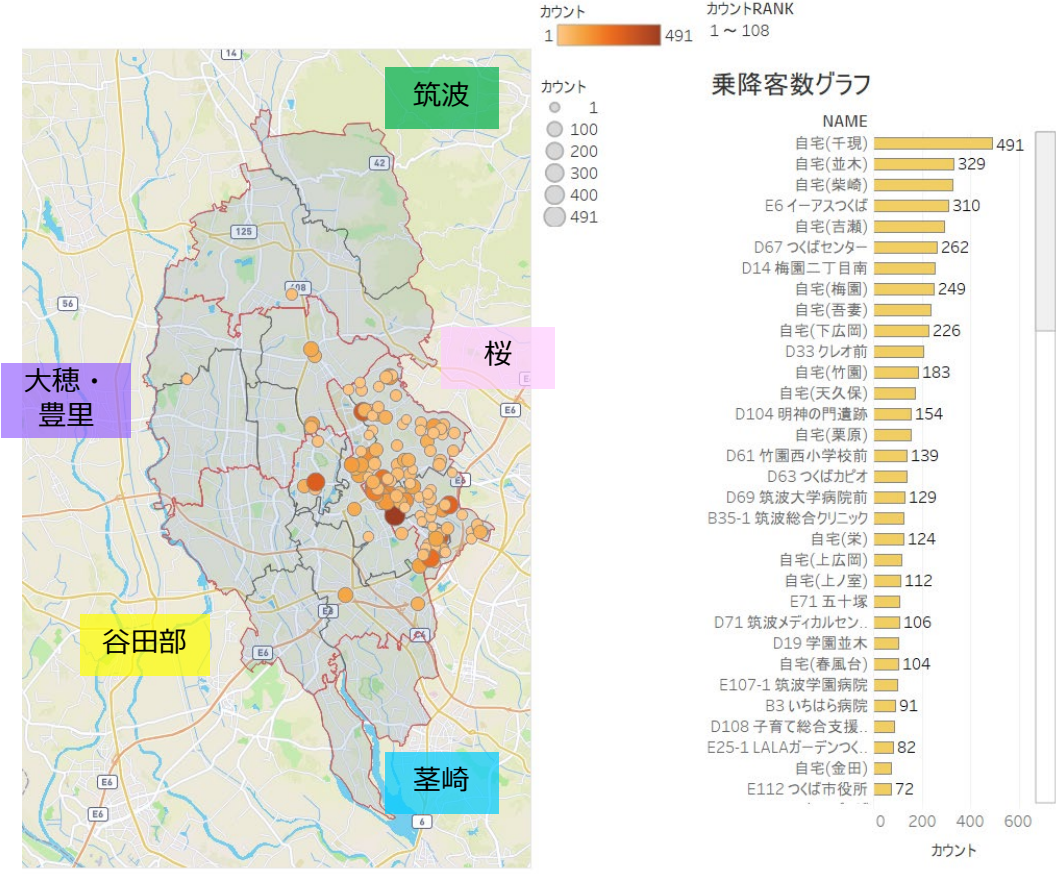
地区別の起終点特性(D.桜地区)

- ・自宅以外の目的地は地区内の筑波大学病院前やつくばセンターや、共通ポイントのイーアスつくばなどが多い
- ・地区内の移動 + 研究学園駅周辺の移動につくタクが利用されている

▼つくタク出発地分布(桜地区・R3年度)



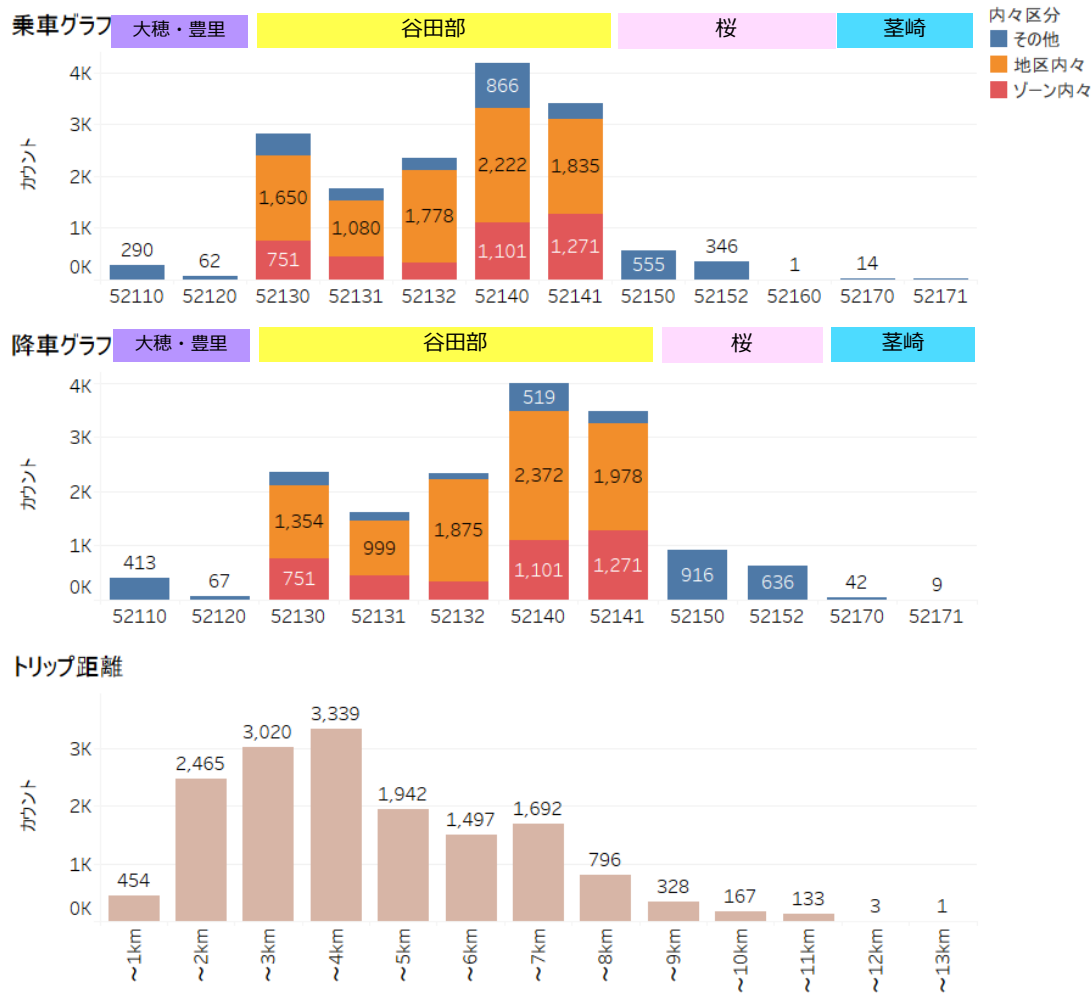
▼つくタク到着地分布(桜地区・R3年度)



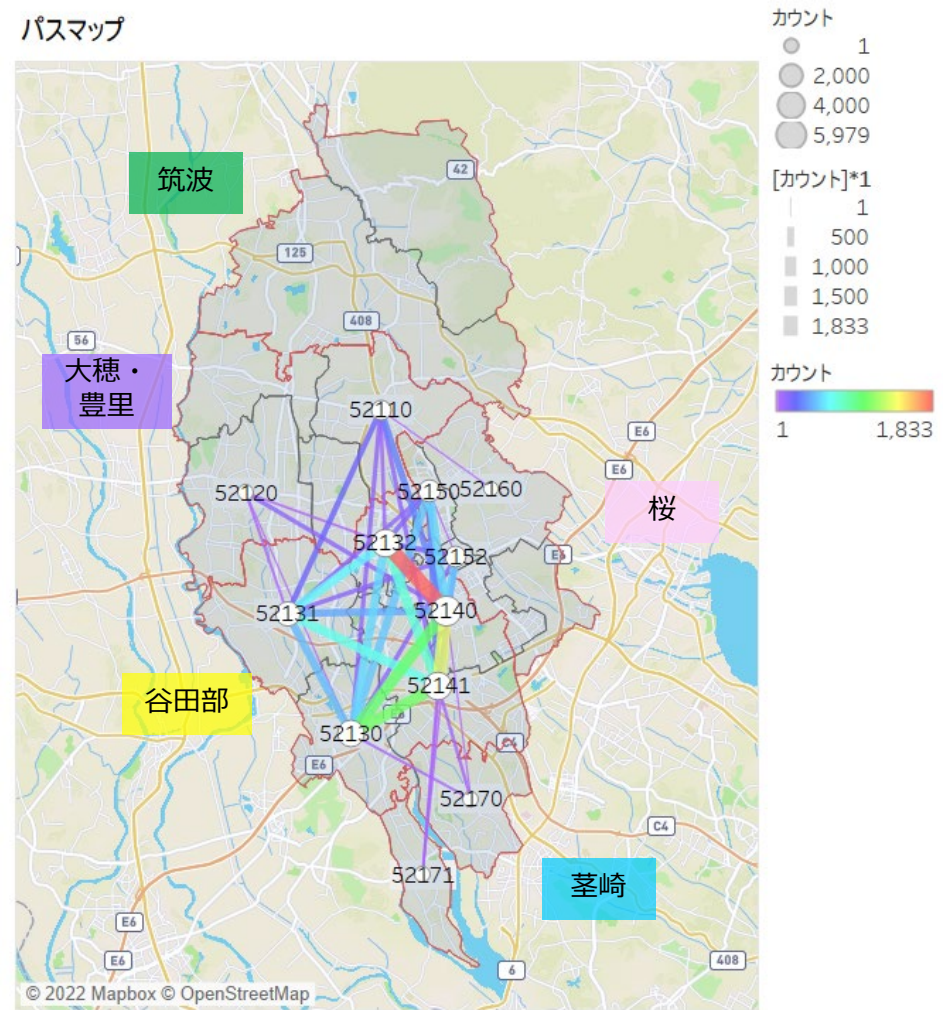
地区別の起終点特性(E.谷田部地区)

- ・乗降は52140ゾーン(松代・LALAがーデンなど)、52141ゾーン(筑波学園病院・イオンモールつくばなど)が多い
- ・地区外では特例ポイントがある52150ゾーン(筑波大学病院など)が多い
- ・ゾーン間の移動量は、52140(松代など)⇔ 52132(イースつくばなど)が多い

▼つくタク乗降内訳(谷田部地区・R3年度)



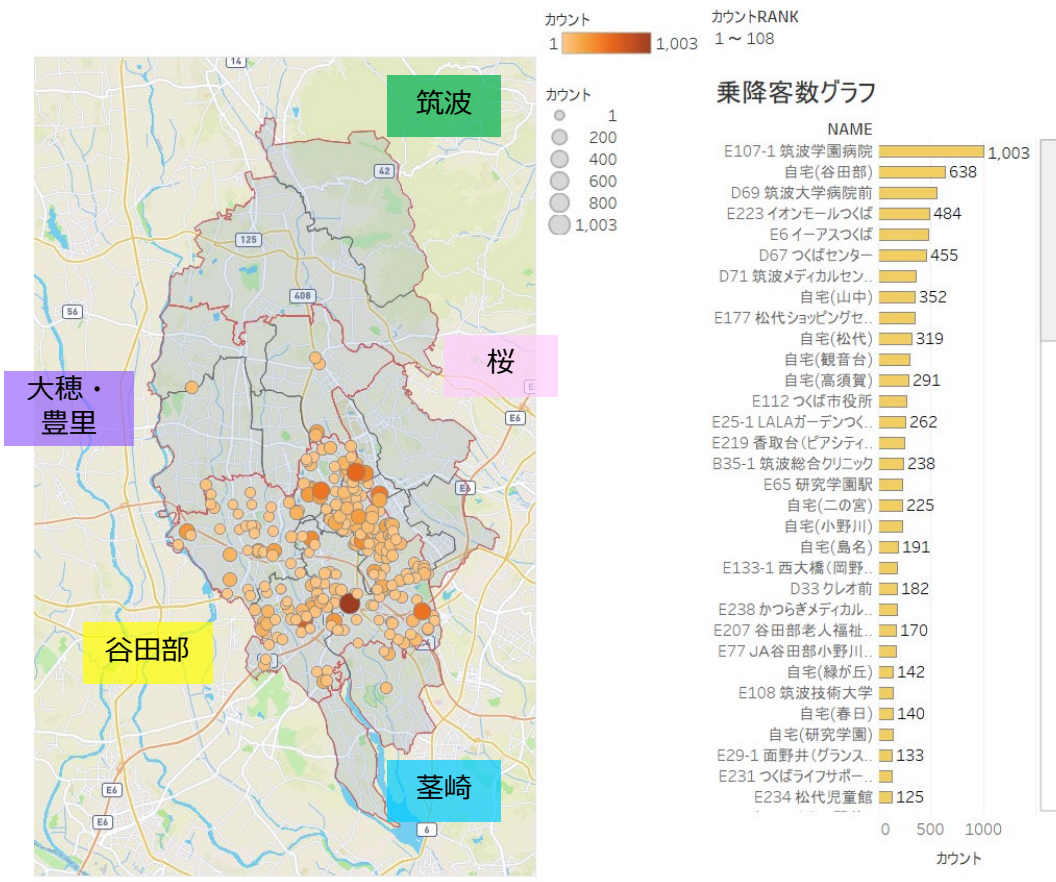
▼ゾーン間移動量(谷田部地区・R3年度)



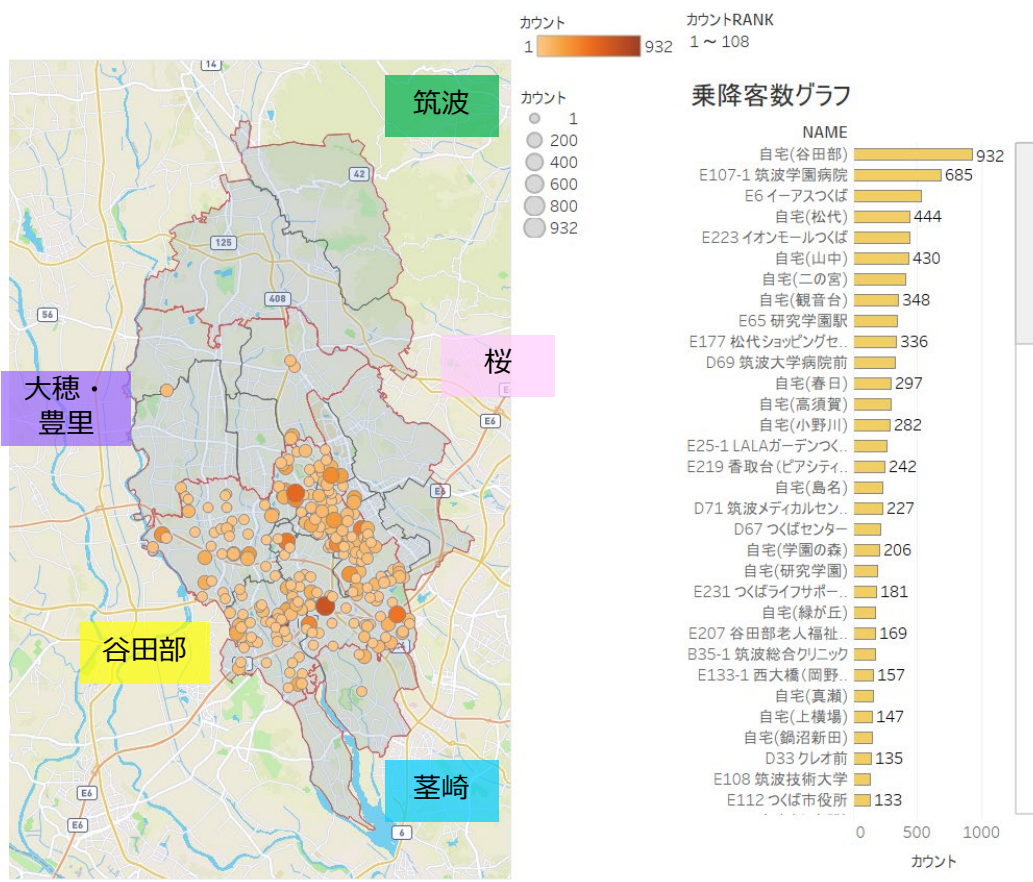
地区別の起終点特性(E.谷田部地区)

- ・自宅以外の目的地は地区内の筑波学園病院、イオンモールつくば、イースつくばが多く、共通ポイントの筑波大学病院前やつくばセンターなどが多い
- ・地区内の移動+つくば駅・筑波大学病院周辺の移動につくタクが利用されている

▼つくタク出発地分布(谷田部地区・R3年度)



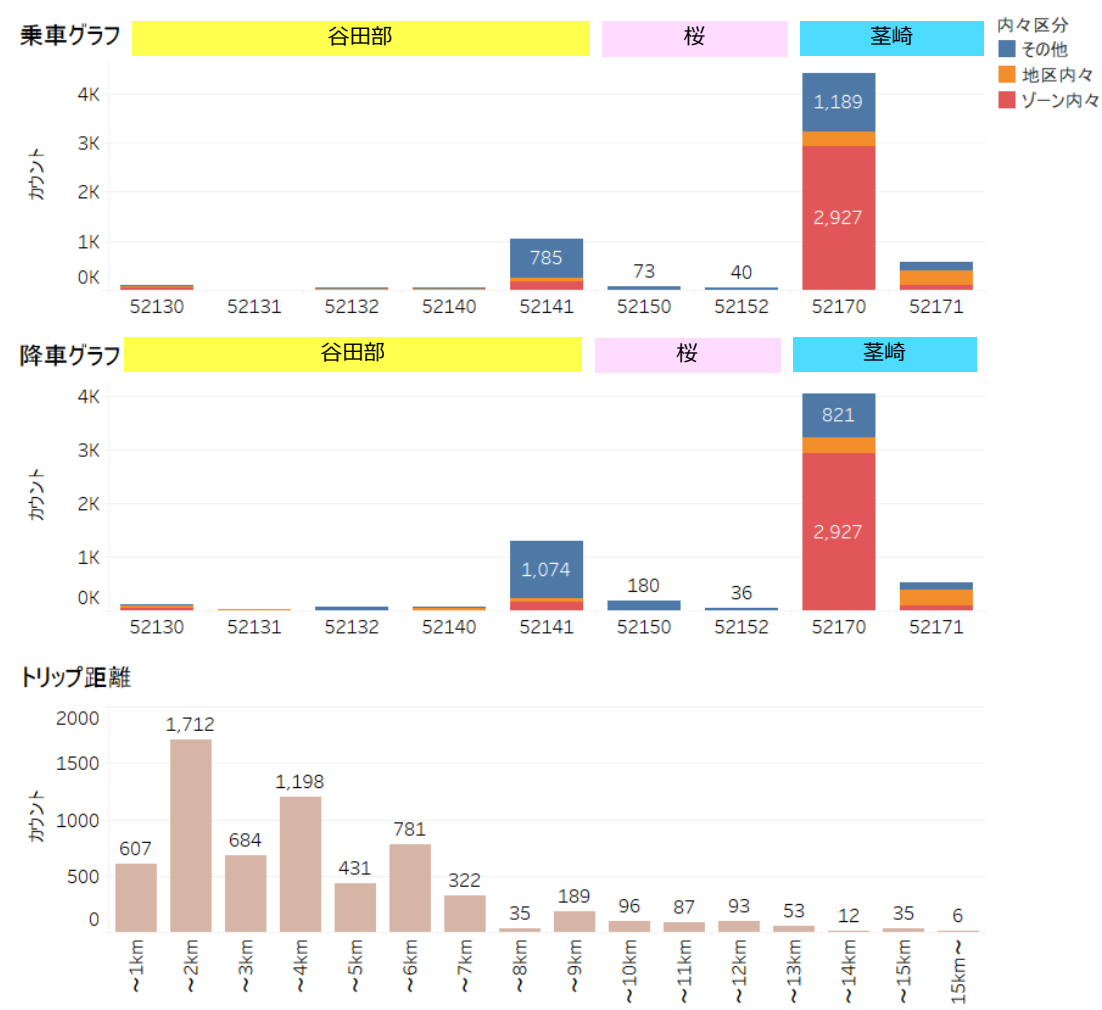
▼つくタク到着地分布(谷田部地区・R3年度)



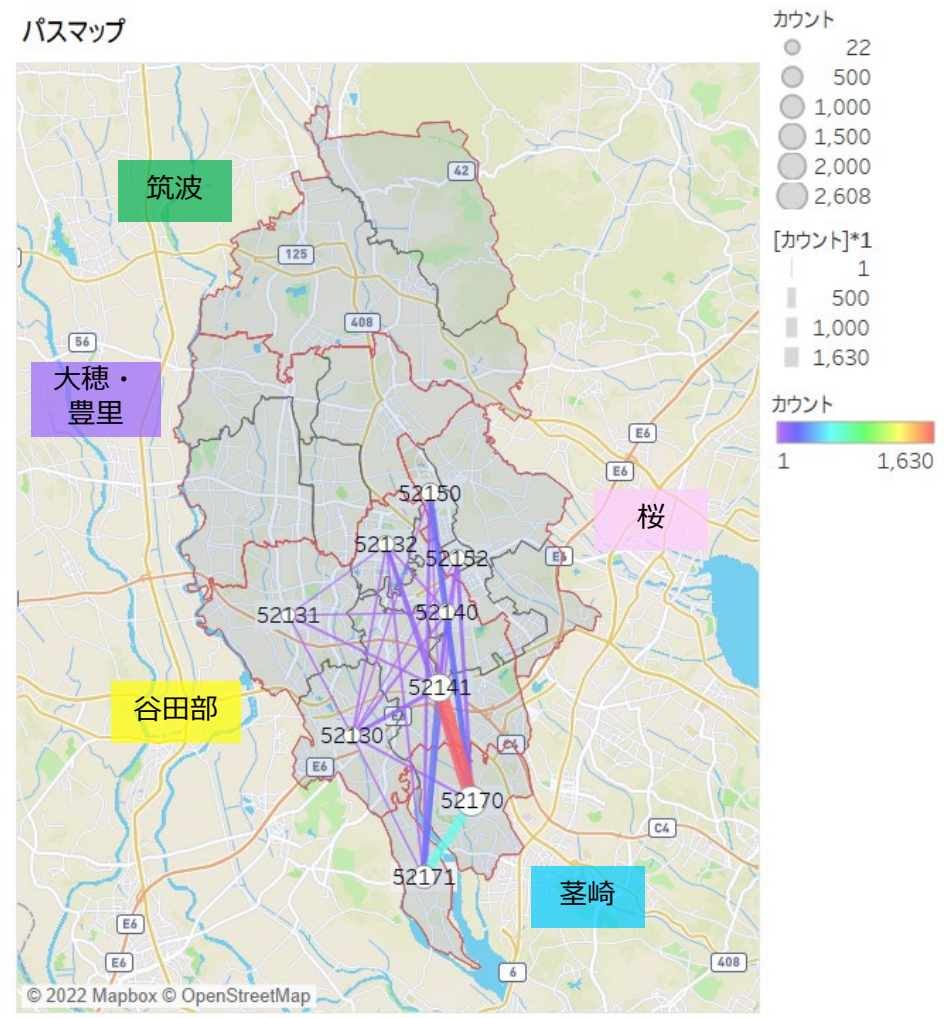
地区別の起終点特性(F.荳崎地区)

- ・乗降は52170ゾーン(高見原・森の里など)が多い
- ・地区外では特例ポイントがある52141ゾーン(ｲﾝﾓｰﾙつくば・筑波学園病院など)が多い
- ・ゾーン間の移動量は、52170(高見原・森の里など) ⇄ 52141(ｲﾝﾓｰﾙつくばなど)が多い

▼つくたく乗降内訳(荳崎地区・R3年度)



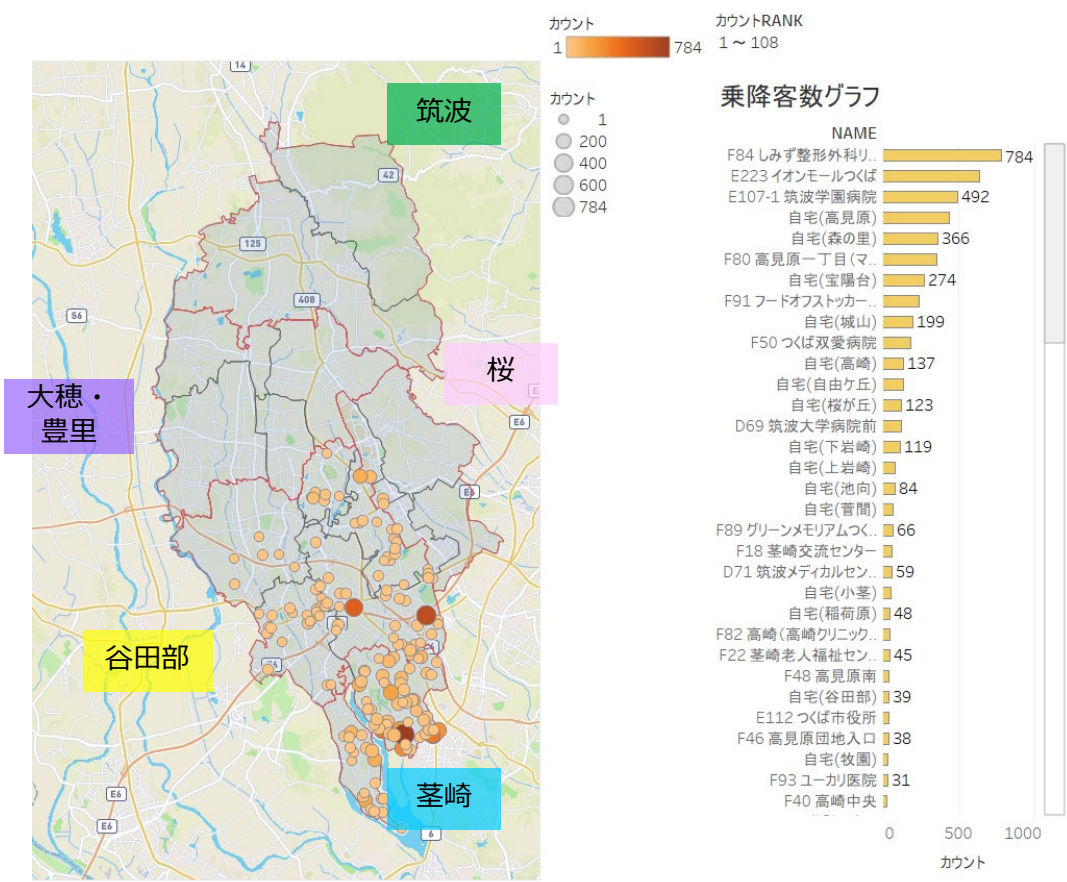
▼ゾーン間移動量(荳崎地区・R3年度)



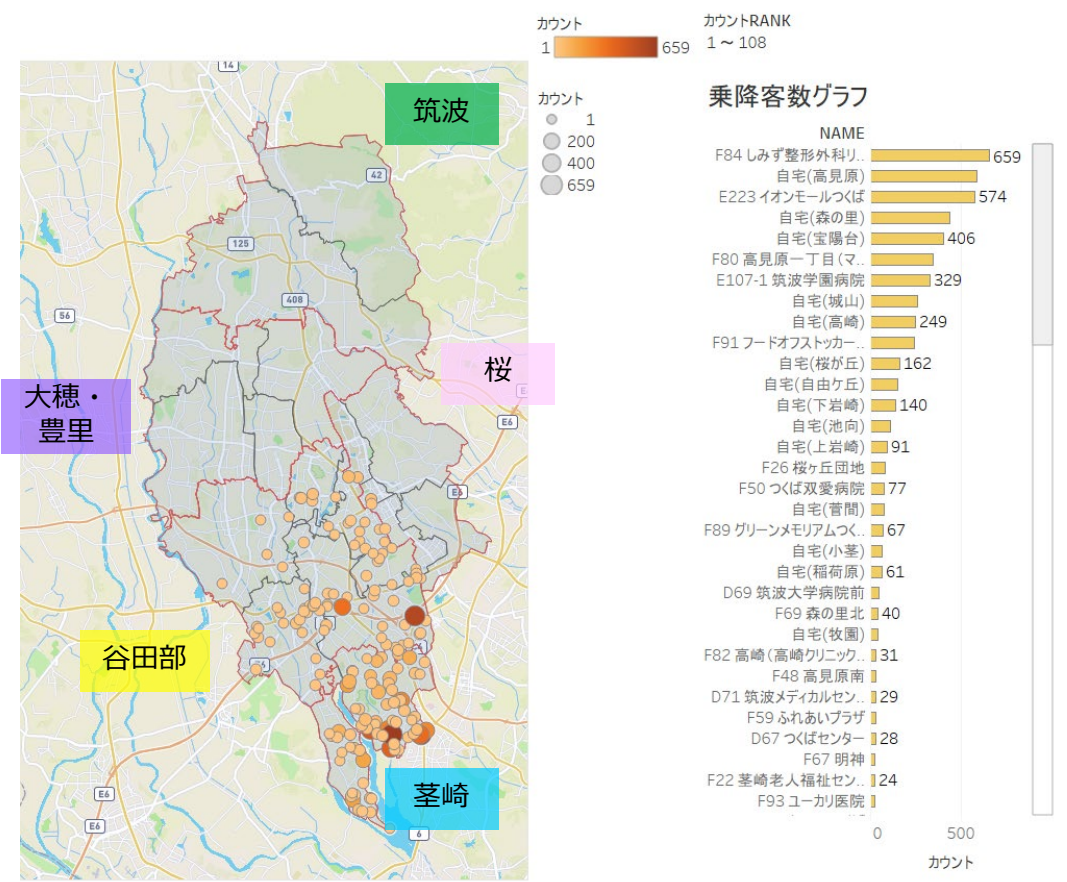
地区別の起終点特性(F.荳崎地区)

- ・自宅以外の目的地は地区内についてはしみず整形外科やマスダ(高見原一丁目)が多く、地区外は特例ポイントになっているイオンモールつくばや筑波学園病院が多い
- ・地区内の移動に加え、特例ポイントへの移動につくタクが利用されている

▼つくタク出発地分布(荳崎地区・R3年度)



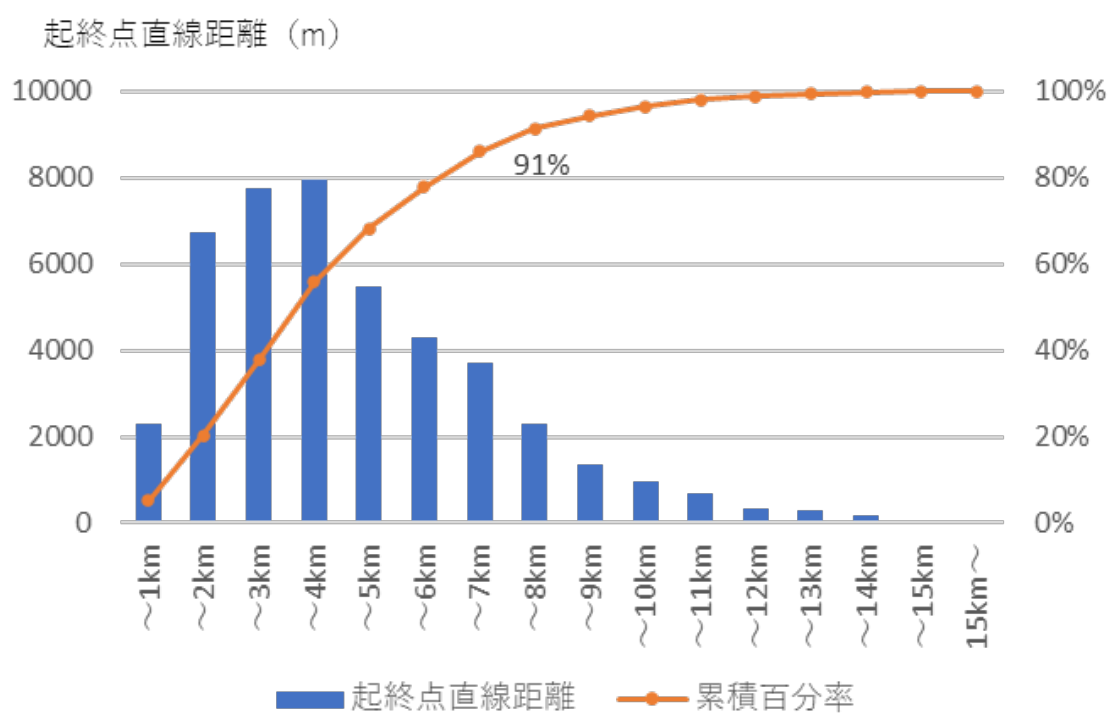
▼つくタク到着地分布(荳崎地区・R3年度)



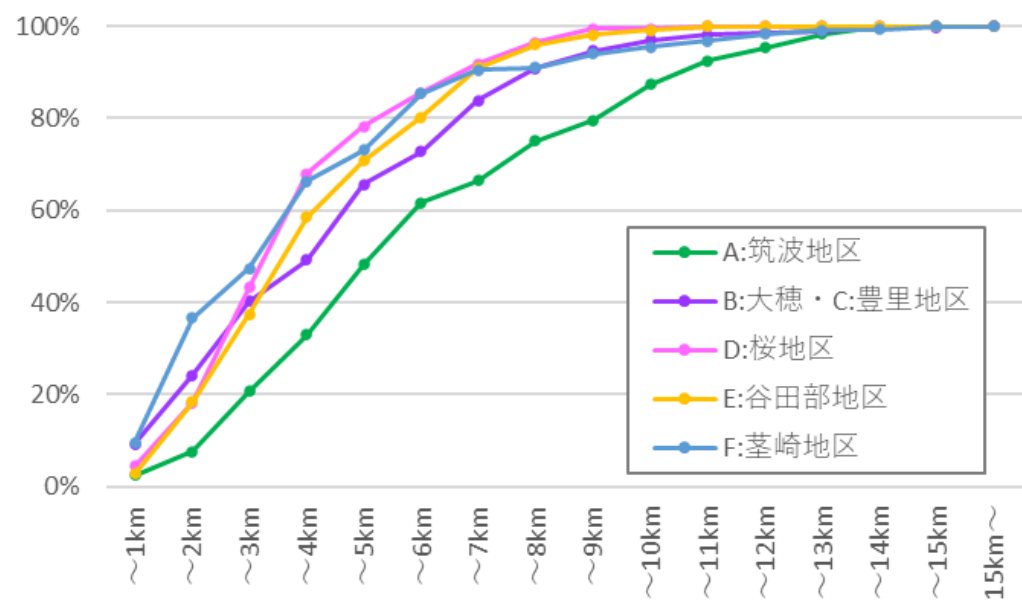
つくタクの起終点距離

- ・つくタク乗車箇所から降車箇所までの距離は、2～4km程度が多い
- ・起終点距離8km未満の移動が9割を超える(平均時速30km/h程度とすると、1時間で2往復運行可能)
- ・筑波地区においては、他地域と比べて起終点距離の長い利用が多い

▼つくタクの起終点距離分布(R3年度)



▼地区別起終点距離累積百分率(R3年度)

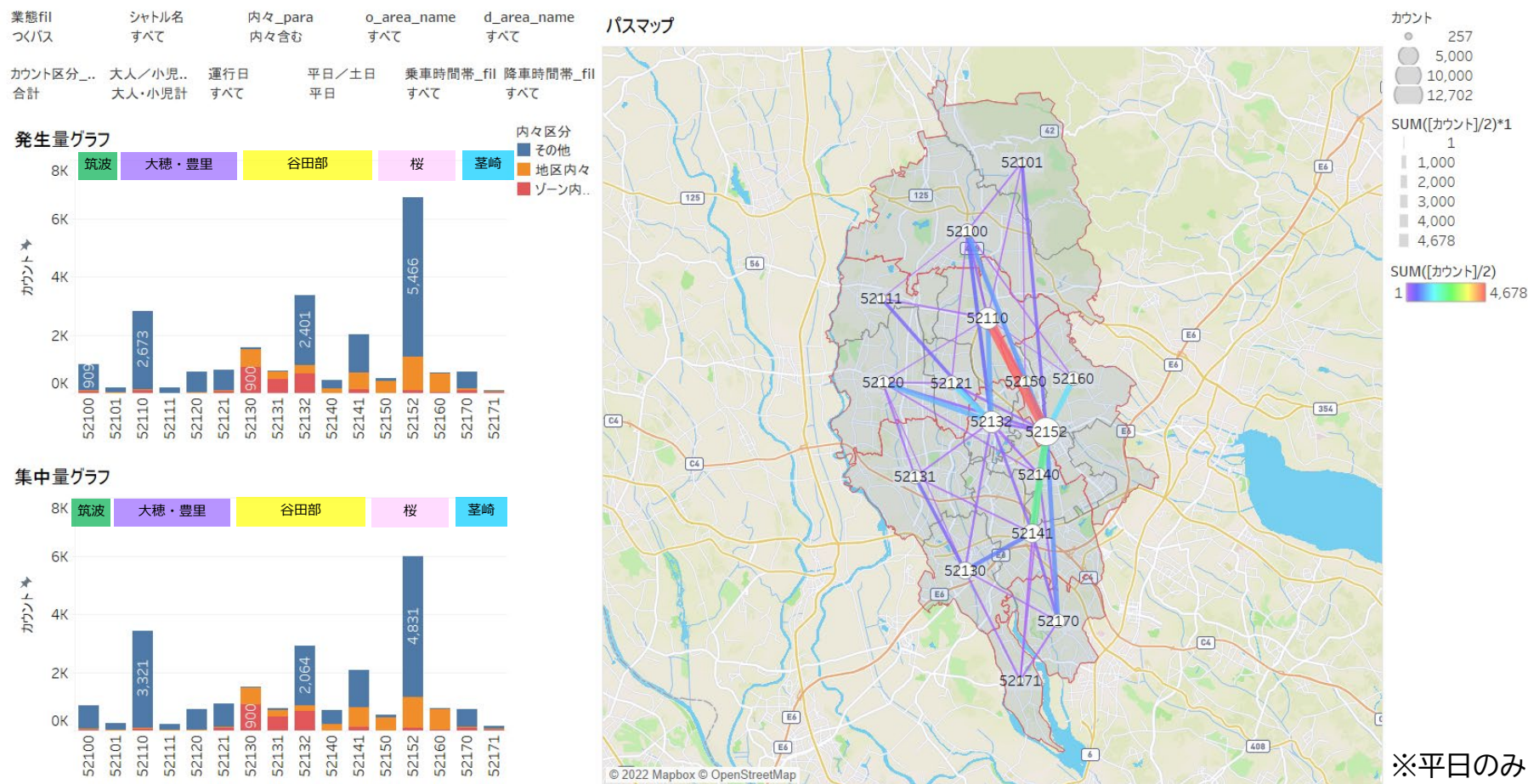


※各距離未満の割合

つくバス利用の起終点特性

- ・つくバスの乗降は主な交通結節点の存在するゾーンで多く、52152ゾーン(つくばセンターなど)が突出、次いで52132ゾーン(研究学園駅など)、52110ゾーン(大穂窓口センターなど)が多い
- ・ゾーン間の移動量は52152(つくばセンターなど)⇔ 52110(大穂窓口センターなど)が多い

▼つくバス起終点内訳とゾーン間移動量(R3.10)



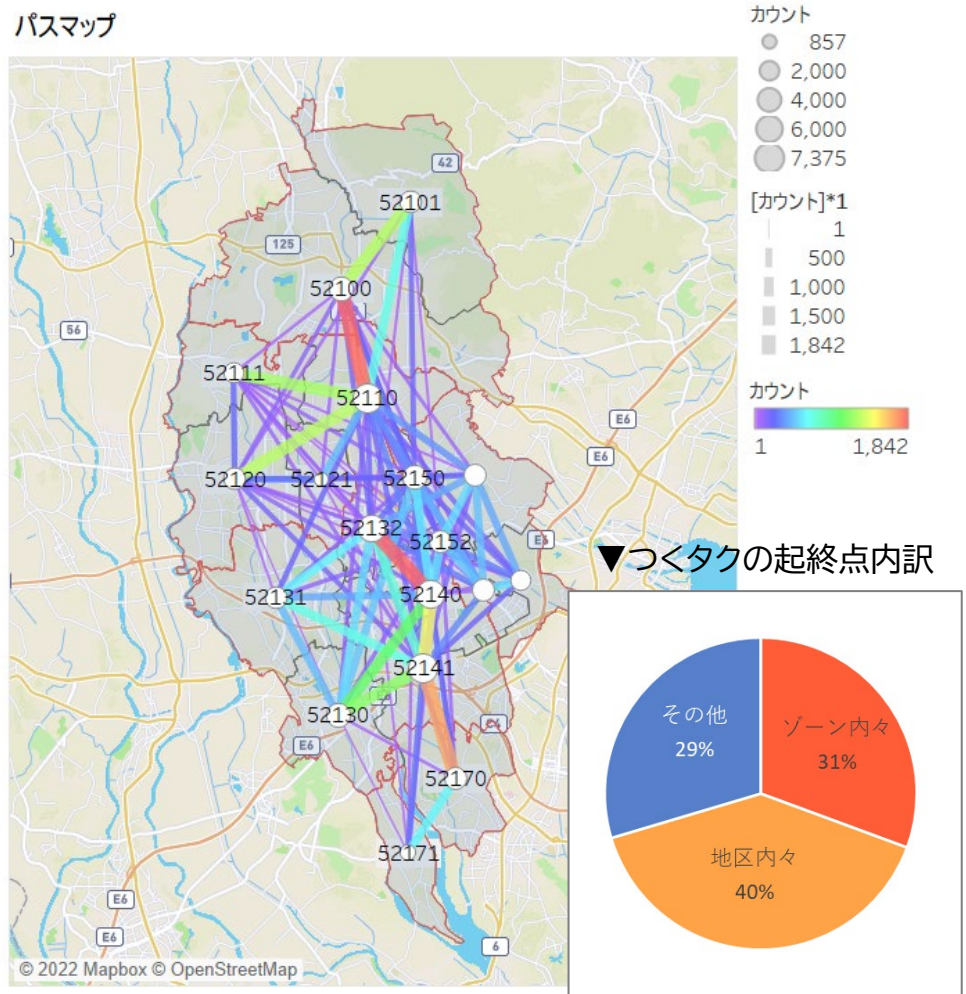
※平日のみ

※ICカードの実績を集計しているため、定期や現金支払いの利用者は含まれない

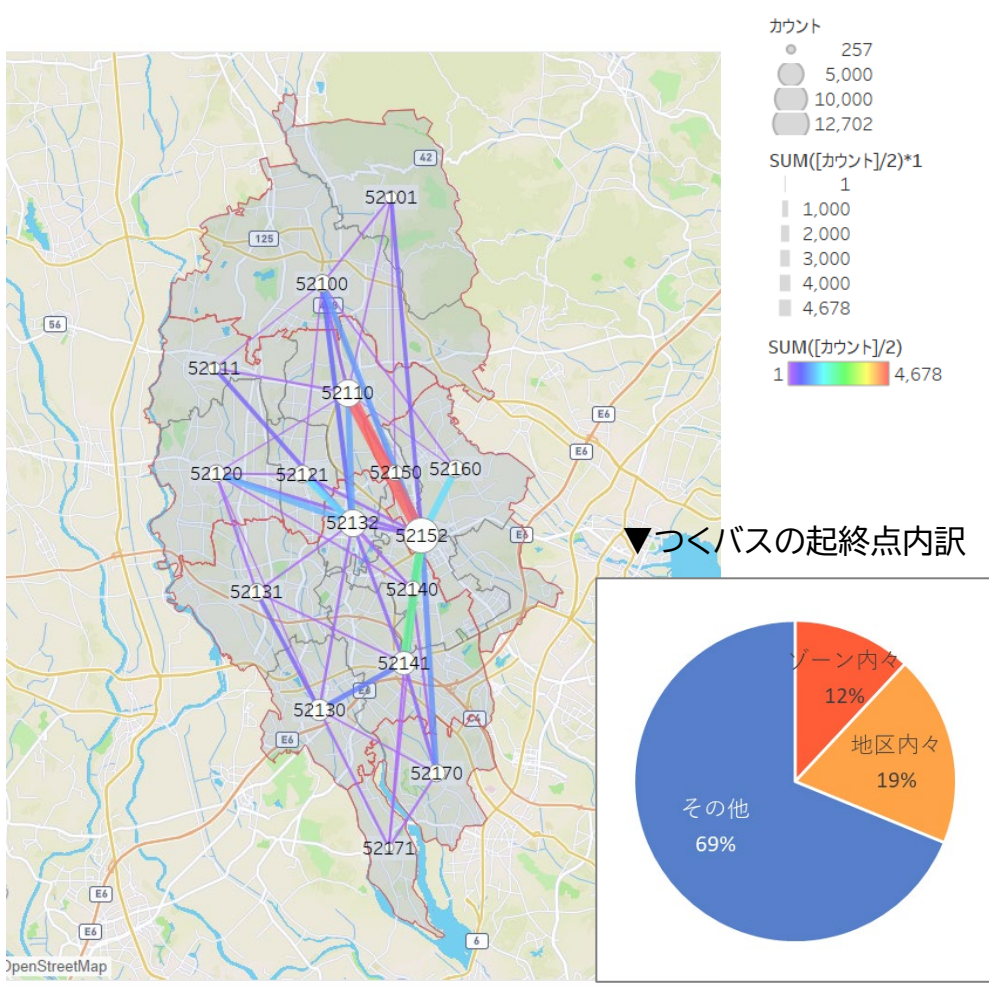
つくたくとつくバス利用特性の比較

- ・つくたくは地区内移動が7割で、どの地域からも共通ポイントに行くことができるものの、地区内+特例ポイントのあるゾーン間の利用が多い
- ・つくバスは地区内移動は3割で、つくばセンター⇄大穂窓口センターなど市内の幹線軸の利用が多く、つくたくと利用特性が大きく異なる

▼つくたつのゾーン間移動量(R3年度)



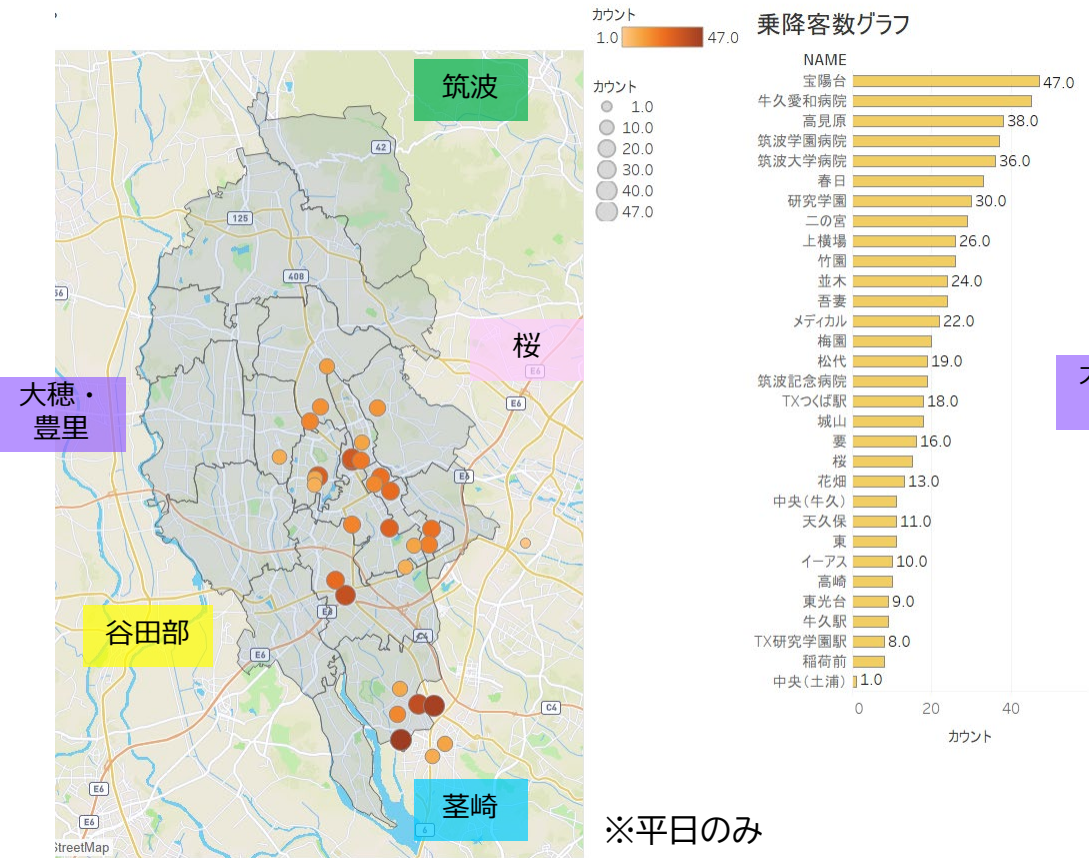
▼つくバスのゾーン間移動量(R3.10)※再掲



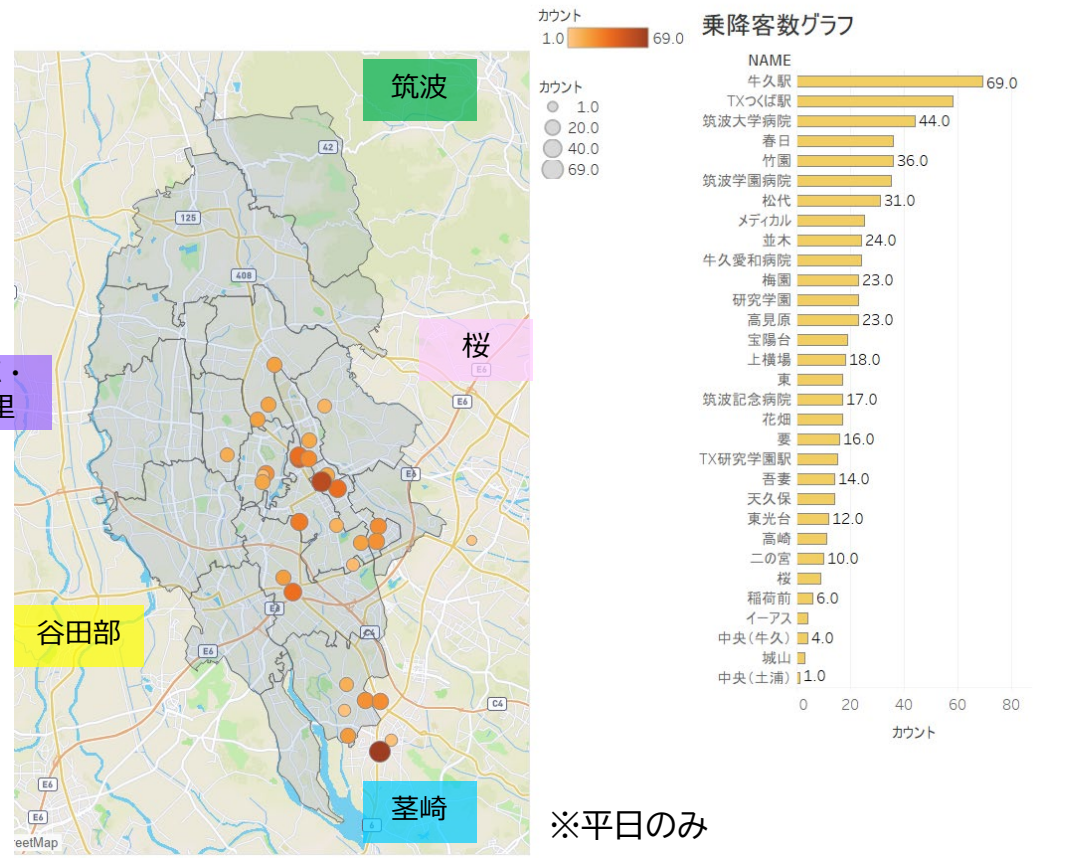
タクシー運賃助成制度利用(高齢者・障害者)の起終点特性

- ・R3.6はつくバス、つくタクで移動することのできない牛久駅・牛久愛和病院の乗降が多い
(R4.4からはつくバス茎崎シャトルが運行中のため、状況が変わっている可能性あり)
- ・市内については筑波学園病院や筑波大学病院、つくば駅などが多い

▼タクシー出発地分布(R3.6)



▼つくタク到着地分布(R3.6)



※「高齢者タクシー運賃助成制度」・「障害者福祉タクシー利用料金助成制度」利用実績のうち、乗降箇所が記載されているものを集計
(乗降の多い箇所に関連するODのみ集計)

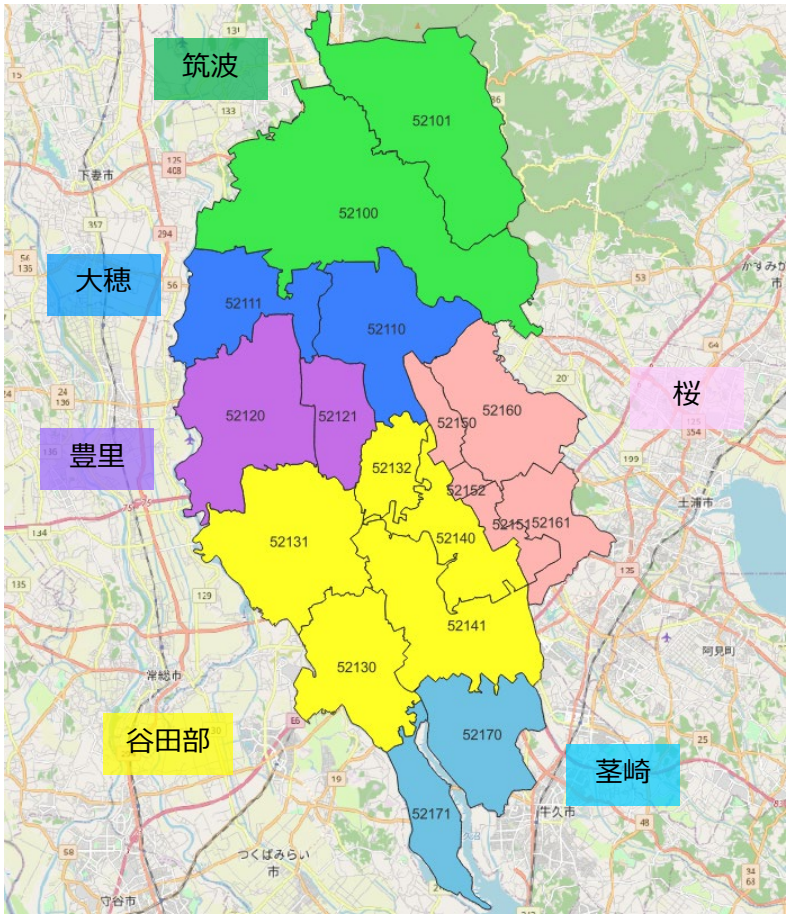
つくたく利用ニーズ:免許返納者の状況

- ・過去6年間で免許返納者数は約2,000人、65歳以上人口に対する免許返納率は約4%
- ・地区による大きな差はないものの、やや中心部に近いエリアの返納率が高い
- ※70歳以上や75歳以上に限定した場合も対象人口に対する返納率は高くなるが、地域別の傾向に大きな違いはない

▼地区別免許返納状況

地区	ゾーン	総人口	65歳以上人口	免許返納者数	返納率 (65歳以上人口 に対する割合)	返納率 (地区平均)
筑波	52100	12,964	4,712	190	4.0%	3.9%
	52101	4,552	1,710	61	3.6%	
大穂・豊里	52110	14,744	2,722	97	3.6%	3.4%
	52111	4,998	1,573	42	2.7%	
	52120	11,391	3,058	107	3.5%	
	52121	4,842	987	41	4.2%	
谷田部	52130	26,005	3,880	170	4.4%	4.6%
	52131	12,990	2,566	104	4.1%	
	52132	21,764	1,412	67	4.7%	
	52140	34,702	3,872	222	5.7%	
	52141	13,401	3,196	128	4.0%	
桜	52150	5,694	235	7	3.0%	5.0%
	52151	21,064	2,174	124	5.7%	
	52152	6,103	542	38	7.0%	
	52160	14,551	2,986	136	4.6%	
	52161	7,459	2,184	103	4.7%	
茎崎	52170	18,226	6,743	306	4.5%	4.4%
	52171	4,933	2,061	85	4.1%	
合計		240,383	46,613	2,028	4.4%	

※免許返納者数は2016～2021年（6年間）

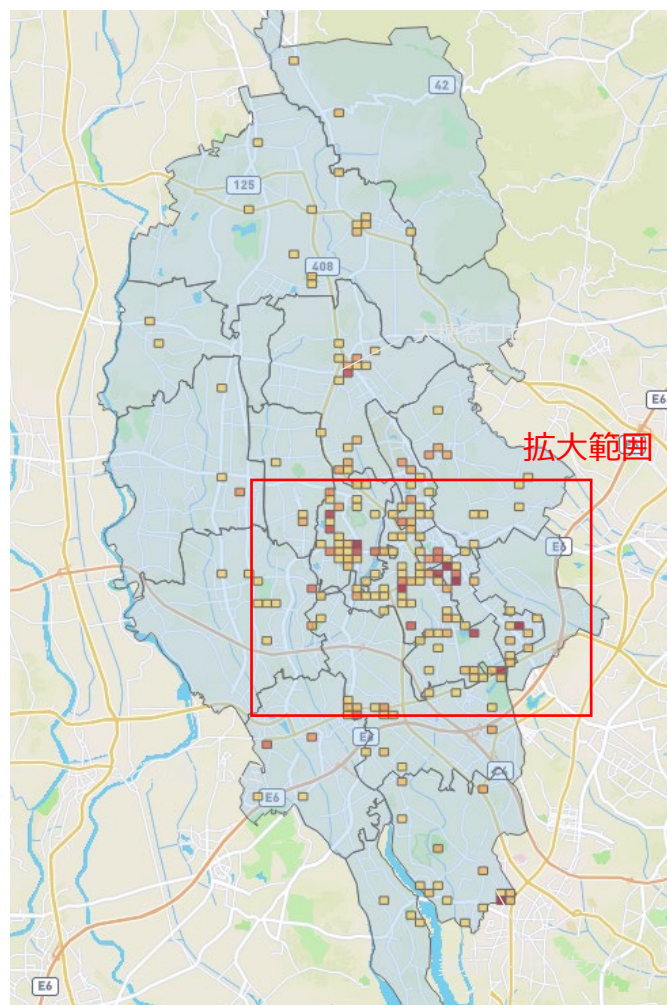


つくば市内の主な目的地(移動全体の特性)

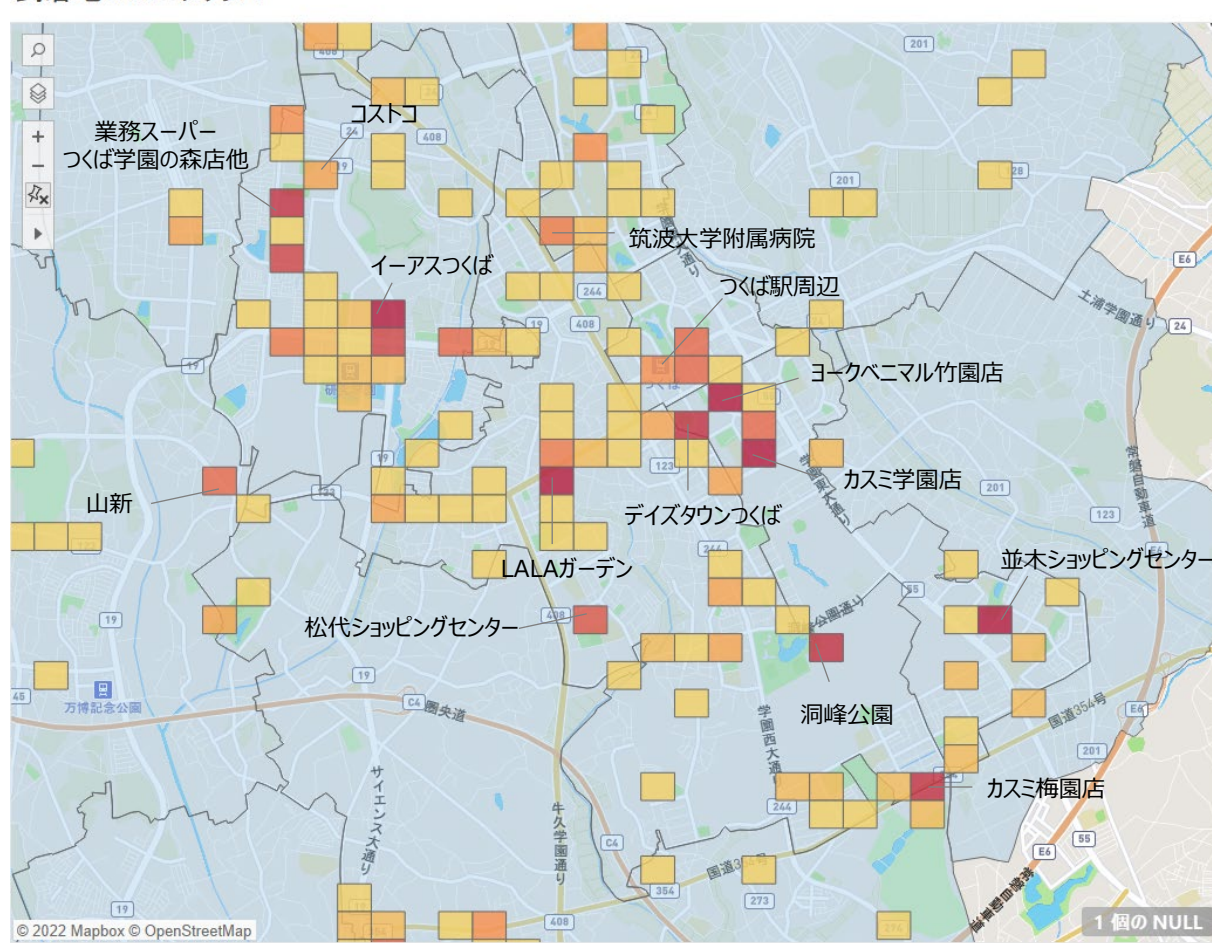
- ・H30に実施したパーソントリップ調査より、マイカー等も含む移動全体における市内の主要な目的地はイーアスつくばをはじめとする商業施設や病院となっており、つくタクの目的地とも合致

※なお本調査はコロナ前であり、今年度LALAガーデン閉店やコーチャンフォー開業など目的地の大きな変化があるため、別途スマホGPSビッグデータによる変化を分析予定

▼パーソントリップ調査による目的地メッシュ分布(H30)



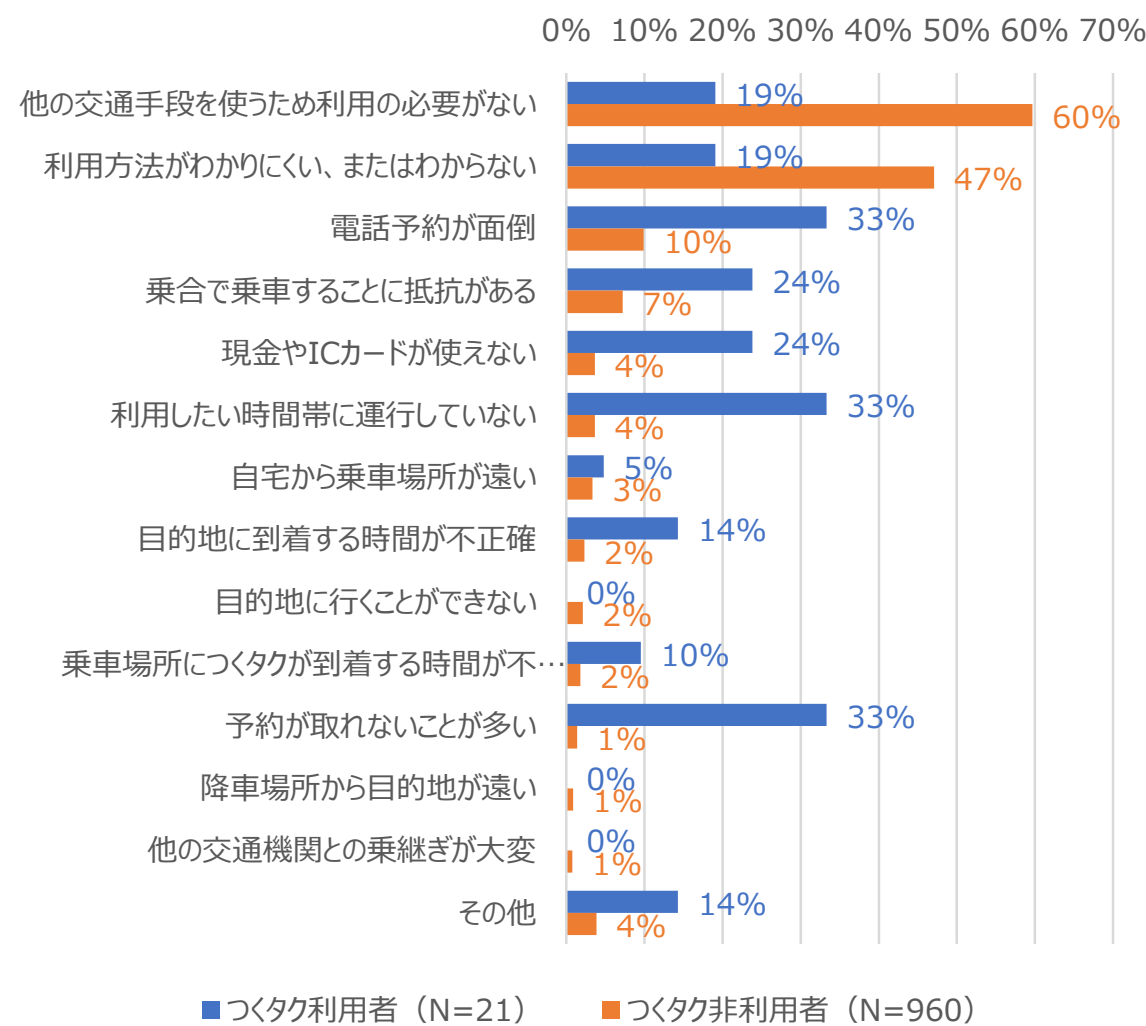
到着地250mメッシュ



つくたくに関する市民の意見

- ・つくたくを利用しない理由として、「他の交通手段を使っているため利用の必要がない」が最も多いが、次いで、「利用方法がわかりにくい」「電話予約が面倒」といった意見が多い
- ・利用者の改善要望としては、「電話予約が面倒」「予約が取れない」「利用したい時間帯に運行していない」が多い

▼つくたくを利用しない理由(利用者は改善点)



つくたくに関する市民の意見(自由意見)

・予約ができない経験が何度も発生すると、利用者の立場では非常に使いづらいものになっているもの考えられる。

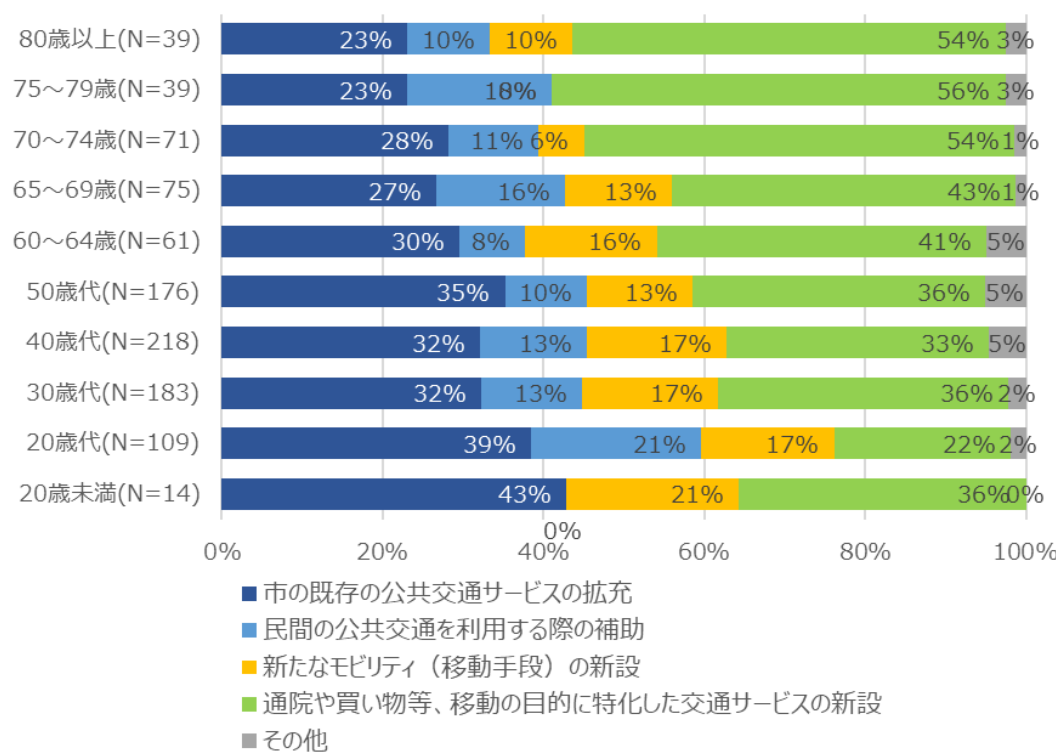
▼つくたつの改善に関する意見(一部抜粋)

つくたく 利用区分	意見
利用者	病院の帰りが16時だと利用できない。(16時半くらいに乗りたい)
	病院から帰る時間が18時を超えてしまうので帰りはつくたくを利用できない。17時以降は追加料金があってもよいので延ばしてほしい。
	当日の予約がほとんどとれないので困っている。雨の時はつくバスのバス停まで歩けないので通院をキャンセルしている。 近場への移動はタクシーだと断られる時がある。
	妊婦検診の通院の際に便利だったが、予約開始の時間に電話しても予約が取れないことが多々あった。もう少し料金が高くてもよいので利用したい。
非利用者	つくバスの乗客が少ないことが多いので、つくたくを充実させた方がいいのでは。交通手段のない高齢者の買い物や通院にはつくたくの方が適していると思う。
	つくたくは遅い時間は使えず、つくバスは大きく迂回をするので時間がかかりすぎる。
	つくたくを利用したいと思ったが、いずれの時も予約がいっぱいで予約できなかった。
	隣接する市に買い物に行くことが多い団地はつくたつの恩恵を受けられない。
	病院の開始が9時からなので予約時間に間に合わない。
	つくバスに1人も乗っていないことが目に付くので、運行ダイヤを見直してつくたくを充実させてほしい。
	つくたくについて、郵送での利用登録、電話での予約はネットが発達した時代にあっていない。 お年寄りでもスマートフォン持っているので、アプリやネットで予約決済ができればよい。
	つくたくについて、インターネットやアプリでの予約、土曜日の運行、エリアの見直し、乗務員の質の向上を希望する
	つくたつの利用者の負担金額が安すぎる
	病院に行きたくキャンセル待ちしていたが予約できなかった。つくたくは通院優先にしてほしい。
	アプリで現在の運行状況がわかったり、予約ができると手軽でよい。
	スーパーマーケット等でつくたつの利用の仕方を案内すれば、選択しやすくなる。
	つくたくは行きたい時間に予約が取れず、耳が遠くなって電話がしにくいので電話予約自体が難しい。
	つくたく自体は良い制度だが使い方が複雑。
	つくたくはつくバスと組み合わせて利用すべき。

公共交通に関する市民の意見

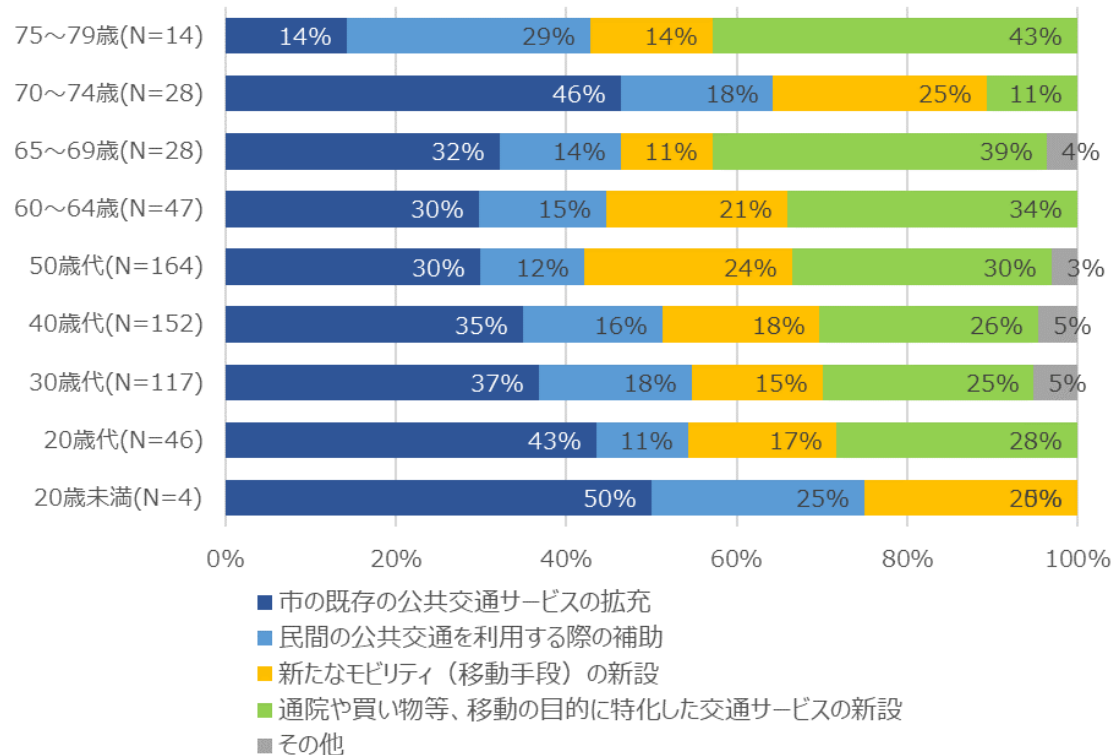
- ・行政に対して望む交通政策のうち、「既存の公共交通サービスの拡充」と「通院や買い物等、移動の目的に特化した交通サービスの新設」の意見が多い
- ・大きな傾向としては、年齢が上がるにつれ、移動目的に特化した交通サービスの新設が望まれている

▼行政に対して望む交通政策
(市民アンケート)



※R4市民アンケート結果

▼行政に対して望む交通政策
(商業施設・病院来訪者アンケート)

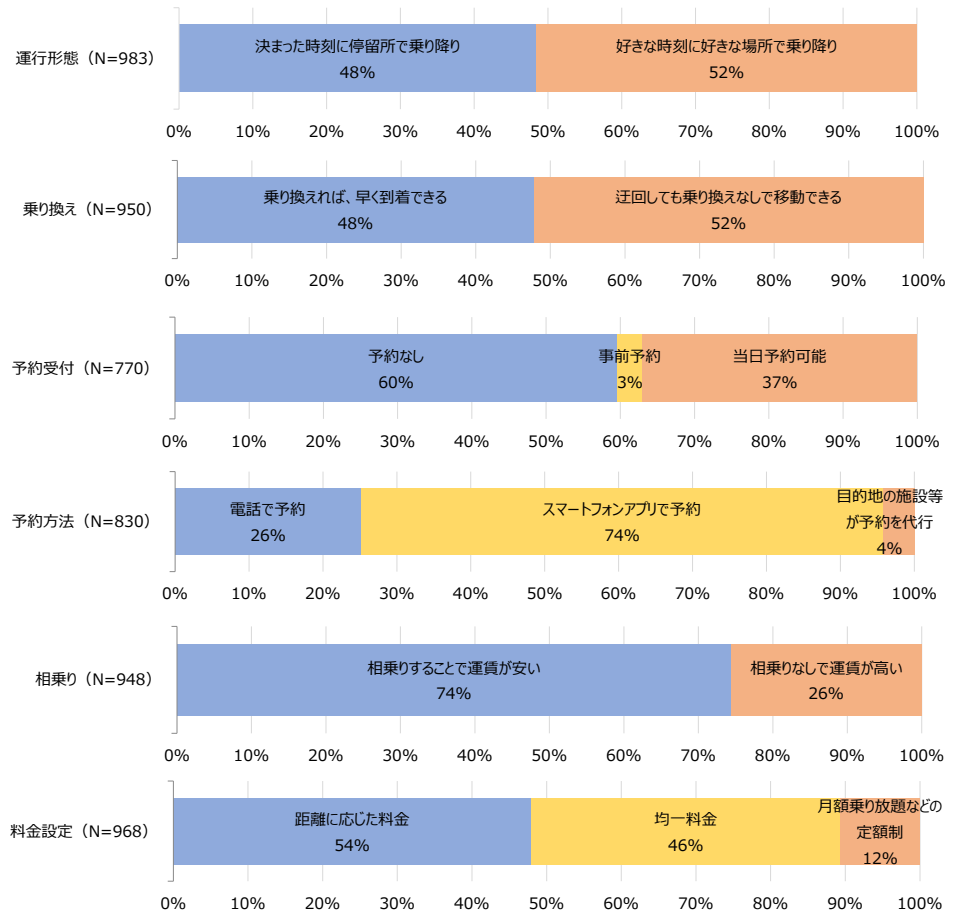


※R4施設来訪者アンケート結果

公共交通に関する市民の意見

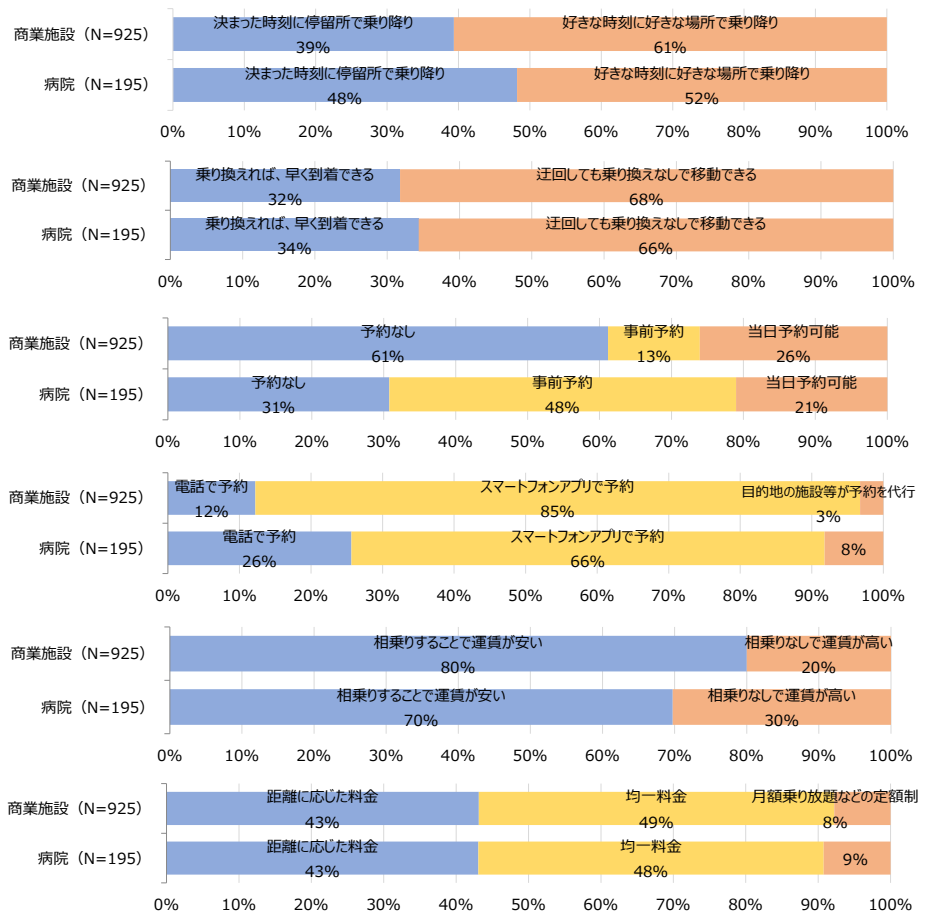
- ・市内移動の公共交通に求めるものについて、「運行形態」「乗り換え」「予約受付」に関しては意見が分かれており、従来のバスとデマンド交通の両方のニーズが存在している
- ・予約方法は、現在行われていない「スマートフォンアプリで予約できれば良い」という声が7割と多い
- ・病院来訪者については、次回の診療日時を事前に決めるため、移動についても事前予約を選択する方が多く、相性が良いことがわかる

▼市内移動のための公共交通に求めるもの
(市民アンケート)



※R4市民アンケート結果

▼市内移動のための公共交通に求めるもの
(商業施設・病院来訪者アンケート)

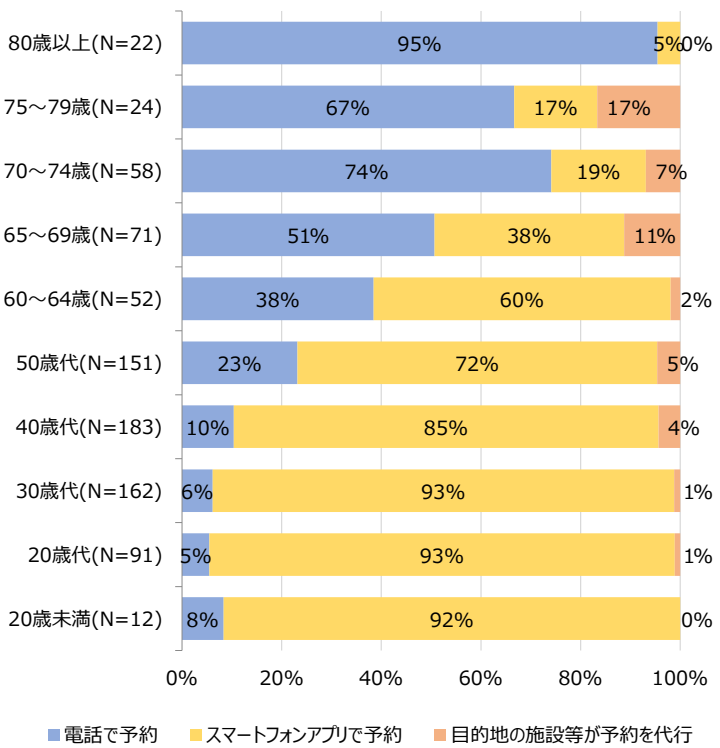


※R4施設来訪者アンケート結果

公共交通に関する市民の意見

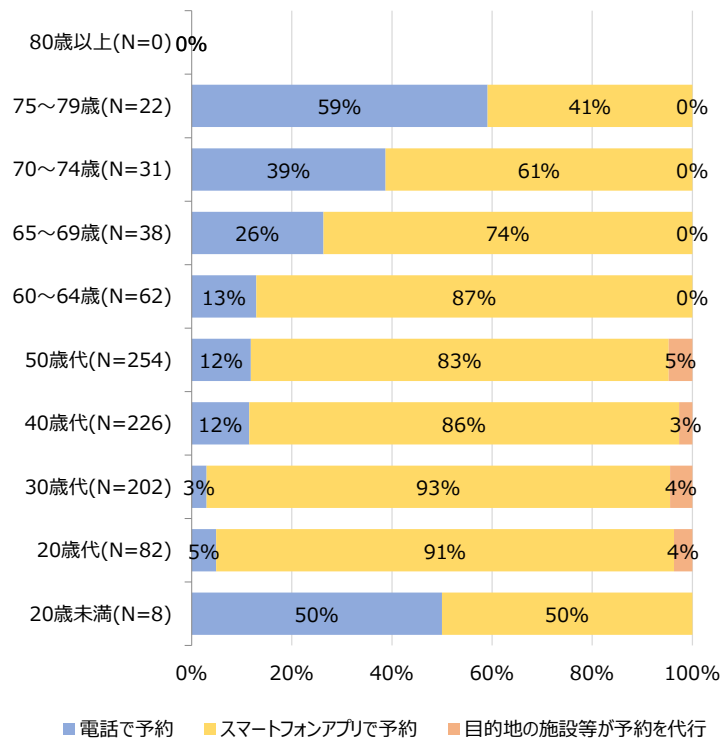
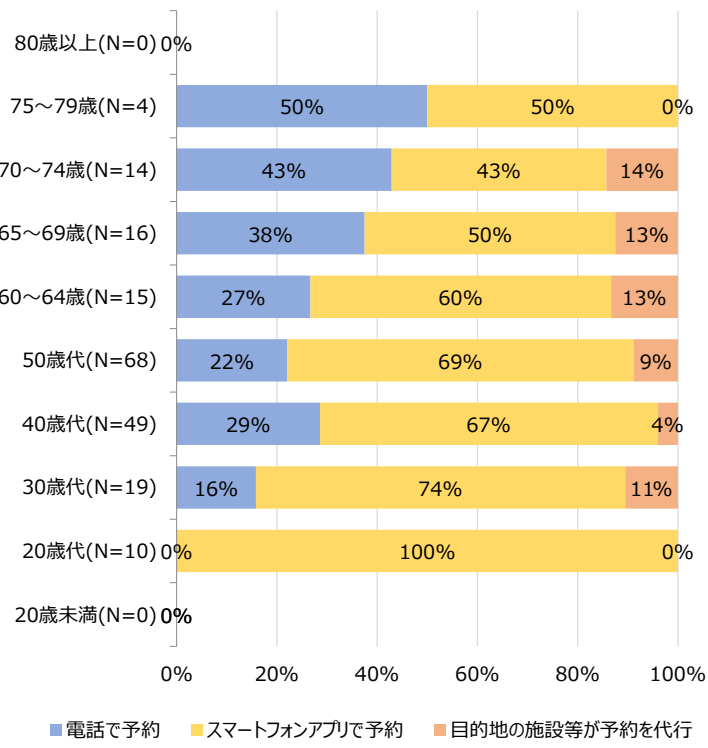
・市内移動の公共交通に求めるもののうち「予約方法」に関しては、若年層はほとんどが「スマートフォンアプリで予約できれば良い」という回答であるが、年齢が上がるにつれて回答割合が減少

▼市内移動のための公共交通(予約方法)に求めるもの
(市民アンケート)



※R4市民アンケート結果

▼市内移動のための公共交通(予約方法)に求めるもの(施設来訪者アンケート)
■病院来訪者 ■商業施設来訪者

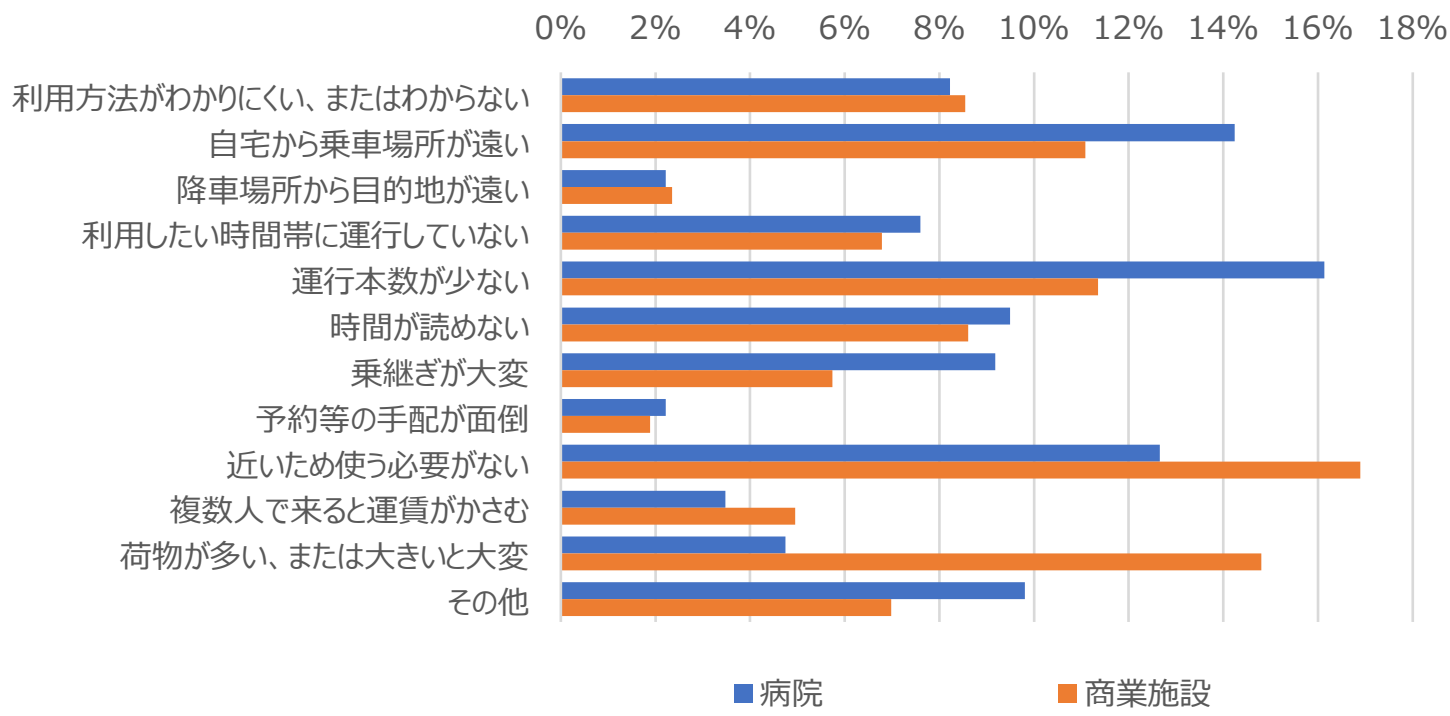


※R4施設来訪者アンケート結果

公共交通に対する商業施設・病院来訪者の意見

- ・病院来訪者は、「自宅から乗車場所が遠い」「運行本数が少ない」ことが理由になっている方が多い
- ・商業施設来訪者は、病院と同様の理由に加え「荷物が多い、または大きいと大変」を理由にしている方が多い

▼施設来訪時に公共交通を利用しない理由



つくタク関連データから見る現状分析(まとめ)

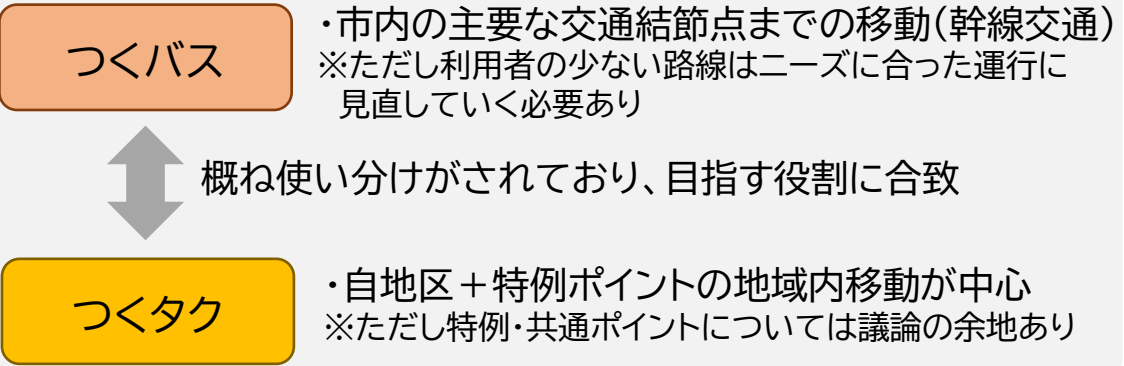
- ・つくタクの「利用ニーズ」や「利便性」に関する内容は、主に利用者目線での見直しに関する観点である
- ・運営側の観点としては、「役割分担」や「配車効率性」に関する内容から改善の方向性を検討する

項目	概要	考察	区分	該当ページ
県内乗合タクシーとの比較	・県内で運行経費及び輸送人員ともに最も多い ・1乗車当たりのコストがかかりすぎている	現状の運行台数であれば利用者数を大幅に増やせるのではないかと	効率性	P5
つくタク利用者の概要	・現状1時間に0.9～1.4人程度しか送迎できていない ・予約断り・キャンセル待ち(未乗車)の方が一定数生じている	現在は配車効率が悪く、断っているニーズが存在する	効率性 利用ニーズ	P7
つくタク利用頻度	・年回利用50回以下のユーザーが約9割 ・往復利用できていない人がいる	普段使いの割合は少なく、往復利用できていない方も多いことから、送迎などとの併用が想定される	利用ニーズ	P8
つくタク運賃属性	・現在は高齢者・障がい者が9割以上(半額利用) ・乗合率は約5割、共通ポイント利用の方が乗合率低い	割引価格で利用している人がほとんどであり、かなりお得なサービスになっている	利用ニーズ	P9
つくタク利用の時間帯特性	・9～10時台は自宅発、16時台は谷田部地区から帰る人が多い ・アンケートより、夕方の16時以降の帰宅ニーズあり	タクシーの需要に競合する時間にはニーズがありそう	利用ニーズ	P10、P29
地区別の起終点特性	・筑波地区は、地区外への移動が約5割と多い ・荃崎地区は、ゾーン内々の移動が約5割と多い ・どの地域も、基本料金で行ける乗降ポイントへの利用がほとんど(地区内+特例ポイント)	既存のエリア設定は概ね適切だが、特例ポイントの設定状況によって地域外の移動傾向が異なる	利用ニーズ	P11～21
つくタクの起終点距離	・つくタクの起終点距離は2～4km程度が多く、8km未満の移動が9割を超える	起終点距離を見ると、1時間に2運行以上できる可能性がある	効率性	P22
つくバスとの比較	・つくタクは地域内移動が7割だが、つくバスは地域内移動3割であり、利用特性が大きく異なる	つくタクとつくバスの役割分担はできている	役割分担	P23～24
タクシー運賃助成制度利用の特性	・つくバス、つくタクで移動できない牛久市への乗降が多い ・市内においては病院やつくば駅が多い	つくタクで行けない市外への移動が見られるが、市内の移動の目的地は重複	役割分担	P25
免許返納者の状況	・過去6年間の免許返納者は2,000人(返納率4%) ・中心部に近いエリアの返納率が若干高い	利便性が高い中心部の方が免許返納しやすい傾向がある	利用ニーズ	P26
つくタクに関する市民の意見	・つくタクを利用しない理由としては、利用方法がわかりにくい、電話予約が面倒といった意見が多い ・利用者の改善要望は、電話予約が面倒、予約が取れないが多い	利用者目線で利用しやすさの向上が求められている	利便性	P28
公共交通に関する市民の意見	・「既存の公共交通サービス拡充」と「通院や買い物等、移動の目的に特化した交通サービスの新設」 ・従来のバスとデマンド交通の両方のニーズが存在している ・スマホアプリで予約できれば良いという回答が7割	既存のサービス拡充としてつくタクの利便性向上が求められる一方、目的特化型のバスのニーズも多い	利便性 役割分担	P30

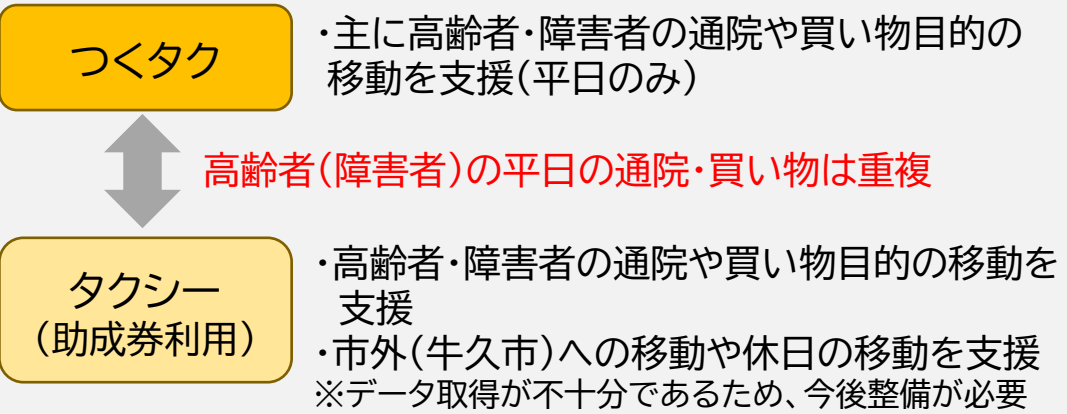
現状を踏まえたつくタクの位置付けの再確認

- ・つくタクとつくバスについては移動特性で概ね使い分けられており、それぞれの利用特性は地域公共交通計画で定めた広域交通(幹線)と地域内交通(支線)の役割と合致している
- ・ただし現在のつくタクの利用特性より、地域内交通(支線)の中の選択肢については「タクシー」や「特定目的バス」などどう役割分担をしていくべきかを検討する必要がある

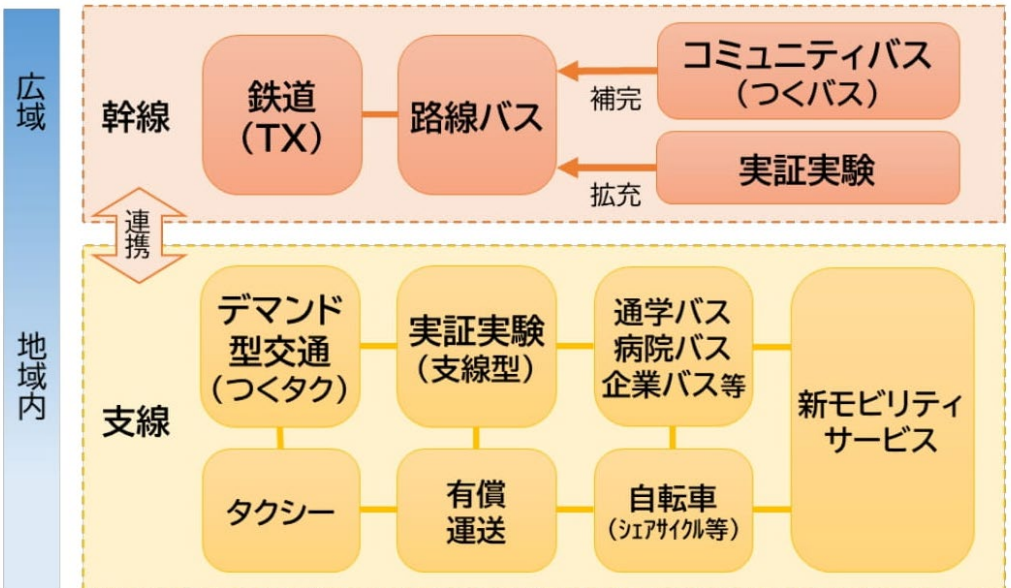
【確認1】つくバスとつくタクの役割分担



【確認2】支線交通としての役割分担



▼【参考】交通手段ごとの役割・位置付け



※「幹線」と「支線」の各交通手段は、各自の役割(交通機能)を果しつつ、ほかの交通手段とも相互に連携し、一体のネットワークとして利便性の向上を図ります。

※つくば市地域公共交通計画より抜粋

つくタクの抜本的な見直しに向けた課題の整理

- ・つくタクの抜本的な見直しに向け、大きく3つの課題が挙げられる
- ・当面既存のつくタクの運行形態を維持する場合には、優先的に②③の解決を図ることも可能

課題	概要	運営側のメリット	利用者側のメリット
①支線交通におけるつくタクの役割の明確化	・高齢者・障害者の通院、買物移動支援の観点としてつくタク、タクシー助成券、特定目的バスなどの交通手段が想定される ・限られた予算の中で、利用者にとって一番利用しやすい交通手段のあり方、役割分担を検討	・移動の現状と潜在ニーズを踏まえ、必要な交通手段を再整理することで、限られた予算内で移動したい方が適切に移動できる	・高齢者・障害者の通院、買物移動のうち、公共交通を使って移動したい方が適切に移動できる
②つくタクの配車効率向上	・利用者が同程度他自治体と比べても2倍近いコストがかかっているため、1台・1時間あたりの輸送人数を増やすための施策を実施	・同じ補助額でより多くの利用者を輸送するため運賃収入が増え収支が改善する ・ドライバーは乗車率が高まり休憩時間が減る	・輸送人数が増えるため、予約しやすくなる
③つくタクの利便性の向上	・現在は登録が面倒、電話のみの予約で利用しにくいいため、利用者の負担が少なく利用できる仕組みに変更 ・より移動ニーズに対応したサービスに変更	・利用しやすくなれば利用が増え運賃収入が増えるため、収支が改善する	・わかりやすいサービスになり、利用しやすくなる ・行きたいところに行きやすくなる

つくたくとの役割分担が想定される交通手段(支線)

- ・つくたつの利用特性を踏まえると、主にタクシー助成券と特定目的バスとの役割分担が想定される
- ・どの施策も一長一短であり、移動ニーズへの対応と行政負担のバランスを考えた導入が必要

交通手段	概要	メリット	デメリット
つくたく	・予約型の乗合タクシーとして、つくば市が業務委託する形で運行 ・現在5地区で運用中	【行政側】 ・路線バスやつくバスの運行状況に応じて、行政側でエリア設定等ができるため、公共交通網としての運用が可能 【利用者側】 ・定時定路線のバスとは異なり、自宅近くで乗車し、目的地まで乗換なしで移動することができる	【行政側】 ・1.6億円/年を投じており、行政負担が大きい 【利用者側】 ・エリア、運行時間帯、曜日に制限があり、自分が行きたいところすべてに行けるわけではない ・現在、電話予約のみで不便、予約がいっぱいで利用できないといった問題がある
タクシー助成券	・対象者に対し、つくば市がタクシー助成券を配布することで、タクシーを利用した際の利用者負担を軽減 ・現在「高齢者タクシー運賃助成制度」、「障害者福祉タクシー利用料金助成制度」として運用中	【行政側】 ・既存のタクシー会社のサービスをそのまま利用するため、システム導入、運用等を行政自身または委託により行う必要がない 【利用者側】 ・通常のタクシーのため、自分が行きたいところいつでも行くことができ、割引価格で利用できる	【行政側】 ・1,400万円/年の行政負担 ・紙のタクシー助成券を配布したり、利用した助成券を回収・集計してタクシー事業者に金額を支払うなどの手間がかかる ・配布した助成券の利用率は40～50%で半分以上が利用されていない 【利用者側】 ・タクシー乗車時に紙のチケットを渡す必要がある ・枚数に限りがあるため、タクシー利用が配布枚数を超えると割引を受けられない
特定目的バス (通院、買物など)	・特定の病院や商業施設の利用者送迎用に専用のバスなどを運行(ワゴン～マイクロバス程度の車両で、つくたく同様予約型を想定)	【行政側】 ・ある程度限定された目的地にまとまった人を運べるので効率的 【利用者側】 ・特定の病院や商業施設によく行く方は専用の移動手段があるとわかりやすい ・予約断りの可能性が低いので、利用を計算しやすい ・病院予約と連動することができれば、病院と移動手段を別々に予約しなくて済む	【行政側】 ・現在ないサービスのため、運行費用、車両、運行ルール等を調整・準備する必要がある ・予約型の場合、利用者に対して何らかの形で迎車時間を通知する仕組みを準備する必要がある ・対象施設の移動ニーズがない時間帯は利用者がいなくなるため、車両を他のサービスとシェアするなどして効率的な運用をする必要がある 【利用者側】 ・限られた施設にしか行くことができない ・乗合人数が多くなるので、つくたくやタクシーと比べると迂回による時間がかかる可能性が高い

つくタク見直しの方向性検討

・見直し項目は多岐に渡るが、現状の課題に対しては優先度の高い項目の方が効果が出やすい

見直し項目		配車 効率性	利便性	見直し内容の例	優先度 (案)
運行条件	エリア・乗降ポイント	●	●	・利用ニーズに応じたエリア・乗降ポイントを設定 ・効率的に運行できるエリア・乗降ポイントを設定	○
	運行時間・曜日		●	・ニーズに合わせて運行時間帯を拡大・短縮 ・ニーズに合わせて運行する曜日を設定	
	車両種別	●	●	・最大乗合人数に応じた車両種別を設定	○
	車両台数		●	・想定人数を輸送するのに最低限必要な車両台数を設定	◎
	運賃体系		●	・利用者が支払いやすく、収益性も確保できる料金設定	
配車	配車ルール	●		・現状の1時間に1運行から、2運行以上に拡大 ・乗合率を上げる	◎
	配車方法	●		・人手ではなく、機械による自動配車を行う	
ユーザ ビリティ	登録方法		●	・web上で簡単に登録	○
	予約方法・ルール		●	・webページまたはスマホアプリで予約 ・地図上で乗降ポイントを選択 ・事前予約の期間・回数を増やす ・リアルタイム予約の制限時間を直前まで可能にする ・目的地によって予約の優先度を変える(通院優先など) ・利用対象者の条件を設定(免許返納者、年齢など)	◎
	乗車降車		●	・現在の車両位置と乗車予定時刻のリアルタイム確認 ・目的地到着予定時刻の正確さ	○
	支払い方法		●	・カード決済、電子マネー決済の可否	
MaaS としての 利便性向上	目的地との連携		●	・施設利用料金の割引(クーポンなど) ・予約の連携(病院予約と一緒につくタク予約など)	
	他手段との連携		●	・乗換時の割引、待ち時間短縮 ・一体料金による手段選択の自由度の向上	

今後の検討スケジュール

1. 交通計画の点検・評価

- ・指標の算定・進捗評価(～12月)

2. 市民及び公共交通利用者の移動行動並びに移動に関する意向調査

- ・アンケート調査結果とりまとめ(～12月)

3. 交通施策の実現に向けた検討

- ・最新の人流ビッグデータを活用した市民の活動状況の確認(～12月)
- ・タクシー協同組合等関係者への情報収集(～12月)
- ・つくタク見直しに向けた方向性の検討・とりまとめ(～2月)

本業務の検討方針等に関する審議

下記について、審議いただきたい。

①これまでの検討内容に関する審議

- ・結果に関する考察など評価内容
- ・支線交通におけるつくタク及び代替案に関する評価
- ・新たに追加すべき観点

など

②今後の検討予定の内容に関する審議

- ・つくタク見直しに関して考慮すべき点
- ・追加すべき検討項目

など

つくば市における公共交通の利用に関する調査ご協力のお願い

つくば市内に在住の皆様へ

つくば市内の公共交通には、つくばエクスプレスや民間路線バス、タクシーのほか、市のコミュニティバス「つくバス」やデマンド型交通「つくタク」、3年間の実証実験の結果を受け、2022年10月1日から本格運行の、筑波地区支線型バス「つくばね号」がごございます。

また、市では、本年も民間路線バスを活用した実証実験事業を実施するなど、「誰もが使いやすいインフラ」の実現に取り組んでいます。

2021年3月に、市民の皆様にとってよりよい公共交通網を実現するために、「つくば市地域公共交通計画」を策定しました。この計画では、既存の交通サービスを充実させ、地域の特性に応じた多様な交通サービス等を組み合わせることで、より利便性の高い持続可能な公共交通網の構築を目指しています。

なお、「つくば市地域公共交通計画」で策定した施策は、評価指標を設定し、着実に実行していくために、定期的に達成状況を評価することとしています。

本調査は、評価指標を評価するために必要なアンケートであり、今後のより良い公共交通網を実現していくために、皆様の通勤・通学や普段の生活における移動手段などについてお伺いするものです。

お忙しいところ恐縮ではございますが、調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

つくば市長 五十嵐 立青

【ご回答にあたってのお願い】

- つくば市の住民基本台帳から3,000人を無作為に抽出し、調査票を送付しております。調査票は、ご本人様がお答えください。
- **10月24日(月)**までにご回答いただきますよう、お願いします。
インターネットから回答いただけます。右のQRコードまたはURLからアクセスしていただき、下記のアンケートIDを入力して、すべての質問にご回答ください。



アンケートID: 99999

<https://forms.gle/Zwwohe9YVqWfryLf6>

※上記のIDは、回答の重複を管理するためのものであり、回答者個人の特定には使用いたしません。

※上記の方法でインターネットから回答できない場合は、3ページ目以降に回答をご記入いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、期日までにご投函いただきますようお願いいたします。

- ご回答いただいた内容について、個人を特定するような情報は一切公開されません。

【お問合せなど】

担 当: つくば市都市計画部総合交通政策課

電話: 029-883-1111 (代表)

業務委託先: 株式会社 福山コンサルタント

電話: 03-5296-9404

※本調査は、つくば市が、(株)福山コンサルタントに委託して実施しております。



コミュニティバス「つくバス」

コミュニティバス「つくバス」は、つくばエクスプレス各駅と市内の地域生活拠点等を結ぶ運行をしています。

■運行日

- ・年中無休
- ・全日、同じ時刻表で運行しています（小田シャトルの一部を除く）。

■運賃

- ・200 円、300 円、400 円（乗車区間による運賃が変わります）
- ・運賃のお支払いには交通系 IC カードもご利用できます。

■運行状況等

- ・利用者数：年間約 74 万人（2021 年度、全 9 路線）
- ・運行経費：年間約 4.9 億円、利用者 1 人 1 回あたり市負担額 464 円（2021 年度）
- ・2022 年 4 月 1 日から「荃崎シャトル」の運行を新たに開始しました。



デマンド型交通「つくタク」

デマンド型交通「つくタク」は、予約制の乗合タクシーで、地域内の運行を基本としています。通常のタクシーと異なり、他の方と乗り合わせて運行します。利用できる範囲は同一地区内、共通ポイント及び特例ポイントへの移動です。

■運行日、時間

- ・平日の 9 時台～16 時台（土・日・祝日・12/29～1/3 は利用不可）

■利用できる範囲

- ・市内 5 地区（筑波、大穂・豊里、桜、谷田部、荃崎）
- ・特例ポイント／共通ポイント（他地区へ行き来できる場所）

■運行状況等

- ・利用者数：年間約 4.4 万人（2021 年度）
- ・運行経費：年間約 1.6 億円、利用者 1 人 1 回あたり市負担額 3,373 円（2021 年度）
- ・2022 年 10 月 3 日から、現金での運賃支払いが可能です。



筑波地区支線型バス「つくばね号」※2022 年 10 月 1 日運行開始

つくばね号は、筑波地区内をワゴン車サイズの車両（乗客 8 人乗り）で運行する定時定路線のバスです。

■運行日、時間

- ・概ね 8 時から 18 時までの、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除く毎日運行

■運賃

- ・200 円均一（乗車時に先払い）

■運行状況等

- ・運行区間は、筑波中央病院～筑波ふれあいの里入口で停留所は全 34 か所

路線バス実証実験

現在、つくば市内では、次の 2 つの路線バス実証実験を実施しています。

■石下・土浦線 経路変更実証実験 ※2022 年 4 月 1 日から

- ・宅地造成など開発が進み、住民が定着している学園の森 3 丁目地区はバス空白地帯であることから、既存の路線バスを活用した実証実験を実施しています。
- ・石下・土浦線（関東鉄道パープルバス株式会社）の経路変更を行い、新たに学園の森西、学園広場公園、まんりょう公園、みどり公園、学園の森東停留所を通過（停車）

■松代南循環実証実験 ※2022 年 10 月 1 日から

- ・公務員住宅解体後の戸建て住宅の建設が著しい松代 5 丁目やバス空白地帯である松野木地区で、民間路線バスを用いた実証実験を行うことで、公共交通の需要とその持続可能性を検証します。
- ・つくばセンターを出発し、松野木地区や松代 5 丁目地区を経由してつくばセンターへ向かう循環バス
- ・1 日 23 便の運行で、所要時間は 25～30 分

つくば市における公共交通の利用に関する調査 調査票

1 ページ目に掲載しているインターネット上の調査ページにアクセスできない場合は、こちらにご記入いただき、同封している返信用封筒（切手不要）に入れてご投函ください。

※インターネット上でご回答いただいた場合は、調査票を返送いただく必要はありません。

※アンケート ID を記載している表紙は切り外さず、冊子のまま返送をお願いします。

なお、調査票では、特に指定がない限り、あてはまるもの1つに○をつけてください。

問 1 「あなた自身のこと」について伺います。

問 1-1 あなたの年齢をお答えください。

- | | | | | |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 1. 20 歳未満 | 2. 20～29 歳 | 3. 30～39 歳 | 4. 40～49 歳 | 5. 50～59 歳 |
| 6. 60～64 歳 | 7. 65～69 歳 | 8. 70～74 歳 | 9. 75～79 歳 | 10. 80 歳以上 |

問 1-2 あなたの住まいをお答えください。

茨城県つくば市 [] （町名までで結構です。）

※記入例）茨城県つくば市 研究学園

問 1-3 あなたの職業をお答えください。

- | | | | |
|--------------|----------|------------|--------|
| 1. 会社員・公務員 | 2. 主婦・主夫 | 3. 学生 | 4. 自営業 |
| 5. パート・アルバイト | 6. 無職 | 7. その他 [] | |

問 1-4 あなたの勤務先、通学先をお答えください。

[] 都道府県 [] 市区町村 [] （町名までで結構です。）

問 1-5 あなたの世帯構成をお答えください。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|--------|
| 1. 単身 | 2. 夫婦 | 3. 親子 | 4. 3 世代 | 5. その他 |
|-------|-------|-------|---------|--------|

問 1-6 あなたが保有している運転免許はどれですか？（複数回答可）

- | | | |
|------------|-----------|-------------|
| 1. 自動車 | 2. 自動二輪 | 3. 原動機付き自転車 |
| 4. 免許を返納した | 5. 持っていない | |
| 6. その他 [] | | |

問 1-7 あなたは、いつでも自由に使える自動車を持っていますか。

- | | | |
|----------------|----------------|-------|
| 1. 自分専用の自動車がある | 2. 家族共有の自動車がある | 3. ない |
|----------------|----------------|-------|

問 1-8 あなたが日常的に利用する交通手段はどれですか？（複数回答可）

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|------------|-------------|---------|
| 1. 鉄道 | 2. 路線バス | 3. つくバス | 4. 自家用車 | 5. カーシェアリング | 6. タクシー |
| 7. つくタク | 8. バイク | 9. 自転車 | 10. つくチャリ※ | 11. その他 [] | |

※サイクルシェアリング

⇒次頁の 問2へ

問 2 「あなたの日常の移動」について伺います。

あなたの日常的な外出の中から、頻度の多いもの（月に1～2回以上）2つについて、伺います。
あてはまる移動がない場合は、空欄のままで構いません。

1 番目に頻度の多い外出

問 2-1-1 目的地はどこですか。

1. 勤務先・通学先（※問 1-4 と同じ場所）
2. つくば市内 []
(市内の場合、町名か施設名を記入)
3. その他茨城県内
4. 県外

問 2-1-2 外出目的は何ですか。

1. 通勤
2. 通学
3. 業務
4. 買物
5. 通院
6. 食事・娯楽
7. 送迎
8. その他 []

問 2-1-3 外出頻度はどのくらいですか。

1. 月に1～2回程度
2. 週に1～2回程度
3. ほぼ毎日

問 2-1-4 出発時間帯はいつですか。

1. 平日・休日 の 午前・午後 [] 時頃
2. 決まっていない

問 2-1-5 移動手段は何ですか。利用する全ての移動手段をお答えください。また、鉄道を主に利用される方は、自宅を出発してから最初に乗車する駅もお答えください。 (複数回答可)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 鉄道 [] 駅 (最初の乗車駅)
5. 路線バス
6. 路線バス (実証実験)
7. つくバス
8. つくタク
9. つくばね号
10. タクシー
11. タクシー (利用助成制度※を使用)
12. 福祉有償運送
13. 自家用車 (運転)
14. 自家用車 (送迎)
15. カーシェアリング
16. つくチャリ
17. その他 []

※高齢者、障害者及び妊産婦に対する一般タクシー運賃の助成制度

2 番目に頻度の多い外出

問 2-2-1 目的地はどこですか。

1. 勤務先・通学先（※問 1-4 と同じ場所）
2. つくば市内 []
(市内の場合、町名か施設名を記入)
3. その他茨城県内
4. 県外

問 2-2-2 外出目的は何ですか。

1. 通勤
2. 通学
3. 業務
4. 買物
5. 通院
6. 食事・娯楽
7. 送迎
8. その他 []

問 2-2-3 外出頻度はどのくらいですか。

1. 月に1～2回程度
2. 週に1～2回程度
3. ほぼ毎日

問 2-2-4 出発時間帯はいつですか。

1. 平日・休日 の 午前・午後 [] 時頃
2. 決まっていない

問 2-2-5 移動手段は何ですか。利用する全ての移動手段をお答えください。また、鉄道を主に利用される方は、自宅を出発してから最初に乗車する駅もお答えください。 (複数回答可)

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 鉄道 [] 駅 (最初の乗車駅)
5. 路線バス
6. 路線バス (実証実験)
7. つくバス
8. つくタク
9. つくばね号
10. タクシー
11. タクシー (利用助成制度※を使用)
12. 福祉有償運送
13. 自家用車 (運転)
14. 自家用車 (送迎)
15. カーシェアリング
16. つくチャリ
17. その他 []

※高齢者、障害者及び妊産婦に対する一般タクシー運賃の助成制度

問 2-1-6 目的地まで、もし自動車を運転できないとしたら、どの移動手段を使いますか。

(複数回答可)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 鉄道 [] 駅 (最初の乗車駅)		
5. 路線バス	6. 路線バス (実証実験)	
7. つくバス	8. つくタク	9. つくばね号
10. タクシー	11. タクシー (利用助成制度を使用)	
12. 福祉有償運送	13. 自家用車 (送迎)	
14. つくチャリ	15. その他 []	

問 2-2-6 目的地まで、もし自動車を運転できないとしたら、どの移動手段を使いますか。

(複数回答可)

1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 鉄道 [] 駅 (最初の乗車駅)		
5. 路線バス	6. 路線バス (実証実験)	
7. つくバス	8. つくタク	9. つくばね号
10. タクシー	11. タクシー (利用助成制度を使用)	
12. 福祉有償運送	13. 自家用車 (送迎)	
14. つくチャリ	15. その他 []	

問 2-3 新型コロナウイルス感染症拡大前 (2019 年 10 月頃) と比べて、感染症の影響で、現在の移動の目的ごとの外出頻度はどうになりましたか？それぞれの外出目的ごとに、お答えください。

	1. 減った	2. 増えた	3. 変わらない	4. 元からほとんど外出しない	5. 新型コロナウイルス感染症以外の影響で変わった
①通勤・業務・通学での外出	1.	2.	3.	4.	5.
②買物での外出	1.	2.	3.	4.	5.
③食事・娯楽での外出	1.	2.	3.	4.	5.
④通院・診察での外出	1.	2.	3.	4.	5.

問 2-4 新型コロナウイルス感染症拡大前 (2019 年 10 月頃) と比べて、感染症の影響で、現在の交通手段ごとの利用・外出頻度はどうになりましたか？それぞれの交通手段ごとに、お答えください。

	1. 減った	2. 増えた	3. 変わらない	4. 元からほとんど外出しない	5. 新型コロナウイルス感染症以外の影響で変わった
①鉄道を利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
②バスを利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
③タクシーを利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
④自動車を利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
⑤自転車を利用した外出	1.	2.	3.	4.	5.
⑥徒歩での外出	1.	2.	3.	4.	5.

問 2-5 あなたが、現時点で新型コロナウイルス感染症対策として特に意識しているもの、注意しているものはどのようなことですか？(複数回答可)

1. 3密 (密閉、密集、密接) の空間に行かない、長時間滞在しない	
2. 外出時はマスクを着用する	3. こまめに手洗い・手指消毒を行う
4. こまめに換気を行う	5. 食事中などマスクをつけない際に会話を控えめにする
6. 目、鼻、口を触らない	7. その他 []

⇒次頁の **問 3**へ

問 3 つくば市の公共交通等（路線バス、つくバス、つくタク、タクシー）について伺います。

●路線バスの利用状況について伺います。

問 3-1-1 路線バスの利用頻度は 1 週間あたりどの程度ですか。

- | | | | |
|--|------------------|----------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 平日 3～4 日程度 | 3. 休日を含む 3～4 日 | 4. 平日 1～2 日程度 |
| 5. 休日のみ 1～2 日 | 6. 「1 か月に」 1～2 日 | 7. ごくまれに | |
| 8. 今は利用していない、または利用したことがない ⇒8.を選んだ方は 問 3-1-4 へ | | | |

問 3-1-2 路線バスを利用する際の移動の目的と主な目的地（所在地または施設名）をお答えください。

目的	1. 通勤	2. 通学	3. 業務	4. 買物	5. 通院	6. 食事・趣味・娯楽
	7. 送迎	8. その他 []				
主な目的地（最終的な目的地） ※帰宅のみ利用の際は、外出先（出発地）を回答						
[] 都道府県 [] 市区町村 [] （町名までで結構です。）						
または、施設名 []						

問 3-1-3 その目的地へ移動する際の主な曜日・時間帯をお答えください。

利用する主な曜日（複数回答可）							
1. 月曜	2. 火曜	3. 水曜	4. 木曜	5. 金曜	6. 土曜	7. 日曜	8. 特に決まっていない
利用する主な時間帯（バス停の出発時刻）（複数回答可）							
1. 6～8 時台	2. 9～11 時台	3. 12～16 時台	4. 17～20 時台	5. 21 時以降	6. 特に決まっていない		

問 3-1-4 路線バスを利用している方は改善してほしい点、利用していない方は利用しない理由をお答えください。（複数回答可）

- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------|-------------------------|------------------|
| 1. 利用方法がわかりにくい、またはわからない | 2. 自宅から停留所が遠い | 3. 停留所から目的地が遠い | 4. 目的地に行くことができない |
| 5. 利用したい時間帯に運行していない | 6. 運行本数が少ない | 7. 時間が不正確 | |
| 8. 他の交通機関との乗継ぎが悪い | 9. 家族や友人など複数人で移動する場合に運賃がかさむ | | |
| 10. 荷物が多い、または大きい（ベビーカーなど）ため乗り降りが大変 | 11. バスの運行状況や現在の位置情報がわからない | 12. 他の交通手段を使うため利用の必要がない | |
| 13. その他 [] | | | |

問 3-1-5 路線バスを利用している方にお伺いします。路線バスには満足していますか。

（問 3-1-1 で 8.を選んだ方は問 3-2-1 へ）

以下の満足度を例にそれぞれの項目について、4段階でお答えください。

（満足度の例：1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない）					
①運行時間帯	1.	2.	3.	4.	5.
②運行本数	1.	2.	3.	4.	5.
③目的地に早く着けること	1.	2.	3.	4.	5.
④時間通りの運行	1.	2.	3.	4.	5.
⑤停留所までの距離	1.	2.	3.	4.	5.
⑥停留所の設置数	1.	2.	3.	4.	5.
⑦運賃設定	1.	2.	3.	4.	5.
⑧バス車内の混雑度	1.	2.	3.	4.	5.
⑨総合的な満足度	1.	2.	3.	4.	5.

●つくバスの利用状況について伺います。

問3-2-1 つくバスをご存知ですか。また、ご自宅最寄りの「つくバス」バス停をご存知ですか。

「つくバス」について	☐ 1. 名前も使い方も知っている ☐ 2. 名前は知っているが使い方は知らない ☐ 3. 知らない
最寄りの「つくバス」バス停を	☐ 1. 知っている（バス停名： ） ☐ 2. 知らない

問3-2-2 つくバスの利用頻度は1週間あたりどの程度ですか。また、それはどの路線ですか。

利用頻度			
☐ 1. ほぼ毎日	☐ 2. 平日3～4日程度	☐ 3. 休日を含む3～4日	☐ 4. 平日1～2日程度
☐ 5. 休日のみ1～2日	☐ 6. 「1か月に」1～2日	☐ 7. ごくまれに	
☐ 8. 今は利用していない、または利用したことがない ⇒8.を選んだ方は 問3-2-5へ			
バス路線（複数回答可）			
☐ 1. 北部シャトル	☐ 2. 小田シャトル	☐ 3. 作岡シャトル	☐ 4. 吉沼シャトル
☐ 5. 上郷シャトル	☐ 6. 西部シャトル	☐ 7. 南部シャトル	☐ 8. 谷田部シャトル
☐ 9. 自由ヶ丘シャトル	☐ 10. 茎崎シャトル		

問3-2-3 つくバスを利用する際の移動の目的と主な目的地（所在地または施設名）をお答えください。

移動の目的			
☐ 1. 通勤	☐ 2. 通学	☐ 3. 業務	☐ 4. 買物
☐ 5. 通院	☐ 6. 食事・趣味・娯楽	☐ 7. 送迎	☐ 8. その他 []
主な目的地（最終的な目的地） ※帰宅のみ利用の際は、外出先（出発地）を回答			
[] 都道府県 [] 市区町村 [] （町名までで結構です。）			
または、施設名 []			

問3-2-4 問3-2-3の目的地へつくバスを利用する際の主な曜日・時間帯をお答えください。

利用する主な曜日（複数回答可）							
☐ 1. 月曜	☐ 2. 火曜	☐ 3. 水曜	☐ 4. 木曜	☐ 5. 金曜	☐ 6. 土曜	☐ 7. 日曜	☐ 8. 特に決まっていない
利用する主な時間帯（バス停の出発時刻）（複数回答可）							
☐ 1. 6～8時台	☐ 2. 9～11時台	☐ 3. 12～16時台	☐ 4. 17～20時台	☐ 5. 21時以降	☐ 6. 特に決まっていない		

問3-2-5 つくバスを利用している方は改善してほしい点、利用していない方は利用しない理由をお答えください。（複数回答可）

☐ 1. 利用方法がわかりにくい、またはわからない ☐ 2. 自宅から停留所が遠い ☐ 3. 停留所から目的地が遠い ☐ 4. 目的地に行くことができない ☐ 5. 利用したい時間帯に運行していない ☐ 6. 運行本数が少ない ☐ 7. 時間が不正確 ☐ 8. 他の交通機関との乗継ぎが悪い ☐ 9. 荷物が重い、または大きい（ベビーカーなど）ため乗り降りが大変 ☐ 10. 家族や友人など複数人で移動する場合に運賃がかさむ ☐ 11. 他の交通手段を使うため利用の必要がない ☐ 12. その他 []

問 3-2-6 つくバスを利用している方にお伺いします。つくバスには満足していますか。

(問 3-2-2 で 8.を選んだ方は問 3-3-1 へお進みください。)

以下の満足度を例にそれぞれの項目について、4段階でお答えください。

(満足度の例：1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない)					
①運行時間帯	1.	2.	3.	4.	5.
②運行本数	1.	2.	3.	4.	5.
③目的地に早く着けること	1.	2.	3.	4.	5.
④時間通りの運行	1.	2.	3.	4.	5.
⑤停留所までの距離	1.	2.	3.	4.	5.
⑥停留所の設置数	1.	2.	3.	4.	5.
⑦運賃設定	1.	2.	3.	4.	5.
⑧バス車内の混雑度	1.	2.	3.	4.	5.
⑨総合的な満足度	1.	2.	3.	4.	5.

●つくタクの利用状況について伺います。

問 3-3-1 「つくタク」をご存知ですか。

1. 名前も使い方も知っている	2. 名前は知っているが使い方は知らない	3. 知らない
-----------------	----------------------	---------

問 3-3-2 つくタクの乗降場所に、ご自宅を登録していますか。また、「つくタク」を利用したことはありますか。

自宅の登録	1. はい	2. いいえ
利用	1. ある	2. ない

問 3-3-3 つくタクの利用頻度は 1 週間あたりどの程度ですか。

1. 5 日	2. 3～4 日程度	3. 1～2 日程度	4. 「1 か月に」 1～2 日
5. ごくまれに	6. 今は利用していない、または利用したことがない ⇒6.を選んだ方は 問 3-3-6 へ		

問 3-3-4 つくタクを利用した移動の目的と主な目的地（所在地または施設名）をお答えください。

移動の目的			
1. 通勤	2. 通学	3. 業務	4. 買物
5. 通院	6. 食事・趣味・娯楽	7. 送迎	8. その他 []
主な目的地（最終的な目的地） ※帰宅のみ利用の際は、外出先（出発地）を回答			
[] 都道府県 [] 市区町村 [] (町名までで結構です。)			
または、施設名 []			

問 3-3-5 問 3-3-4 の目的地へつくタクを利用する場合の主な曜日・時間帯をお答えください。

利用する主な曜日（複数回答可）					
1. 月曜	2. 火曜	3. 水曜	4. 木曜	5. 金曜	6. 特に決まっていない
利用する主な時間帯（複数回答可）					
1. 9～11 時台	2. 12～14 時台	3. 15 時以降	4. 特に決まっていない		

問3-3-6 つくタクを利用している方は改善してほしい点、利用していない方は利用しない理由をお答えください。(複数回答可)

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|------------------|
| 1. 利用方法がわかりにくい、またはわからない | 3. 降車場所から目的地が遠い | 4. 目的地に行くことができない |
| 2. 自宅から乗車場所が遠い | 6. 乗車場所につくタクが到着する時間が不正確 | |
| 5. 利用したい時間帯に運行していない | 8. 他の交通機関との乗継ぎが大変 | |
| 7. 目的地に到着する時間が不正確 | 10. 予約が取れないことが多い | |
| 9. 電話予約が面倒 | 12. 乗合で乗車することに抵抗がある | |
| 11. 現金や IC カードが使えない | | |
| 13. 他の交通手段を使うため利用の必要がない | | |
| 14. その他 [] | | |

問3-3-7 つくタクを利用している方にお伺いします。つくタクには満足していますか。

(問3-3-3で6.を選んだ方は問3-4-1へお進みください。)

以下の満足度を例にそれぞれの項目について、4段階でお答えください。

(満足度の例：1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない)					
①運行時間帯	1.	2.	3.	4.	5.
②目的地に早く着けること	1.	2.	3.	4.	5.
③停留所までの距離	1.	2.	3.	4.	5.
④停留所の設置数	1.	2.	3.	4.	5.
⑤料金の設定	1.	2.	3.	4.	5.
⑥予約の取りやすさ	1.	2.	3.	4.	5.
⑦予約方法	1.	2.	3.	4.	5.
⑧決済方法（利用券のみであること）	1.	2.	3.	4.	5.
⑨総合的な満足度	1.	2.	3.	4.	5.

●タクシーの利用状況について伺います。

問3-4-1 タクシーの利用頻度はどの程度ですか。

- | | | | |
|--|------------------|----------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 平日 3～4 日程度 | 3. 休日を含む 3～4 日 | 4. 平日 1～2 日程度 |
| 5. 休日のみ 1～2 日 | 6. 「1 か月に」 1～2 日 | 7. ごくまれに | |
| 8. 今は利用していない、または利用したことがない ⇒8.を選んだ方は 問3-4-3 へ | | | |

問3-4-2 タクシー利用助成制度を利用していますか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

問3-4-3 タクシーを利用している方は改善してほしい点、利用していない方は利用しない理由をお答えください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 運賃が高い、または利用助成券の枚数（助成額）が少ない | 2. 予約や迎車に追加料金がかかる |
| 3. 乗りたい時に手配できない（連絡先がわからない等） | |
| 4. 手配してから乗車できるまで時間がかかる場合がある | |
| 5. 1 台で乗車できる人数に限りがある | 6. 複数の会社があつてどれを選んでよいかわからない |
| 7. 相乗りができない | 8. その他 [] |

●つくば市の公共交通について伺います。

問3-5-1 つくば市の公共交通について、どの程度満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. どちらとも言えない 4. やや満足していない 5. 満足していない

問3-5-2 市内には、駐輪場がないバス停が多くあります。仮に、あなたの自宅の近隣バス停に駐輪場が設置された場合、あなたの行動（バスの利用方法）はどのようになると思いますか。

1. これまで通りバスを利用する（もともと徒歩でバス停に行き来できるため自転車は使わない）
2. これまで通りバスを利用する（もともと自転車を利用してバス停に行き来している）
3. 今までバスを利用できなかったが、自転車でバス停へ行き来するようになる
4. バスは使わない（自宅からバス停まで遠いため、駐輪場が設置されても変わらない）
5. バスは使わない（バス停までの移動負担は関係ない）

問3-5-3 つくば市内を移動する場合、どのような公共交通であれば利用しやすいですか。それぞれの項目についてあなたの考えに最も近いものをお答えください。

①運行形態	1. 決まった時刻に停留所で乗り降り	2. 好きな時刻に好きな場所で乗り降り	
②乗り換え	1. 乗り換えれば、早く到着できる	2. 迂回しても乗り換えなしで移動できる	
③予約受付	1. 予約なし	2. 事前予約	3. 当日予約可能
④予約方法	1. 電話で予約	2. スマートフォンアプリで予約	3. 目的地の施設等が予約を代行
⑤相乗り	1. 相乗りすることで運賃が安い	2. 相乗りなしで運賃が高い	
⑥料金設定	1. 距離に応じた料金	2. 均一料金	3. 月額乗り放題などの定額制

問3-5-4 今後のよりよい公共交通網を実現していくために、行政に対してどのような交通政策を望みますか？あなたの考えに最も近いものを選んでください。

1. 市の既存の公共交通サービスの拡充
2. 民間の公共交通を利用する際の補助
3. 新たなモビリティ（移動手段）の新設
4. 通院や買い物等、移動の目的に特化した交通サービスの新設
5. その他 []

問3-5-5 今後も公共交通サービスを継続していくためには、市民の皆様と協働で支えあうことが重要と考えます。あなたが協力できることについて、最もあてはまるものは何ですか。

1. 積極的にバス等の公共交通を利用する
2. 運行やサービスに関する意見を出す
3. 運営計画や支援方法を考える会議に参加する
4. 協賛金やクラウドファンディングで支援する
5. 協力することは考えていない
6. その他 []

つくば市では、市民の皆様の声を取り入れながら、公共交通サービスの改善を進めています。
つくば市の公共交通についてご自由にお答えください（お困りの点、今後期待すること など）。

アンケート調査はこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

あなたご自身に関するアンケート

モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。
アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

- 「第三者への口外」に含まれる例
- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
 - SNSやブログ、掲示板等へ書き込む
 - その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。
アンケートはひとつずつ、回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。
- 本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。
(システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。)
- 回答結果は、当社の「個人情報保護方針」に基づき、性別・年齢・居住都道府県等を付記した上で、本アンケートの依頼主に提供されます。
アンケート内で個別に同意を得ない限り、氏名・メールアドレス等の個人を特定できる情報を提供することはありません。

SC1 必須 あなたのお住まいを以下よりお選び下さい。

☐ 1. 水戸市

☐ 2. 日立市

☐ 3. 土浦市

☐ 4. 古河市

☐ 5. 石岡市

☐ 6. 結城市

☐ 7. 龍ケ崎市

☐ 8. 下妻市

☐ 9. 常総市

☐ 10. 常陸太田市

☐ 11. 高萩市

☐ 12. 北茨城市

☐ 13. 笠間市

☐ 14. 取手市

☐ 15. 牛久市

☒ 16. つくば市

(別紙)施設利用者アンケート

SC2 必須 つくば市在住の方は、住所をお答えください。
※番地までの記載はしないようお願いいたします。

次へ

進捗 6%

本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。
(システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。)

Q1 必須 選択肢の施設のうち、あなたが日頃からよく訪れるものを最大3つまで選んでください。
(3つまで)

☐ 1. 筑波大学病院

☐ 2. 筑波メディカルセンター

☐ 3. 筑波記念病院

☐ 4. 筑波総合クリニック

☐ 5. 筑波学園病院

☐ 6. イーアスつくば

☐ 7. イオンモールつくば

☐ 8. 松代ショッピングセンター

☐ 9. トナリエつくば

☐ 10. あてはまるものはない

次へ

進捗 12%

■前問で選択した施設ごとに、お尋ねします。

Q2 必須 下記それぞれの施設にはどのくらいの頻度でいらっしゃるのはいつですか？
ご自身に最も当てはまる頻度をお答えください。

1. 筑波大学病院 ▲

☐ 年に1～2回程度

☐ 月に1～2回程度

☐ 週に1～2回程度

☐ ほぼ毎日

次へ

進捗 18%

Q3 必須 通常、下記それぞれの施設によくいらっしゃるのはいつですか？
最も到着する時間帯をお答えください。

1. 筑波大学病院 ▲

☐ 1. 平日の朝 (9時以前)

☐ 2. 平日の午前 (9～11時台)

☐ 3. 平日の午後 (12～14時台)

☐ 4. 平日の夕方 (15～17時台)

☐ 5. 平日の夜間 (18時以降)

☐ 6. 休日の朝 (9時以前)

☐ 7. 休日の午前 (9～11時台)

☐ 8. 休日の午後 (12～14時台)

☐ 9. 休日の夕方 (15～17時台)

☐ 10. 休日の夜間 (18時以降)

☐ 11. 特に決まっていない

次へ

本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は中断した質問から再開可能です。
(システム緊急対応等により再開できない場合もありますので、予めご了承ください。)

Q4 必須 通常、下記それぞれの施設には何人でいらっしゃいますか？
(半角数字でご記入ください)

筑波大学病院

人

次へ

進捗 31%

本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は
中断した質問から再開可能です。
(システム緊急対応等により再開できない場合も
ありますので、予めご了承ください。)

Q5 必須 通常、下記それぞれの施設へはどの移動手段で
いらっしゃいますか？
利用する全ての移動手段をお答えください。
※下記の画像は公共交通機関の参考資料で
す。
※【画像を拡大】をクリックしていただく
と拡大してご覧いただけます。



【画像を拡大】

1. 筑波大学病院

■公共交通

☐ 1. 鉄道

☐ 2. 路線バス

☐ 3. 路線バス（実証実験）

☐ 4. つくバス

☐ 5. つくタク

☐ 6. つくばね号

Q6 必須 下記それぞれの施設へいらっしゃる際に公共
交通を利用していないと回答した方にお伺い
します。
その理由として当てはまるものをすべてお答
えください。

1. 筑波大学病院

☐ 1. 利用方法がわかりにくい、またはわからない

☐ 2. 自宅から乗車場所が遠い

☐ 3. 降車場所から目的地が遠い

☐ 4. 利用したい時間帯に運行していない

☐ 5. 運行本数が少ない

☐ 6. 時間が読めない

☐ 7. 乗継ぎが大変

☐ 8. 予約等の手配が面倒

☐ 9. 近いため使う必要がない

☐ 10. 複数人で来ると運賃がかさむ

☐ 11. 荷物が重い、または大きいと大変

☐ 12. その他

Q7 必須 運行形態について

1. 筑波大学病院

☐ 1. 決まった時刻に停留所で乗り降りできる

☐ 2. 好きな時刻に好きな場所で乗り降りできる

Q8 必須 乗り換えと所要時間について

1. 筑波大学病院

☐ 1. 乗り替えれば、早く到着できる

☐ 2. 迂回しても乗り換えなしで移動できる

1. 筑波大学病院

■その他

☐ 7. 徒歩

☐ 8. 自転車

☐ 9. バイク

☐ 10. タクシー

☐ 11. タクシー（利用助成制度※1を使用）

☐ 12. 福祉有償運送

☐ 13. 自家用車（運転）

☐ 14. 自家用車（送迎）

☐ 15. カーシェアリング

☐ 16. つくチャリ※2

☐ 17. その他

※1：高齢者、障がい者及び妊産婦に対する一般タクシー
運賃の助成制度
※2：シェアサイクルの実証実験事業

次へ

Q9 必須 予約受付について

1. 筑波大学病院

☐ 1. 予約なし

☐ 2. 事前に予約できる

☐ 3. 当日予約できる

Q10 必須 予約方法について

1. 筑波大学病院

☐ 1. 電話で予約できる

☐ 2. スマートフォンアプリで予約できる

☐ 3. 目的地の施設等が予約を代行してくれる

Q11 必須 相乗りについて

1. 筑波大学病院 ▲

- ☐ 1. 相乗りを許容する代わりに運賃は安い
- ☐ 2. 相乗りはないが運賃は高い

Q12 必須 料金設定について

1. 筑波大学病院 ▲

- ☐ 1. 乗車区間の距離に応じた料金を支払う
- ☐ 2. 決められた地域内で均一の料金を支払う
- ☐ 3. 定額制で支払う（月額乗り放題など）

次へ

進捗 50%

本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は
中断した質問から再開可能です。
（システム緊急対応等により再開できない場合も
ありますので、予めご了承ください。）

Q13 必須 今後のよりよい公共交通網を実現していくために、行政に対してどのような交通政策を望みますか？
あなたの考えに最も近いものを選んでください。

- ☐ 1. 市の既存の公共交通サービスの拡充
- ☐ 2. 民間の公共交通を利用する際の補助
- ☐ 3. 新たなモビリティ（移動手段）の新設
- ☐ 4. 通院や買い物等、移動の目的別に特化した交通サービス
- ☐ 5. その他

次へ

進捗 93%

本アンケートは、回答を中断してから1時間以内は
中断した質問から再開可能です。
（システム緊急対応等により再開できない場合も
ありますので、予めご了承ください。）

つくたくの予約キャンセルへの対応について

令和4年(2022年)11月17日(木)

総合交通政策課

つくたくの予約キャンセル等への対応について

▼つくたく利用実績

令和3年度利用者人数	44,380人
令和3年度キャンセル数	6,184件
令和3年度予約お断り数	3,880件

▼つくたくに関する問合せ事項

- ・利用方法
- ・予約が取れない
- ・予約センターに電話が繋がらない

▼つくたく予約キャンセル等への対応について

つくたく予約センターやつくば市に予約が取れない、予約センターに電話が繋がらないという問い合わせが、多く寄せられている。予約回数やキャンセル回数を分析し、1人当たりの予約回数の上限を設けることや、利用規程を定めることで、より多くの利用者がつくたくをえるように、活性化協議会内で検討を重ねたい。

つくタクの2022.8同一人物による予約回数

同一人物による予約回数と人数の関係表(2022.8)

予約回数	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
10	0	1	2	2	0
9	0	0	0	0	0
8	0	5	4	7	1
7	0	1	1	1	0
6	3	10	13	13	8
5	0	11	13	9	2
4	17	48	42	47	37
3	14	24	20	29	23
2	177	190	234	219	172
1	111	156	152	129	130
計	322	446	481	456	373

- ・1週間に1～2回のつくタク利用者が大半である。
- ・中には毎日往復利用(10回)する利用者もいる。

つくたくの2022.8同一人物によるキャンセル回数

同一人物による予約キャンセル回数と人数の関係表(2022.8)

キャンセル回数	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
6	2	0	3	0	0
5	0	0	0	0	0
4	1	0	1	0	4
3	2	1	2	2	1
2	42	22	29	40	14
1	67	56	43	64	23
計	114	79	78	106	42
お断り件数	47	37	18	33	35

- ・1週間に1～2回の予約キャンセル者が大半である。
- ・キャンセル数がお断り件数を上回っている状況である。

つくたくの2022.8予約キャンセルの理由(オペレータ確認)

理由	件数
用事がなくなった	479
体調不良	42
間に合わないため	25
都合が悪くなった	21
コロナ関係	10
予定が早く終わったため	6
外が暑いため	4
面倒になった	2
無断キャンセル	36

2022年8月につくたく予約センターが確認した予約キャンセルの理由(625件)は右表のとおりである。

主な理由

- ・「用事がなくなった」が76.6%と大半をしめた
- ・乗降場所に迎車したが、不在であり、オペレーターが予約者に連絡しても、電話も通じなかった案件「無断キャンセル」が5.8%であった
- ・予定が早く終わった方は、家族を呼んだり、別の移動手段で移動している

現状としては、予約時に早めのキャンセルを依頼している

他自治体の予約キャンセル等の対応状況

- ・茨城県牛久市「うしタク」
無断キャンセル2回で1か月利用停止
1ヶ月間の予約上限数8回
- ・茨城県守谷市「守谷市デマンド型乗合交通」
無断キャンセルや運行支障行為3回で1か月間利用停止
- ・埼玉県鴻巣市「このす乗合タクシー」
利用回数の上限はなし、1人につき予約は4件まで
- ・奈良県香芝市「香芝市デマンド交通」
運行支障行為で利用停止
- ・徳島県阿波市「阿波市デマンド型乗合交通」
無断キャンセル3回で3か月利用停止

つくたくの予約キャンセル等の対応について

つくたくの予約キャンセルや予約お断り件数を軽減する方策を今後検討する。

〈検討内容〉

- ・1週間内での予約上限を設定
- ・無断キャンセル者や運行支障行為者への利用停止措置

上記について、頂いた意見をもとに、データを作成し、次回活性化協議会で予約キャンセル等の対応策について、方向性を示す。